

2020 年度
「男女共同参画社会づくり」に向けての
市民意識調査
報 告 書

令和 2 年 10 月

豊後大野市

目次

第1章 「男女共同参画社会づくり」に向けての市民意識調査の概要	9
1. 調査概要	9
(1) 調査の目的	9
(2) 調査の設計	9
(3) 回収結果	9
(4) 調査集計にあたっての留意事項	10
2. 回答者の属性	10
(1) 年齢構成	10
第2章 「男女共同参画社会づくり」に向けての市民意識調査の結果	13
問1 あなたの性別をお聞かせください。	13
問2 あなたの年齢は次のどれにあたりますか。	13
問3 あなたの職業は次のうち、どれにあてはまりますか。	14
問4 あなたは結婚されていますか。	15
問5 【問4で「1. 結婚している(事実婚を含む)」を選んだ方におうかがいします。】	15
あなたは共働き(パート・アルバイトなどを含む)ですか。	15
問6 現在同居しているあなたの家族構成は、次のどれにあてはまりますか。	16
男女の意識について	17
問7 「男は仕事、女は家庭」のように性別によって役割を固定する考え方がありますが、	17
あなたはその考え方をどう思いますか。	17
問8 あなたは、次の①～⑧にあげるような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。	19
問9 【結婚している方(事実婚を含む)におたずねします。(問4で「1. 結婚している(事実婚を含む)」を選んだ方)】あなたの家庭では、次の①～⑪にあげるような家庭内の役割を主に誰がしていますか。【現状】と【理想】からそれぞれお答えください。	23
問10 今後、男性が女性とともに家庭生活(家事、育児、介護)や地域活動へ参加をしていくために必要なことは何だと思えますか。	34
教育について	36
問11 子どものしつけや教育について、次の①～④ではどのような考え方をお持ちですか。	36
問12 あなたは子どもの学歴は、次の①と②についてどこまで必要だと思えますか。	38
ドメスティック・バイオレンス(配偶者・恋人間の暴力)について	39
問13 あなたは、これまでに配偶者や恋人など親しい関係にある人との間で、次の①～⑤のようなことを受けたことがありますか。	39
問14 【問13で1つでも「受けたことがある」と答えた方におうかがいします。(問13で「1」～「2」を選んだ方)】誰かに打ち明けたり相談したりしましたか。	41
問15 【問14で「相談した」と答えた方におたずねします。(問14で「1」～「10」のどれかを選んだ方)】相談した結果、状況はどうなりましたか。	43
問16 あなたは次の①～③にあげることがらについて知っていますか。	43

人権について.....	45
問17 あなたは、次の①～③のような行為を受けたことがありますか。.....	45
問18 【問17で1つでも「受けたことがある」と答えた方におうかがいします。(問17で「1」～「2」を選んだ方)】誰かに打ち明けたり相談したりしましたか。.....	46
問19 【問18で「相談した」と答えた方におたずねします。(問18で「1」～「8」のどれかを選んだ方)】相談した結果、状況はどうになりましたか。.....	47
問20 性犯罪、売買春(援助交際を含む)、ドメスティック・バイオレンス、セクシュアル・ハラスメント、ストーカー行為等の暴力をなくすためには、どうしたらよいと思いますか。.....	48
問21 妊娠・出産を担う女性は、男性とは異なった体や心の問題に直面することがありますが、女性が生涯にわたり心身共に健康であるために、どのようなことが大事だと思いますか。.....	50
問22 テレビ、新聞、雑誌、インターネットなどメディアでの固定的な性別役割分担の表現(男は仕事、女は家庭など)や暴力、性の表現について、あなたはどのようにお考えですか。.....	52
女性の参画について.....	54
問23 女性が仕事をもつことについて、あなたはどのように思いますか。.....	54
問24 あなたは女性が仕事をもち続けていくためには、どのような支援や改善が必要だと思いますか。.....	56
問25 【農林漁業、商工サービス業等自営業に従事(家族従事者も含む)している方におうかがいします。(問3で「1. 自営業または、その家族従業員」を選んだ方)】.....	57
いわゆる給料は、家族に対して払って(受け取って)いますか。.....	57
問26 農林漁業、商工サービス業等自営業に従事したことに対し、労働報酬(いわゆる給料)を支払うなど金銭的な評価をすべきだと思いますか。.....	57
問27 【現在、就業(パート、アルバイト含む)されている方におたずねします(問3で「1」～「4」のいずれかを選んだ方)】あなたの職場では、性別によって処遇が異なりますか。.....	58
問28 【現在、就業されていない方におたずねします。(問3で「5」～「7」のいずれかを選んだ方)】あなたは、今後のご自身の仕事についてどうお考えですか。.....	59
問29 【問28で「2. すぐに働きたいが、まだ就職活動は行っていない」、または「3. 将来働きたい」と答えた方におたずねします】現在、就職活動をされていない理由は何ですか。.....	60
問30 女性の社会進出は進んでいますが、議員や審議会委員、自治会長などにはまだ女性が少ないのが現状です。このように女性の参画が少ない理由は何だと思いますか。.....	62
仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス).....	64
問31 今、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進がもとめられていますが、現状をお聞かせください。あなたは、仕事と生活の調和がうまくとれていますか。.....	64
問32 【問31で「2. いいえ」と答えた方におうかがいします。】仕事と生活の調和がうまくとれない理由は何だと思いますか？.....	65
問33 男性も育児・介護休暇を取ることができるようになっていますが、このことについてあなたはどのように思いますか。.....	66
問34 【問33で「2. 男性も育児・介護休暇を取ることは賛成だが、現実には取りづらいと思う」を選んだ方におうかがいします。】現実的に取りづらい理由は何だと思いますか。.....	67
地域活動について.....	68
問35 あなたは、次のような地域活動を行っていますか。.....	68
問36 自治会などの地域の集まりや作業の中で、女性も男性と共に参加したり、男性と同じように発言することができにくい状況があると思いますか。.....	69

問37 【問36で「1. できにくい状況があると思う」を選んだ方におうかがいします。】それはどんな雰囲気や状況だと思いますか。.....	70
性的マイノリティについて.....	71
問38 LGBTなど(性的マイノリティ)にどのような考えやイメージをおもちですか。.....	71
問39 LGBTなど(性的マイノリティ)の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。....	73
問40 あなたは、次の①～⑫にあげることがらについて知っていますか。.....	74
問41 あなたは男女共同参画社会の実現に向けて、市はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。.....	79
問42 男性と女性が、家庭、職場、地域社会、政治の場などあらゆる分野に共同で参画する社会を実現するために、市に対してのご意見・ご希望などありましたら、ご自由にご記入ください。.....	81

第1章
「男女共同参画社会づくり」に向けての
市民意識調査の概要

第1章 「男女共同参画社会づくり」に向けての市民意識調査の概要

1. 調査概要

(1) 調査の目的

市民の男女共同参画に関する意識の状態等を統計的に把握し、今後の男女共同参画施策等の基礎データとして活用するとともに、今年度中間見直しを行う「第2次豊後大野市男女共同参画基本計画」の基礎データとする。

(2) 調査の設計

調査対象者	豊後大野市在住の満18歳以上の男女
対象者数	1,200人(住民基本台帳から層化無作為抽出)
配布・回収方法	郵送による配布・回収を実施
調査の期間	令和2年7月29日～令和2年8月14日

(3) 回収結果

本調査の有効回答数・回答率は以下のとおりです。

	配布数 (人)	回収数 (人)	有効回収数 (人)	有効回収率 (%)
全体	1,200	572	570	47.5

(4) 調査集計にあたっての留意事項

○回答結果は小数点第2位を四捨五入しているため、単回答(複数の選択肢からひとつだけを選ぶ形式)の割合の合計が100%にならない場合があります。

複数回答(2つ以上の回答を選ぶことのできる形式)の項目は、有効標本数全体もしくは各属性の合計に対して各々の割合を示していますので、各選択肢の回答の割合を合計しても100%とはなりません。

○本報告書における「n」「SA」「MA」の意味は次のとおりです。

「n」 : サンプル数

「SA」 : 単回答(Single Answer の略)

「MA」 : 複数回答(Multiple Answer の略)

2. 回答者の属性

(1) 年齢構成

		18歳 ～29歳	30歳 ～39歳	40歳 ～49歳	50歳 ～59歳	60歳 ～69歳	70歳以上	無回答	合計
女性	人数(人)	42	40	52	69	79	57	0	339
	割合(%)	12.4	11.8	15.3	20.4	23.3	16.8	0.0	100
男性	人数(人)	26	27	36	37	53	48	0	227
	割合(%)	11.5	11.9	15.9	16.3	23.3	21.1	0.0	100
無回答	人数(人)	0	2	0	1	0	1	0	4
	割合(%)	0.0	50.0	0.0	0.25	0.0	0.25	0.0	100
合計	人数(人)	68	69	88	107	132	106	0	570
	割合(%)	11.9	12.1	15.4	18.8	23.2	18.6	0.0	100

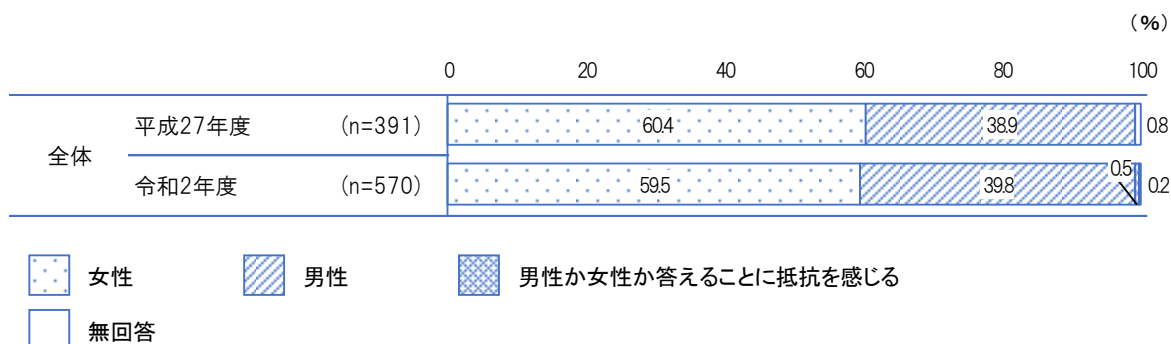
第2章

「男女共同参画社会づくり」に向けての 市民意識調査の結果

第2章 「男女共同参画社会づくり」に向けての市民意識調査の結果

[SA]

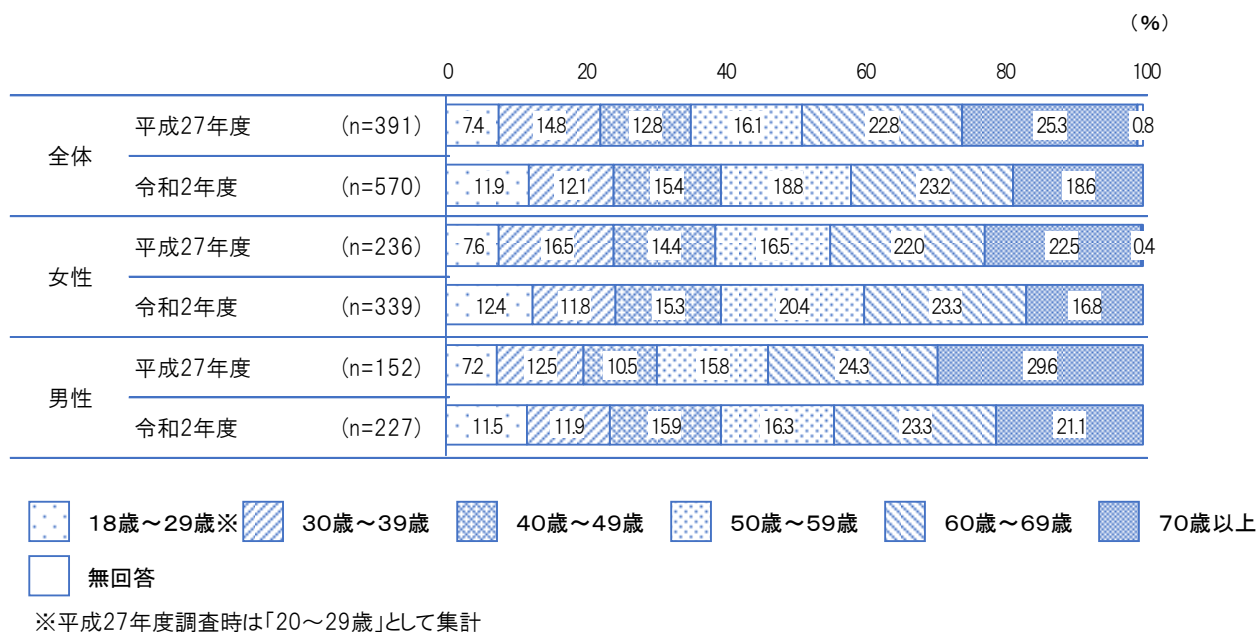
問1 あなたの性別をお聞かせください。



全体で見ると、「女性」が 59.5%、男性が 39.8%となっています。
前期調査と全体で比較すると大きな差はみられません。

[SA]

問2 あなたの年齢は次のどれにあたりますか。



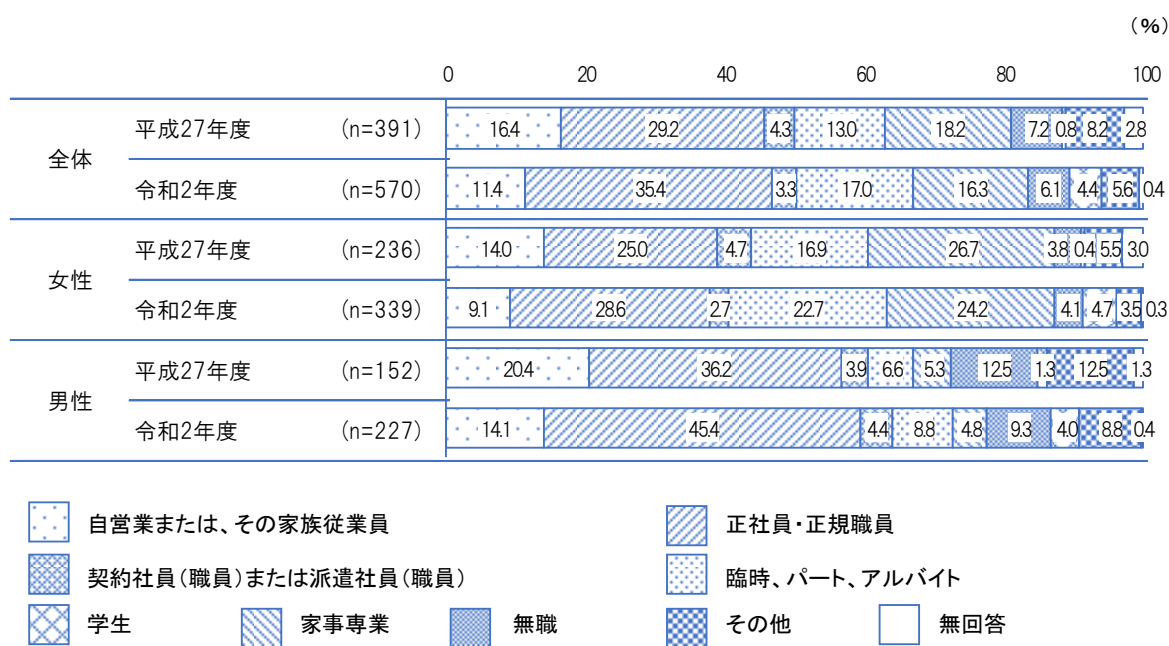
全体で見ると、「60歳~69歳」が 23.2%と最も高く、次いで「50歳~59歳」(18.8%)、「70歳以上」(18.6%)となっています。

性別で見ると、男女ともに「60~69歳」が最も高くなっています。

前期調査と全体で比較すると大きな差はみられません。

性別で比較すると、「70歳以上」が女性では 5.7ポイント、男性では 8.5ポイント減少しています。

問3 あなたの職業は次のうち、どれにあてはまりますか。



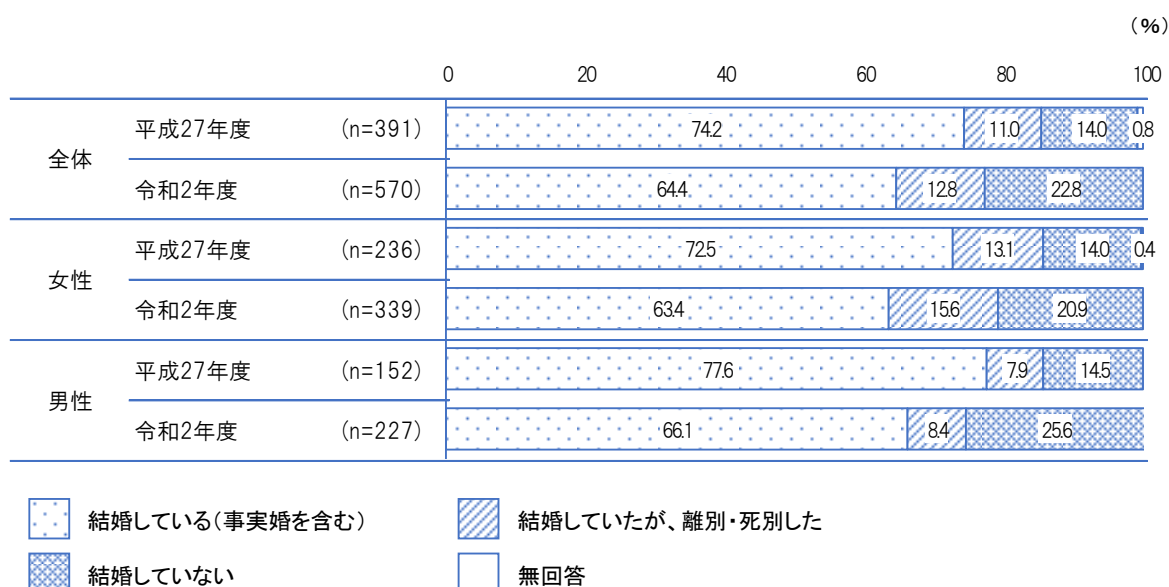
全体で見ると、「正社員・正規職員」が35.4%と最も高く、次いで「臨時、パート、アルバイト」(17.0%)、「家事専業」(16.3%)となっています。

性別で見ると、「正社員・正規職員」では女性が28.6%、男性が45.4%と女性に比べ男性が16.8ポイント高く、「臨時、パート、アルバイト」では女性が22.7%、男性が8.8%と男性に比べ女性が13.9ポイント高く、「家事専業」では女性が24.2%、男性が4.8%と男性に比べ女性が19.4ポイント高くなっています。

前期調査と全体で比較すると、「自営業または、その家族従業員」が5.0ポイント減少し、「正社員・正規職員」が6.2ポイント増加しています。

性別で比較すると、女性では「臨時、パート、アルバイト」が5.8ポイント、男性では「正社員・正規職員」が9.2ポイント増加しています。

問4 あなたは結婚されていますか。

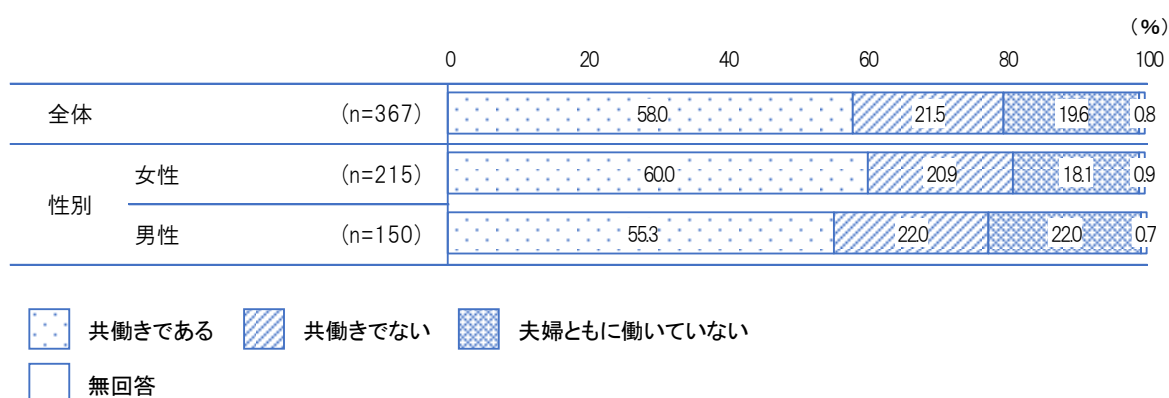


全体で見ると、「結婚している(事実婚を含む)」が64.4%と最も高く、次いで「結婚していない」(22.8%)、「結婚していたが、離別・死別した」(12.8%)となっています。

性別で見ると、「結婚していたが、離別・死別した」では女性が15.6%、男性が8.4%と男性に比べ女性が7.2ポイント高くなっています。

前期調査と全体で比較すると、「結婚している(事実婚を含む)」が9.8ポイント減少しています。

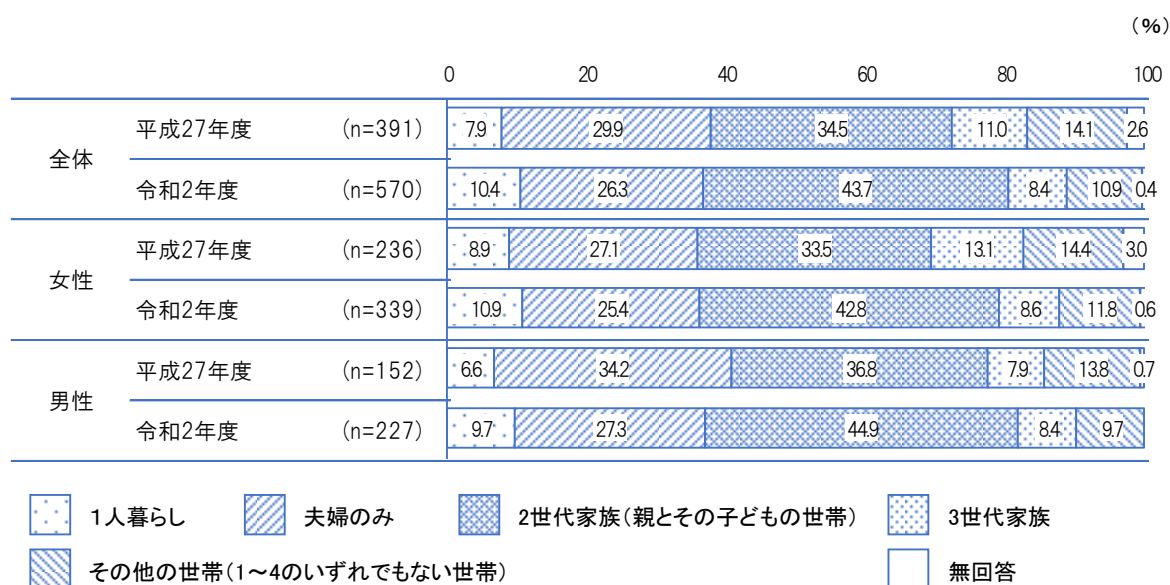
性別で比較すると、男女ともに「結婚している(事実婚を含む)」が減少しています。

問5 【問4で「1. 結婚している(事実婚を含む)」を選んだ方におうかがいします。】
あなたは共働き(パート・アルバイトなどを含む)ですか。

全体で見ると、「共働きである」が58.0%と最も高く、次いで「共働きでない」(21.5%)、「夫婦ともに働いていない」(19.6%)となっています。

性別で見ると、すべての項目で性別による大きな差はみられません。

問6 現在同居しているあなたの家族構成は、次のどれにあてはまりますか。



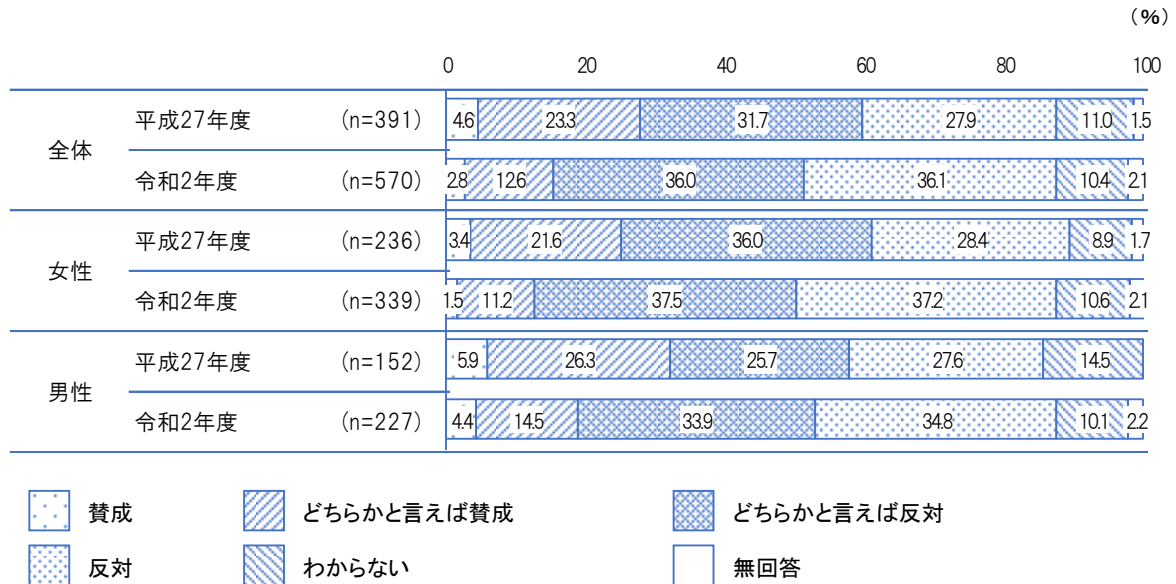
全体で見ると、「2世代家族(親とその子どもの世帯)」が43.7%と最も高く、次いで「夫婦のみ」(26.3%)、「その他の世帯(1~4のいずれでもない世帯)」(10.9%)となっています。

性別で見ると、すべての項目で性別による大きな差はみられません。

前期調査と全体で比較すると、「2世代家族(親とその子どもの世帯)」が9.2ポイント増加しています。

性別で比較すると、男女ともに「2世代家族(親とその子どもの世帯)」が増加し、男性では「夫婦のみ」が6.9ポイント減少しています。

問7 「男は仕事、女は家庭」のように性別によって役割を固定する考え方がありますが、あなたはその考え方をどう思いますか。



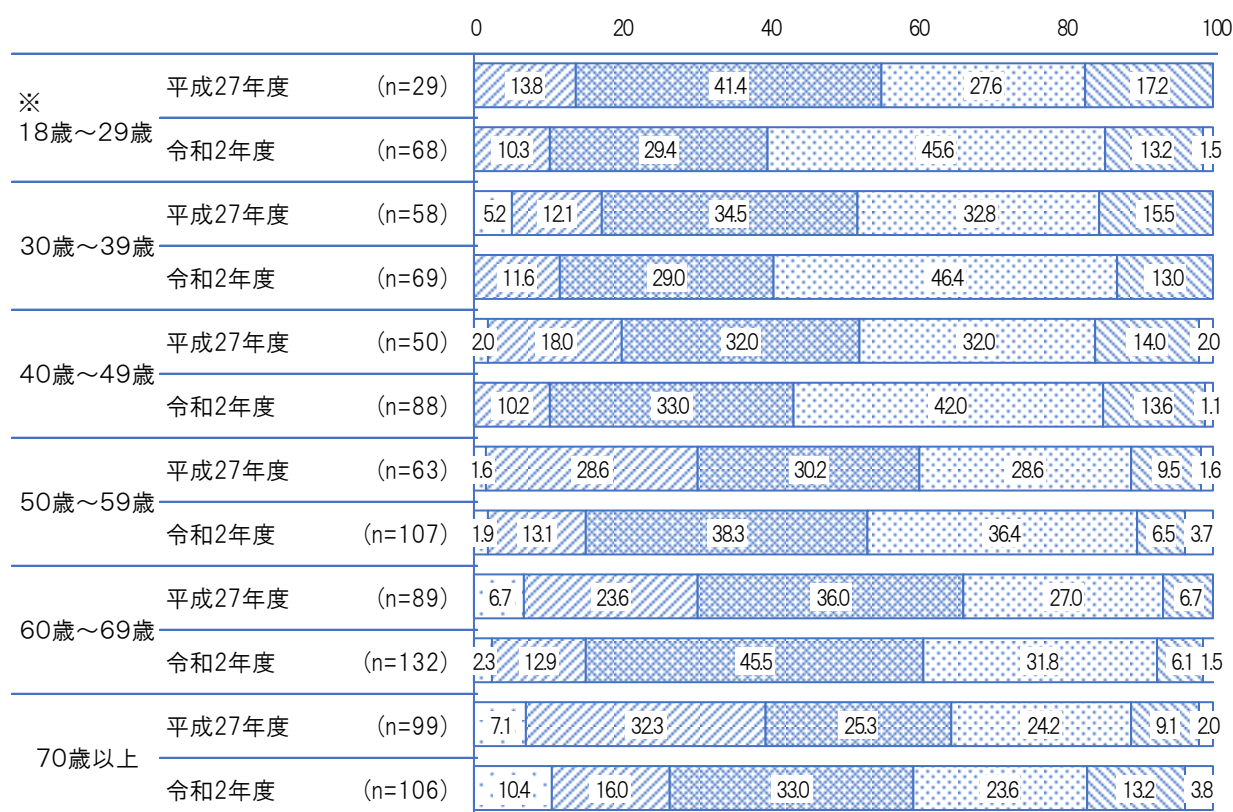
全体で見ると、『賛成』(「賛成」と「どちらかと言えば賛成」を合わせた割合)が 15.4%、『反対』(「反対」と「どちらかと言えば反対」を合わせた割合)が 72.1%となっています。

性別で見ると、『反対』では女性が 74.7%、男性が 68.7%と男性に比べ女性が 6.0 ポイント高くなっています。

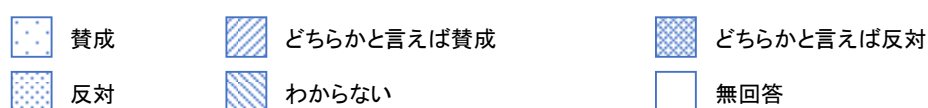
前期調査と全体と比較すると、『反対』が 12.5 ポイント増加しています。

性別で比較すると、『反対』では女性が 10.3 ポイント、男性では 15.4 ポイント増加しています。

(%)



※平成27年度調査時は「20～29歳」として集計

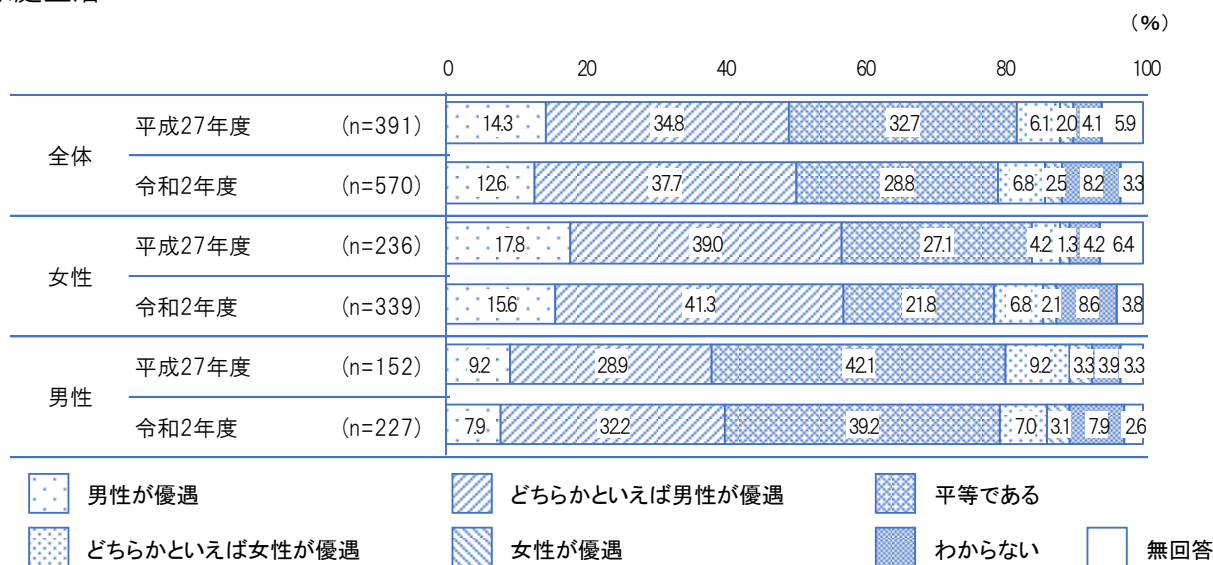


年齢階級別でみると、70歳以上では『賛成』（「賛成」と「どちらかと言えば賛成」を合わせた割合）が26.4%と他の年代よりも11ポイント以上高く、『反対』（「反対」と「どちらかと言えば反対」を合わせた割合）が56.6%と他の年代よりも18ポイント以上低くなっています。また、年齢が高くなるにつれ『賛成』の割合も高くなる傾向にあります。

前期調査と比較すると、すべての年齢階級で『反対』の割合が増加しています。また、18歳～39歳では「どちらかといえば反対」の割合が減少し、「反対」の割合が増加しています。

問8 あなたは、次の①～⑧にあげるような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。

①家庭生活



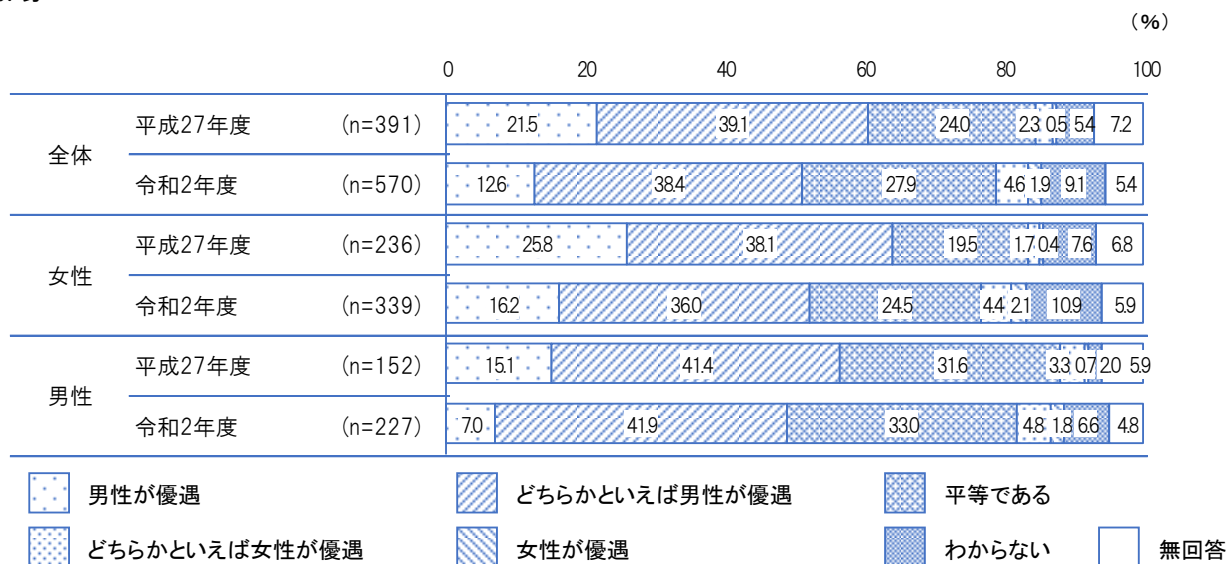
全体でみると、『男性が優遇』(「男性が優遇」と「どちらかといえば男性が優遇」を合わせた割合)が 50.3%と最も高く、次いで「平等である」(28.8%)、『女性が優遇』(「どちらかといえば女性が優遇」と「女性が優遇」を合わせた割合)(9.3%)となっています。

性別でみると、『男性が優遇』では女性が 56.9%、男性が 40.1%と男性に比べ女性が 16.8 ポイント高くなっています。

前期調査と全体で比較すると、大きな差はみられません。

性別で比較すると、「平等である」では女性が 5.3 ポイント減少しています。

②職場



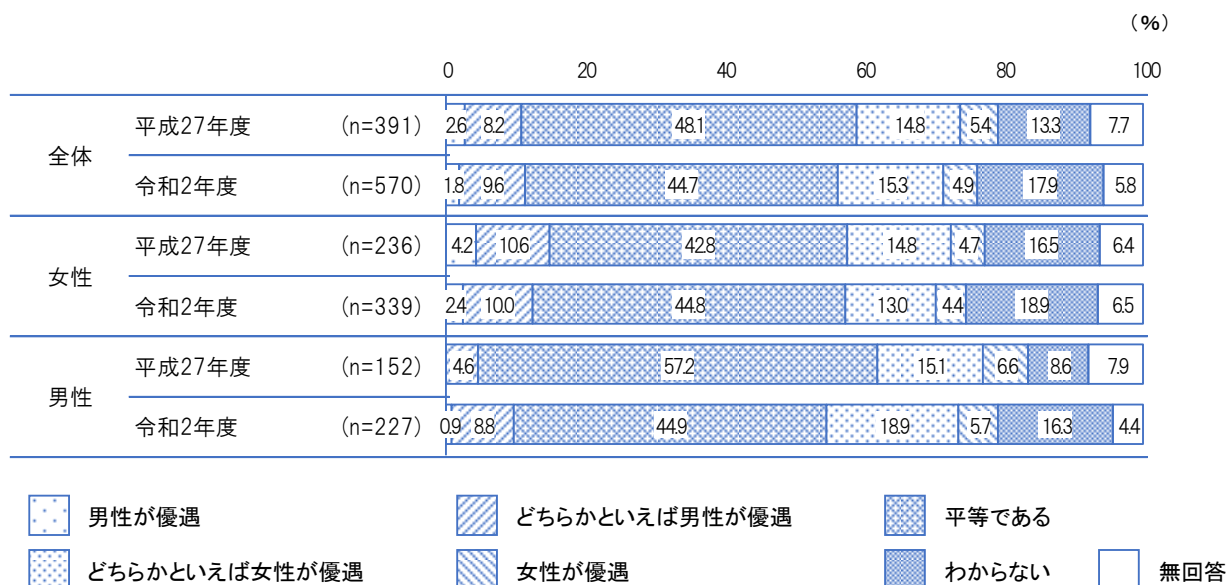
全体でみると、『男性が優遇』(「男性が優遇」と「どちらかといえば男性が優遇」を合わせた割合)が 51.0%と最も高く、次いで「平等である」(27.9%)、『女性が優遇』(「どちらかといえば女性が優遇」と「女性が優遇」を合わせた割合)(6.5%)となっています。

性別でみると、「平等である」では女性が 24.5%、男性が 33.0%と女性に比べ男性が 8.5 ポイント高くなっています。

前期調査と全体で比較すると、『男性が優遇』が 9.6 ポイント減少しています。

性別で比較すると、『男性が優遇』では女性が 11.7 ポイント、男性が 7.6 ポイント減少しており、「平等である」では女性が 5.0 ポイント増加しています。

③子どもの教育の場



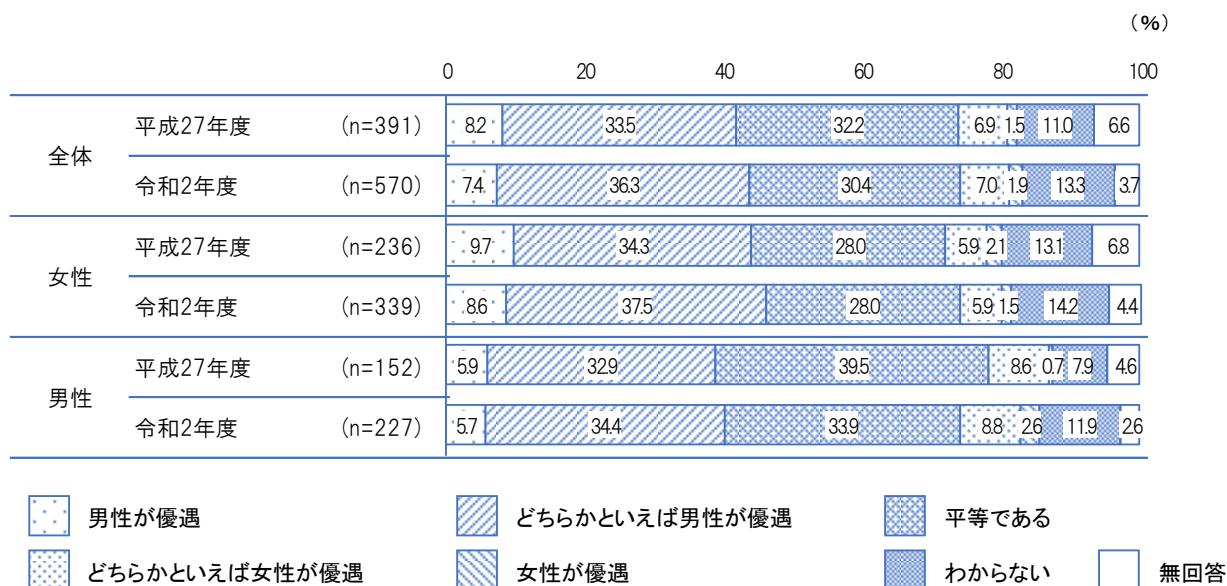
全体で見ると、「平等である」が44.7%と最も高く、次いで『女性が優遇』（「どちらかといえば女性が優遇」と「女性が優遇」を合わせた割合）(20.2%)、「わからない」(17.9%)となっています。

性別で見ると、『女性が優遇』では女性が17.4%、男性が24.6%と男性に比べ女性が7.2ポイント高くなっています。

前期調査と全体で比較すると、大きな差はみられません。

性別で比較すると、『男性が優遇』（「男性が優遇」と「どちらかといえば男性が優遇」を合わせた割合）では男性が5.1ポイント増加しており、「平等である」では男性が12.3ポイント減少しています。

④地域活動や社会活動



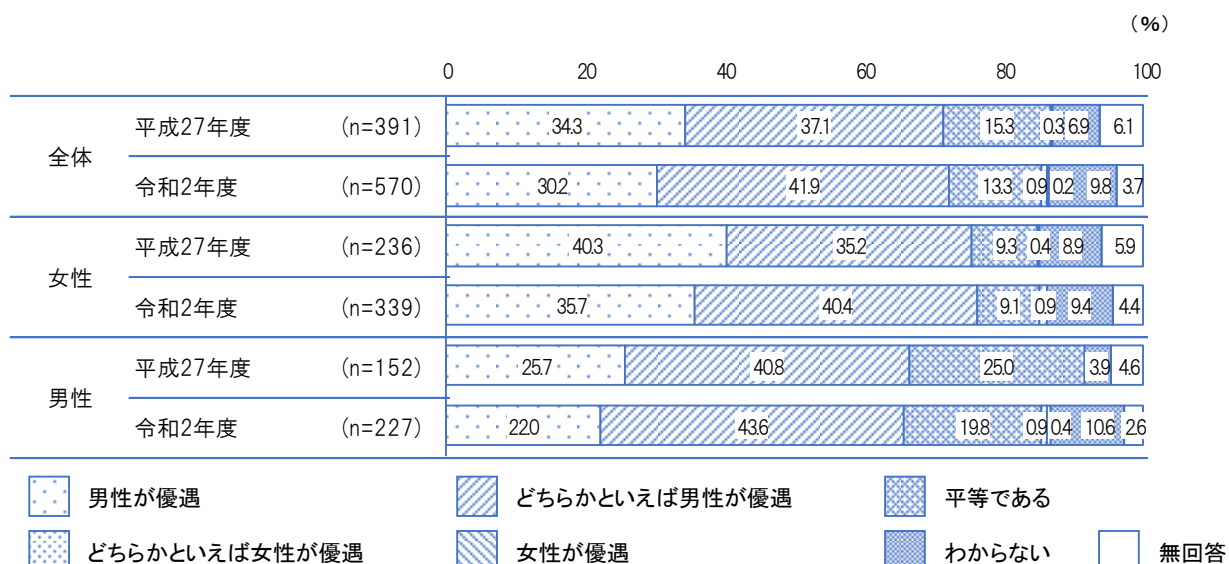
全体で見ると、『男性が優遇』（「男性が優遇」と「どちらかといえば男性が優遇」を合わせた割合）が43.7%と最も高く、次いで「平等である」(30.4%)、「わからない」(13.3%)となっています。

性別で見ると、「平等である」では女性が28.0%、男性が33.9%と女性に比べ男性が5.9ポイント高くなっています。『男性が優遇』では女性が46.1%、男性が40.1%と男性に比べ女性が6.0ポイント高くなっています。

前期調査と全体で比較すると、大きな差はみられません。

性別で比較すると、「平等である」では男性が5.6ポイント減少しています。

⑤政治の場



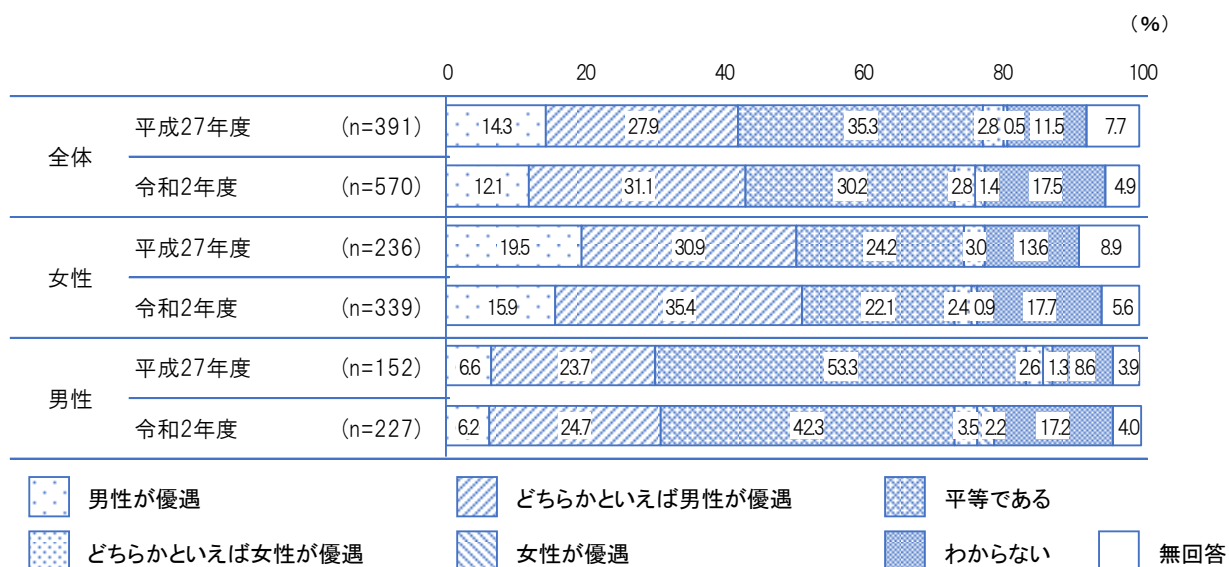
全体でみると、『男性が優遇』（「男性が優遇」と「どちらかといえば男性が優遇」を合わせた割合）が72.1%と最も高く、次いで「平等である」（13.3%）、「わからない」（9.8%）となっています。

性別でみると、『男性が優遇』では、女性が76.1%、男性が65.6%と男性に比べ女性が10.5ポイント高くなっています。「平等である」では女性が9.1%、男性が19.8%と女性に比べ男性が10.7ポイント高くなっています。

前期調査と全体で比較すると、大きな差はみられません。

性別で比較すると、「わからない」では男性が6.7ポイント増加しています。

⑥法律や制度の上



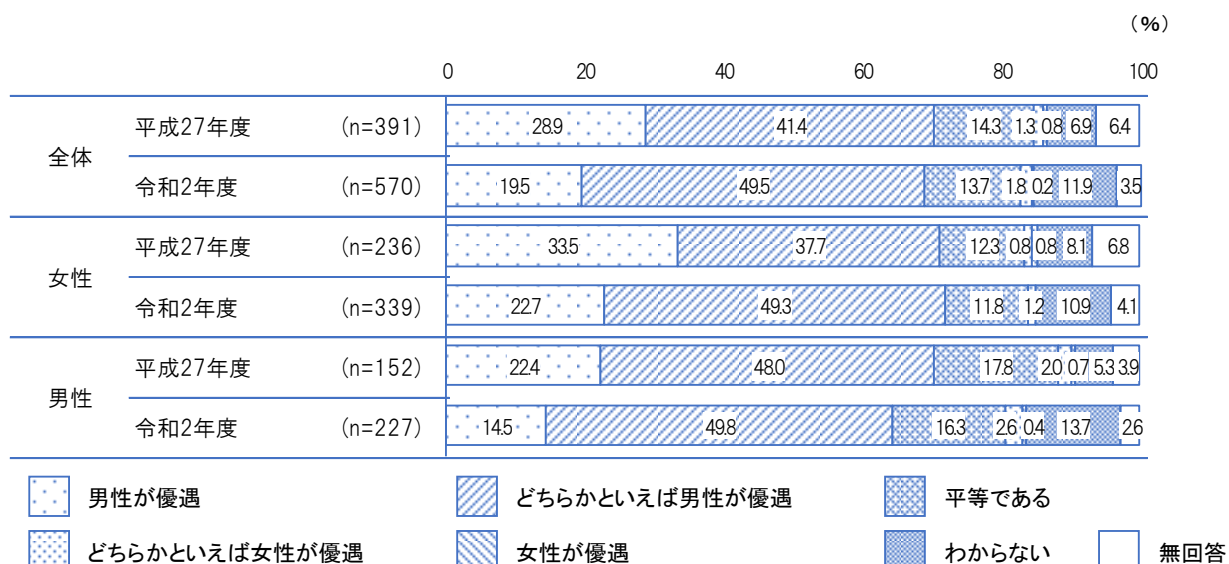
全体でみると、『男性が優遇』（「男性が優遇」と「どちらかといえば男性が優遇」を合わせた割合）が43.2%と最も高く、次いで「平等である」（30.2%）、「わからない」（17.5%）となっています。

性別でみると、『男性が優遇』では女性が51.3%、男性が30.9%と男性に比べ女性が20.4ポイント高くなっています。「平等である」では女性が22.1%、男性が42.3%と女性に比べ男性が20.2ポイント高くなっています。

前期調査と全体で比較すると、「平等である」が5.1ポイント減少し、「わからない」が6.0ポイント増加しています。

性別で比較すると、「平等である」では男性が11.0ポイント減少し、「わからない」では男性が8.6ポイント増加しています。

⑦地域社会の通念・慣習・しきたり



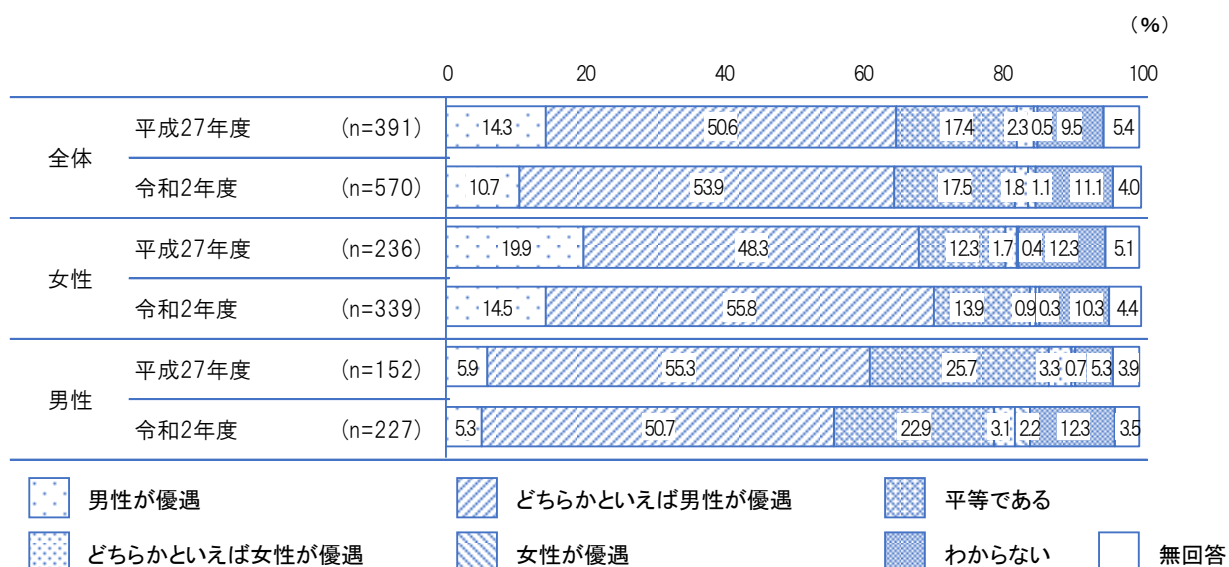
全体でみると、『男性が優遇』(「男性が優遇」と「どちらかといえば男性が優遇」を合わせた割合)が69.0%と最も高く、「平等である」(13.7%)、「わからない」(11.9%)となっています。

性別でみると、『男性が優遇』では女性が72.0%、男性が64.3%と男性に比べ女性が7.7ポイント高くなっています。

前期調査と全体で比較すると、「わからない」が5.0ポイント増加しています。

性別で比較すると、『男性が優遇』では男性が6.1ポイント減少し、「わからない」では男性が8.4ポイント増加しています。

⑧社会全体



全体でみると、『男性が優遇』(「男性が優遇」と「どちらかといえば男性が優遇」を合わせた割合)が64.6%と最も高く、次いで「平等である」(17.5%)、「わからない」(11.1%)となっています。

性別でみると、「男性が優遇」では女性が70.3%、男性が56.0%と男性に比べ女性が14.3ポイント高くなっており、「平等である」では女性が13.9%、男性が22.9%と女性に比べ男性が9.0ポイント高くなっています。

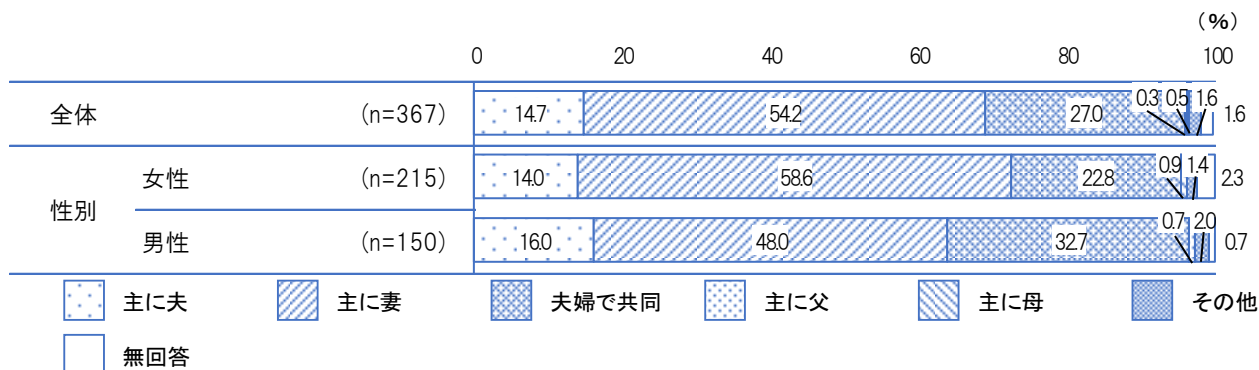
前期調査と全体で比較すると、大きな差はみられません。

性別で比較すると、『男性が優遇』では男性が5.2ポイント減少し、「わからない」では男性が7.0ポイント増加しています。

問9 【結婚している方(事実婚を含む)におたずねします。(問4で「1. 結婚している(事実婚を含む)」を選んだ方)】あなたの家庭では、次の①～⑪にあげるような家庭内の役割を主に誰がしていますか。【現状】と【理想】からそれぞれお答えください。

(1)家計の管理

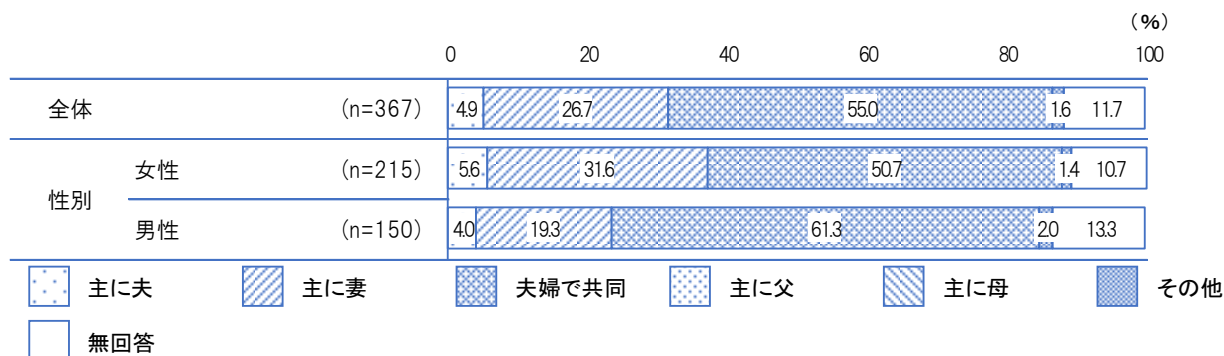
①【現状】



全体で見ると、「主に妻」が54.2%と最も高く、次いで「夫婦で共同」(27.0%)、「主に夫」(14.7%)となっています。

性別で見ると、「主に妻」では女性が58.6%、男性が48.0%と男性に比べ女性が10.6ポイント高く、「夫婦で共同」では女性が22.8%、男性が32.7%と女性に比べ男性が9.9ポイント高くなっています。

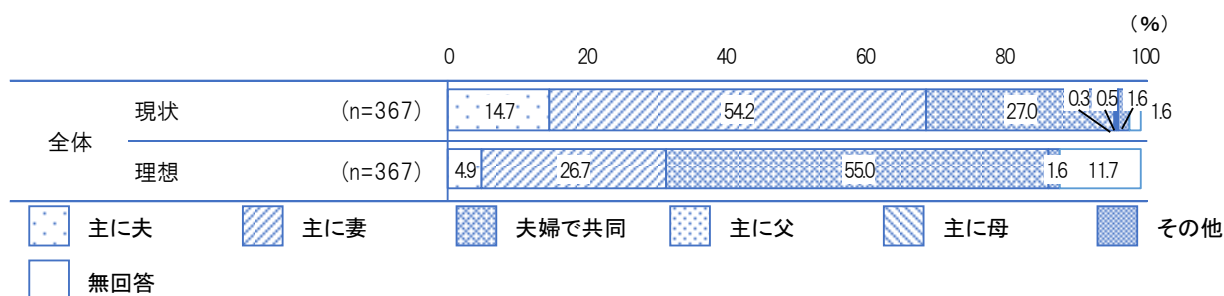
②【理想】



全体で見ると、「夫婦で共同」が55.0%と最も高く、次いで「主に妻」(26.7%)、「主に夫」(4.9%)となっています。

性別で見ると、「主に妻」では女性が31.6%、男性が19.3%と男性に比べ女性が12.3ポイント高く、「夫婦で共同」では女性が50.7%、男性が61.3%と女性に比べ男性が10.6ポイント高くなっています。

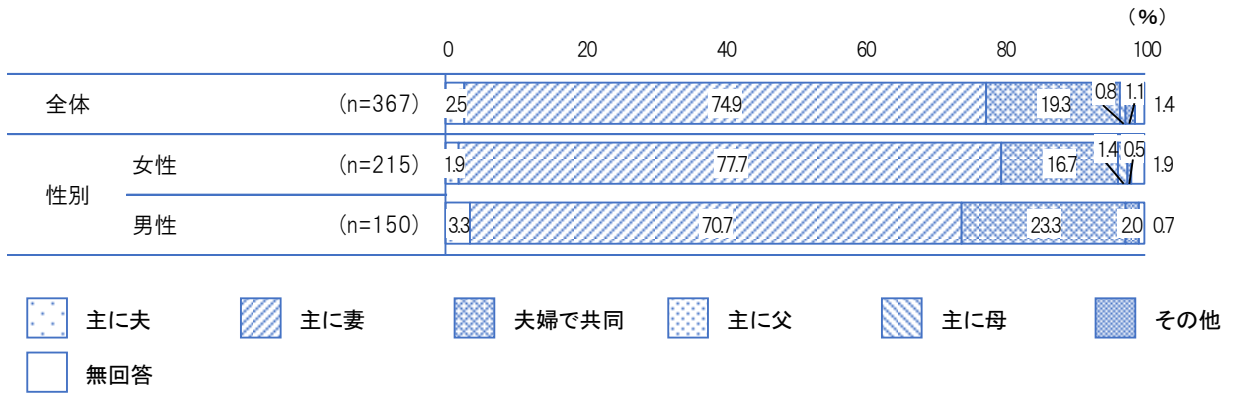
③【現状】と【理想】の比較



全体の【現状】と【理想】を比較すると、【理想】では「夫婦で共同」が55.0%と最も高くなっていますが、【現状】では「主に妻」が54.2%と最も高く、「夫婦で共同」は27.0%と【理想】とは28.0ポイントの差があります。

(2)食料品等の買い物

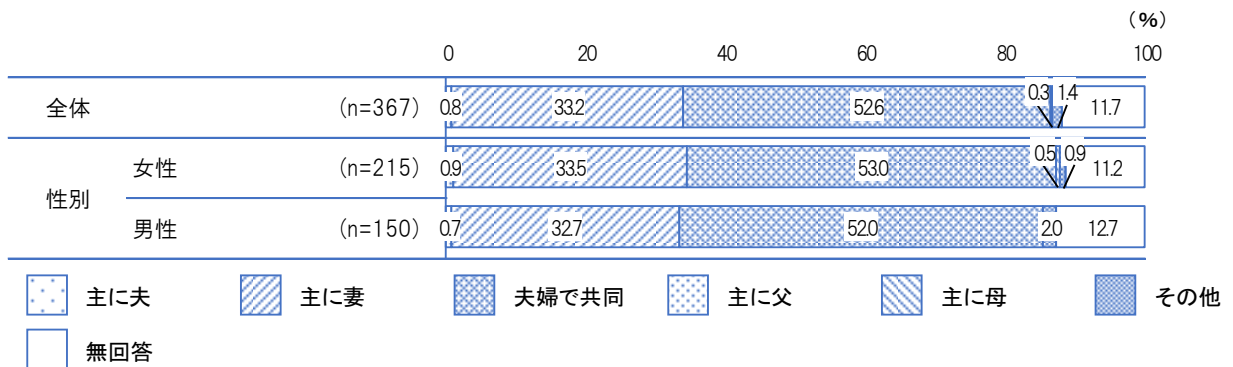
①【現状】



全体で見ると、「主に妻」が74.9%と最も高く、次いで「夫婦で共同」(19.3%)、「主に夫」(2.5%)となっています。

性別で見ると、「主に妻」では女性が77.7%、男性が70.7%と男性に比べ女性が7.0ポイント高く、「夫婦で共同」では女性が16.7%、男性が23.3%と女性に比べ男性が6.6ポイント高くなっています。

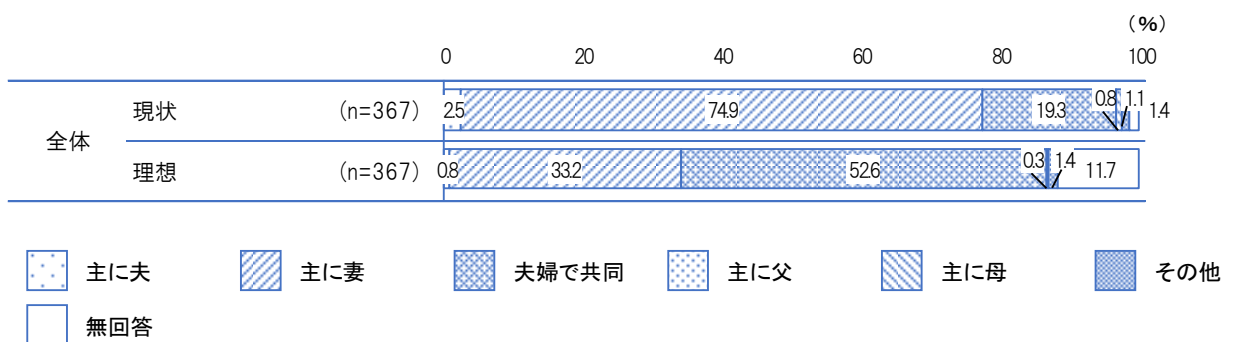
②【理想】



全体で見ると、「夫婦で共同」が52.6%と最も高く、次いで「主に妻」(33.2%)、「その他」(1.4%)となっています。

性別で見ると、すべての項目で性別による大きな差はみられません。

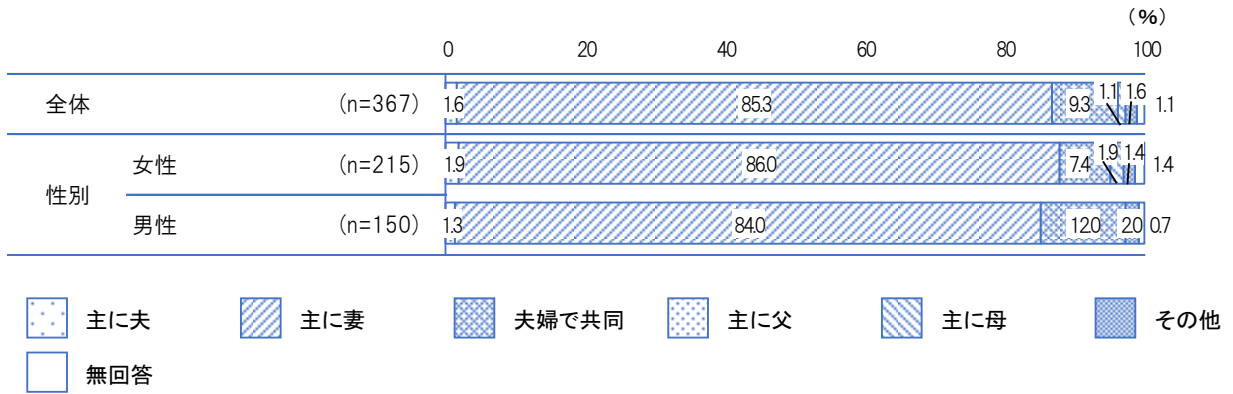
③【現状】と【理想】の比較



全体の【現状】と【理想】を比較すると、【理想】では「夫婦で共同」が52.6%と最も高くなっていますが、【現状】では「主に妻」が74.9%と最も高く、「夫婦で共同」は19.3%と【理想】とは33.3ポイントの差があります。

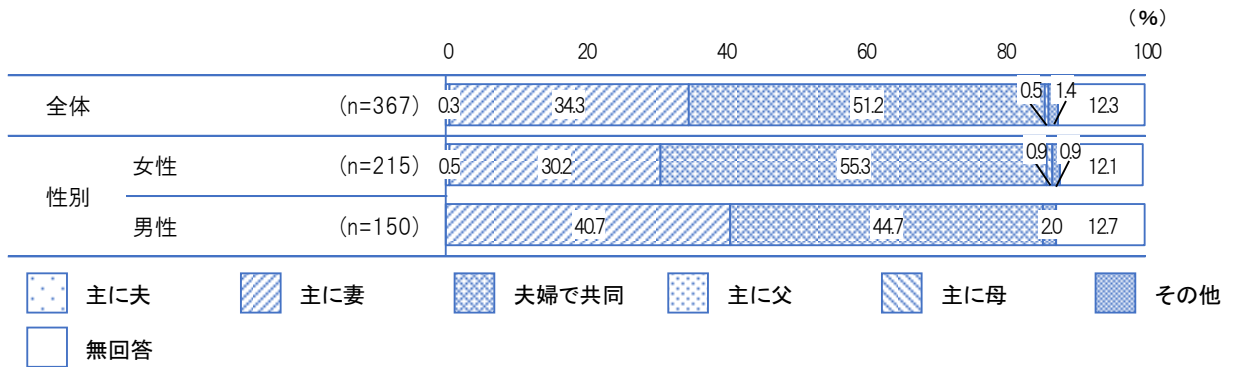
(3) 食事のしたく

①【現状】



全体で見ると、「主に妻」が85.3%と最も高く、次いで「夫婦で共同」(9.3%)となっています。
性別で見ると、すべての項目で性別による大きな差はみられません。

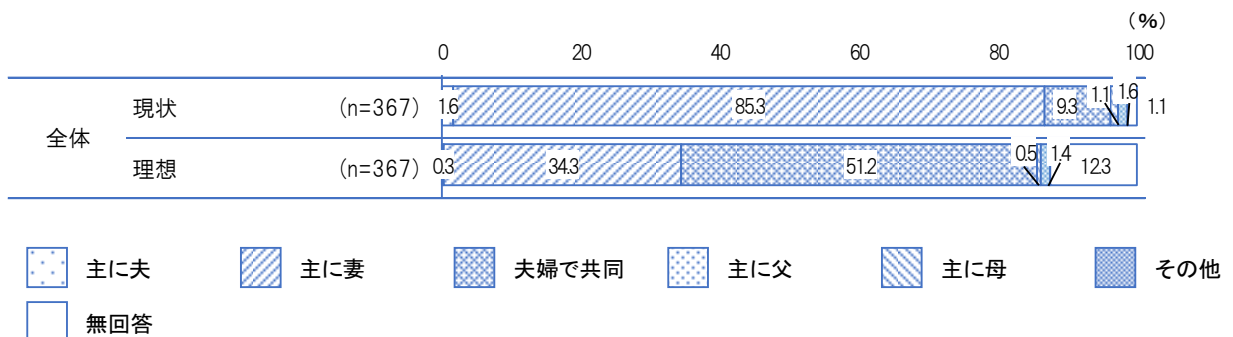
②【理想】



全体で見ると、「夫婦で共同」が51.2%と最も高く、次いで「主に妻」(34.3%)、「その他」(1.4%)となっています。

性別で見ると、「主に妻」では女性が30.2%、男性が40.7%と女性に比べ男性が10.5ポイント高く、「夫婦で共同」では女性が55.3%、男性が44.7%と男性に比べ女性が10.6ポイント高くなっています。

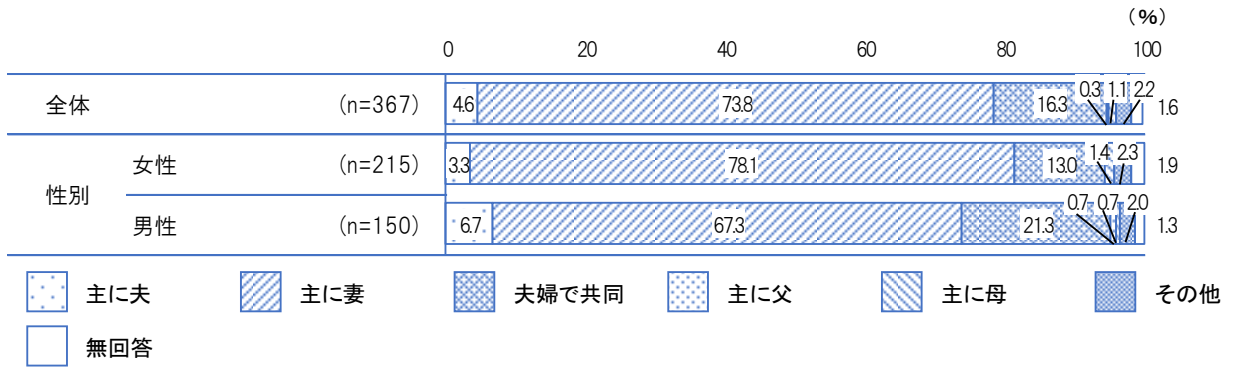
③【現状】と【理想】の比較



全体の【現状】と【理想】を比較すると、【理想】では「夫婦で共同」が51.2%と最も高くなっていますが、【現状】では「主に妻」が85.3%と最も高く、「夫婦で共同」は9.3%と【理想】とは41.9ポイントの差があります。

(4)食後の片づけ

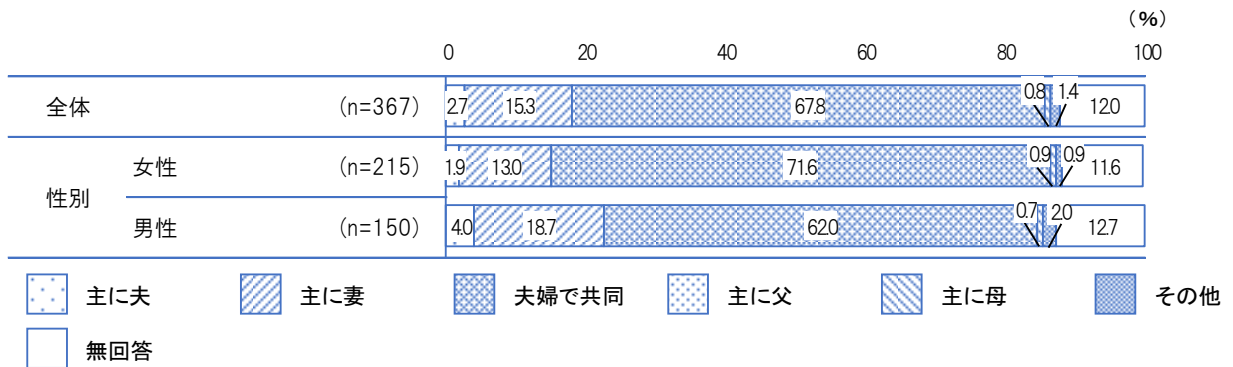
①【現状】



全体で見ると、「主に妻」が73.8%と最も高く、次いで「夫婦で共同」(16.3%)、「主に夫」(4.6%)となっています。

性別で見ると、「主に妻」では女性が78.1%、男性が67.3%と男性に比べ女性が10.8ポイント高く、「夫婦で共同」では女性が13.0%、男性が21.3%と女性に比べ男性が8.3ポイント高くなっています。

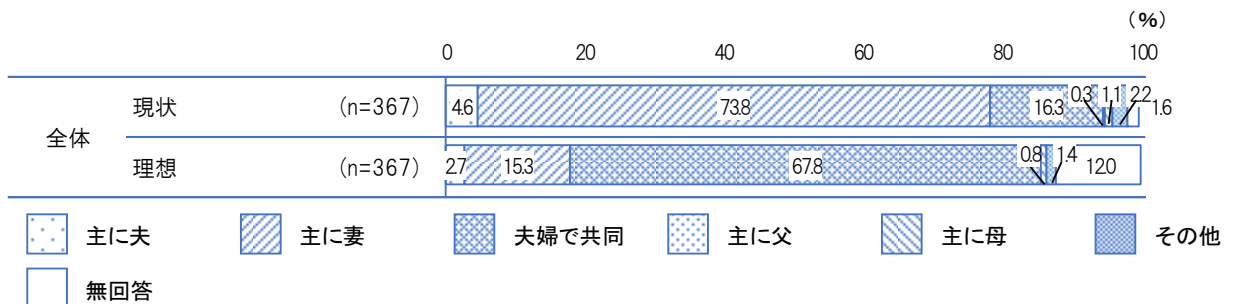
②【理想】



全体で見ると、「夫婦で共同」が67.8%と最も高く、次いで「主に妻」(15.3%)、「主に夫」(2.7%)となっています。

性別で見ると、「主に妻」では女性が13.0%、男性が18.7%と女性に比べ男性が5.7ポイント高く、「夫婦で共同」では女性が71.6%、男性が62.0%と男性に比べ女性が9.6ポイント高くなっています。

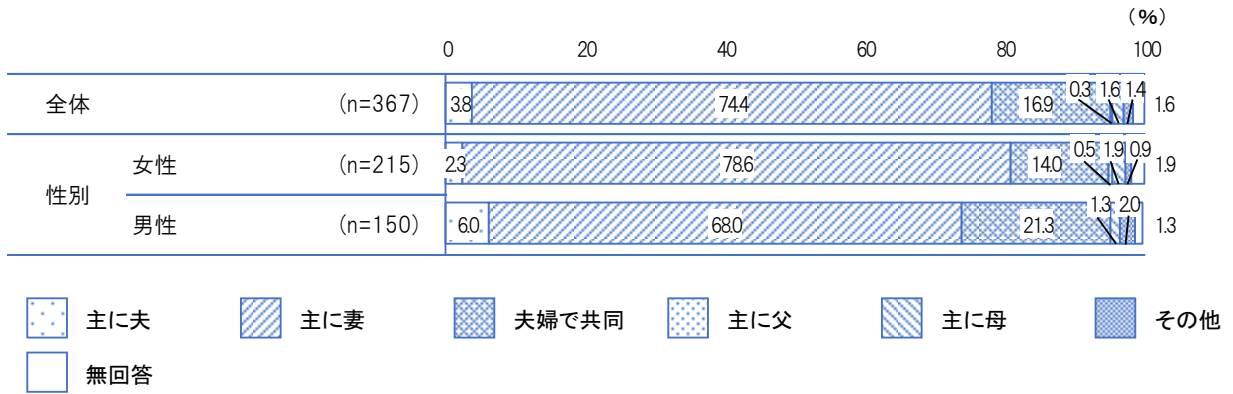
③【現状】と【理想】の比較



全体の【現状】と【理想】を比較すると、【理想】では「夫婦で共同」が67.8%と最も高くなっていますが、【現状】では「主に妻」が73.8%と最も高く、「夫婦で共同」は16.3%と【理想】とは51.5ポイントの差があります。

(5) 掃除・洗濯

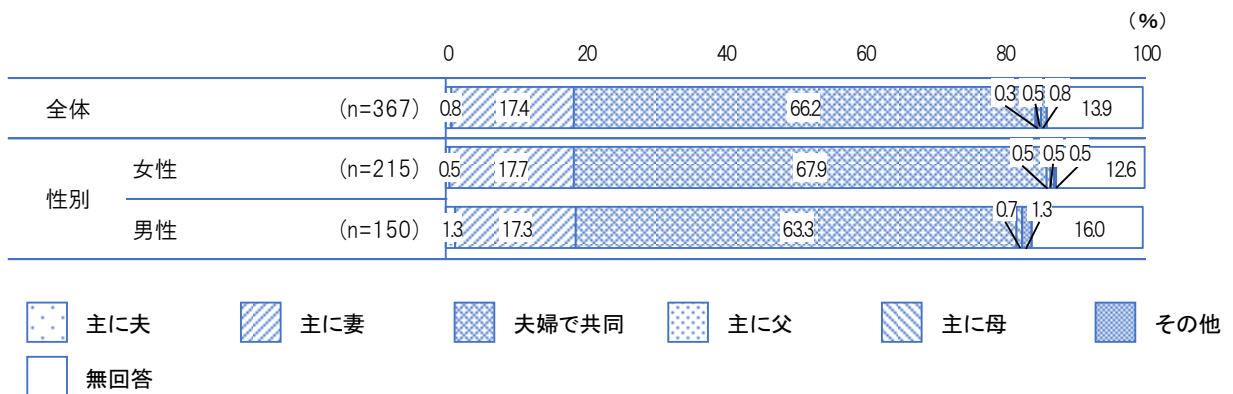
①【現状】



全体で見ると、「主に妻」が74.4%と最も高く、次いで「夫婦で共同」(16.9%)、「主に夫」(3.8%)となっています。

性別で見ると、「主に妻」では女性が78.6%、男性が68.0%と男性に比べ女性が10.6ポイント高く、「夫婦で共同」では女性が14.0%、男性が21.3%と女性に比べ男性が7.3ポイント高くなっています。

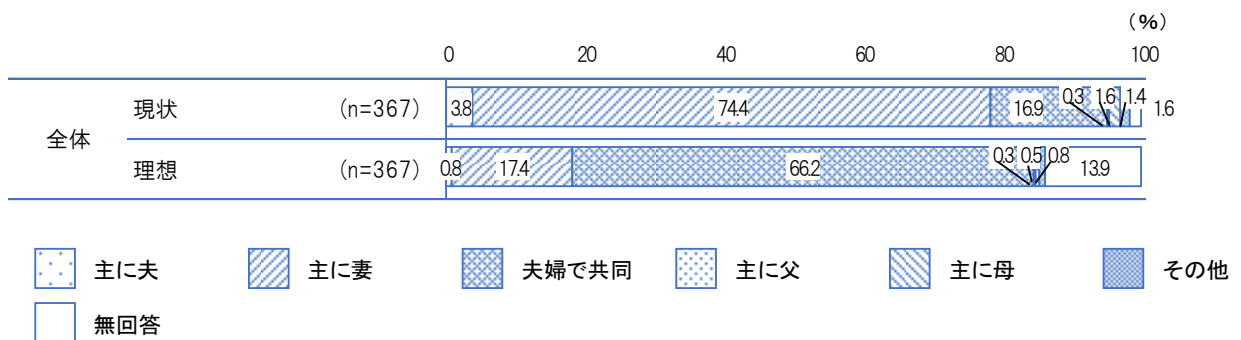
②【理想】



全体で見ると、「夫婦で共同」が66.2%と最も高く、次いで「主に妻」(17.4%)となっています。

性別で見ると、すべての項目で性別による大きな差はみられません。

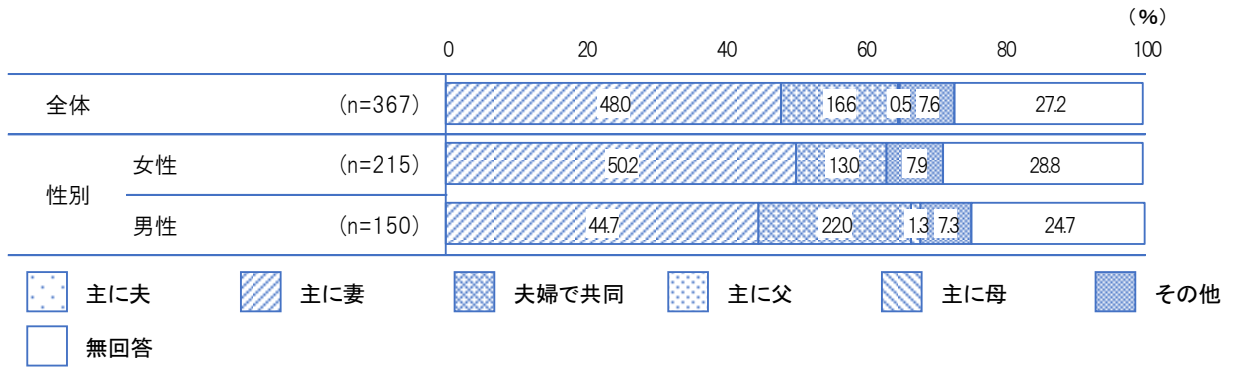
③【現状】と【理想】の比較



全体の【現状】と【理想】を比較すると、【理想】では「夫婦で共同」が66.2%と最も高くなっていますが、【現状】では「主に妻」が74.4%と最も高く、「夫婦で共同」は16.9%と【理想】とは49.3ポイントの差があります。

(6)乳幼児の世話育児

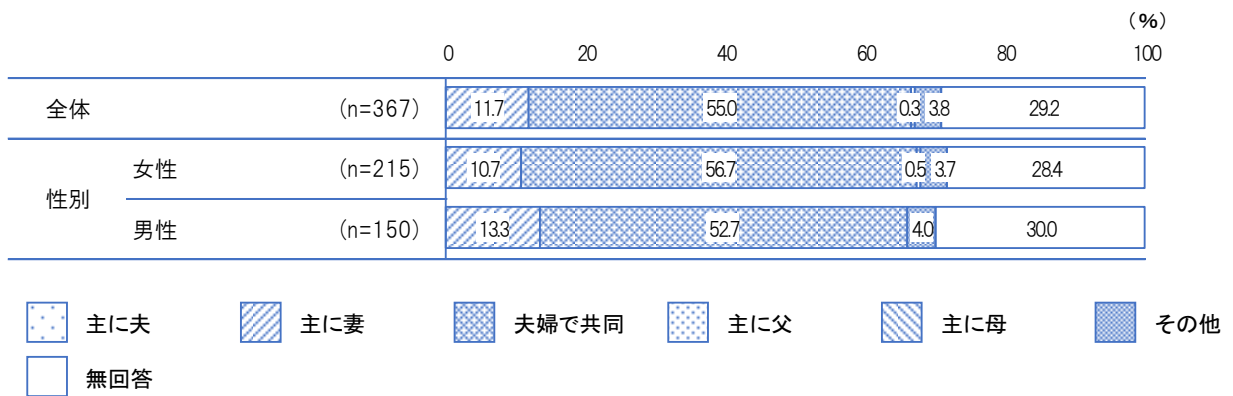
①【現状】



全体で見ると、「主に妻」が48.0%と最も高く、次いで「夫婦で共同」(16.6%)、「その他」(7.6%)となっています。

性別で見ると、「主に妻」では女性が50.2%、男性が44.7%と男性に比べ女性が5.5ポイント高く、「夫婦で共同」では女性が13.0%、男性が22.0%と女性に比べ男性が9.0ポイント高くなっています。

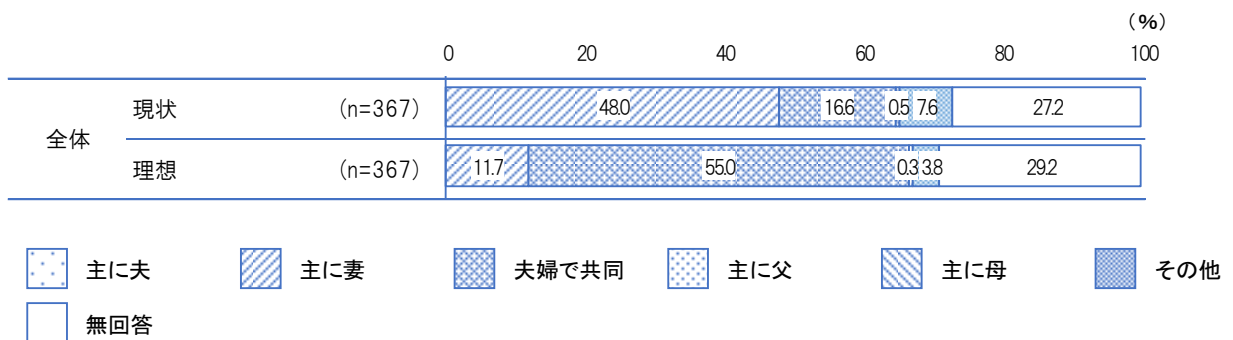
②【理想】



全体で見ると、「夫婦で共同」が55.0%と最も高く、次いで「主に妻」(11.7%)、「その他」(3.8%)となっています。

性別で見ると、すべての項目で性別による大きな差はみられません。

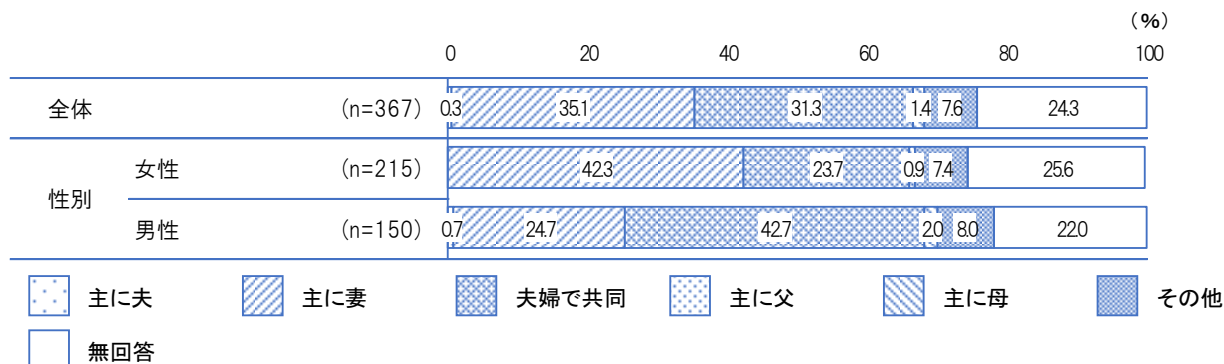
③【現状】と【理想】の比較



全体の【現状】と【理想】を比較すると、【理想】では「夫婦で共同」が55.0%と最も高くなっていますが、【現状】では「主に妻」が48.0%と最も高く、「夫婦で共同」は16.6%と【理想】とは38.4ポイントの差があります。

(7) 育児・しつけ

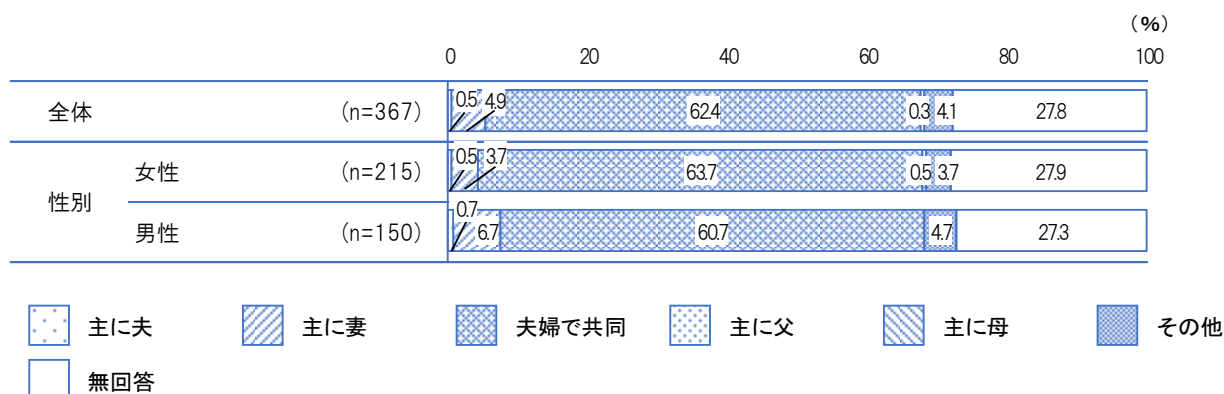
①【現状】



全体で見ると、「主に妻」が35.1%と最も高く、次いで「夫婦で共同」(31.3%)、「その他」(7.6%)となっています。

性別で見ると、「主に妻」では女性が42.3%、男性が24.7%と男性に比べ女性が17.6ポイント高く、「夫婦で共同」では女性が23.7%、男性が42.7%と女性に比べ男性が19.0ポイント高くなっています。

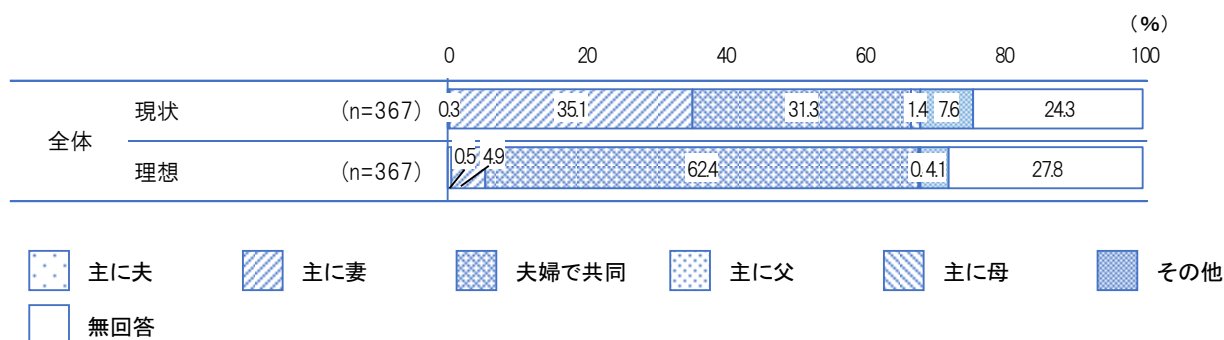
②【理想】



全体で見ると、「夫婦で共同」が62.4%と最も高く、次いで「主に妻」(4.9%)、「その他」(4.1%)となっています。

性別で見ると、すべての項目で性別による大きな差はみられません。

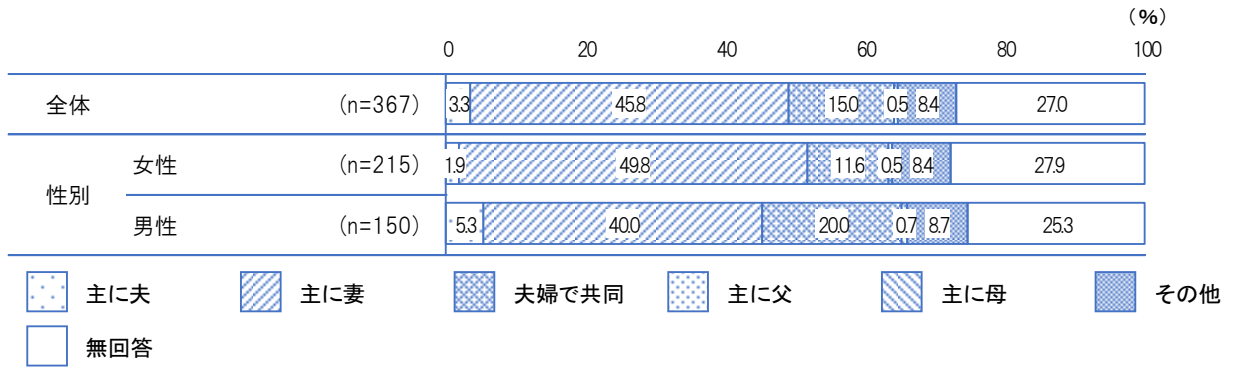
③【現状】と【理想】の比較



全体の【現状】と【理想】を比較すると、【理想】では「夫婦で共同」が62.4%と最も高くなっていますが、【現状】では「主に妻」が35.1%と最も高く、「夫婦で共同」は31.3%と【理想】とは31.1ポイントの差があります。

(8)PTAへの出席

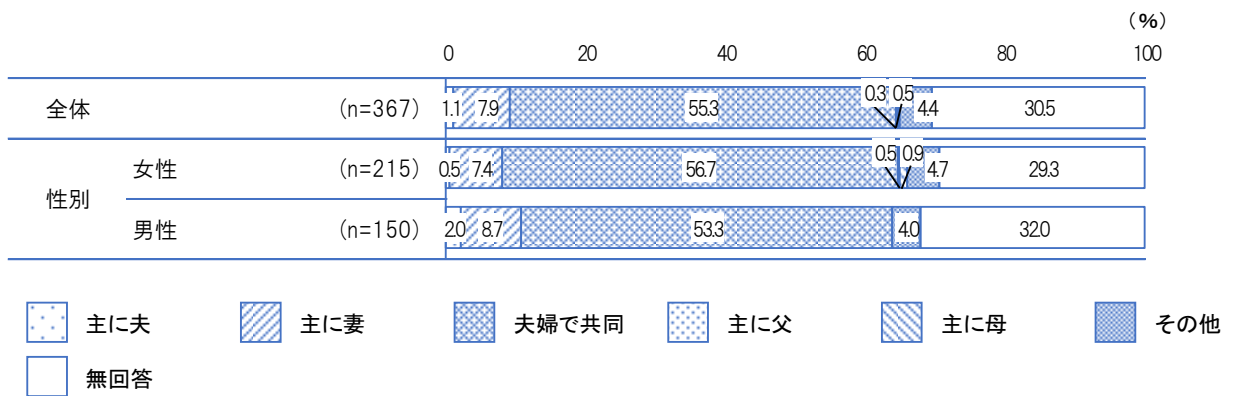
①【現状】



全体で見ると、「主に妻」が45.8%と最も高く、次いで「夫婦で共同」(15.0%)、「その他」(8.4%)となっています。

性別で見ると、「主に妻」では女性が49.8%、男性が40.0%と男性に比べ女性が9.8ポイント高く、「夫婦で共同」では女性が11.6%、男性が20.0%と女性に比べ男性が8.4ポイント高くなっています。

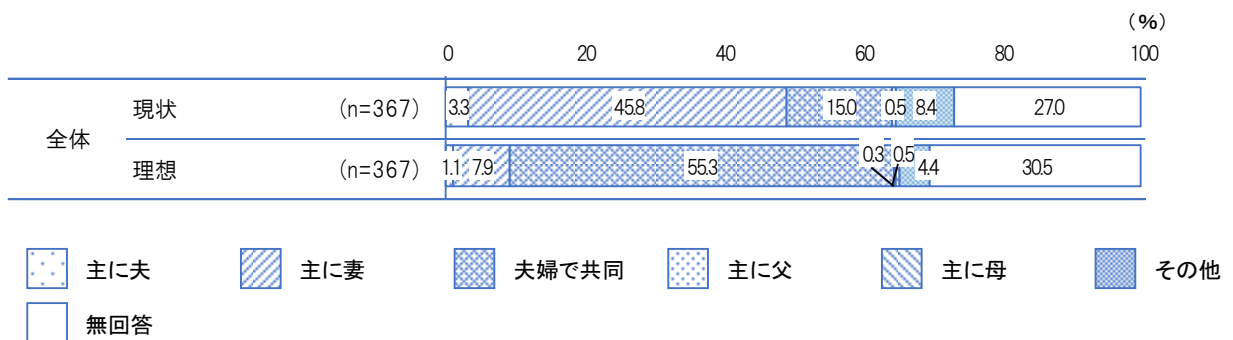
②【理想】



全体で見ると、「夫婦で共同」が55.3%と最も高く、次いで「主に妻」(7.9%)、「その他」(4.4%)となっています。

性別で見ると、すべての項目で性別による大きな差はみられません。

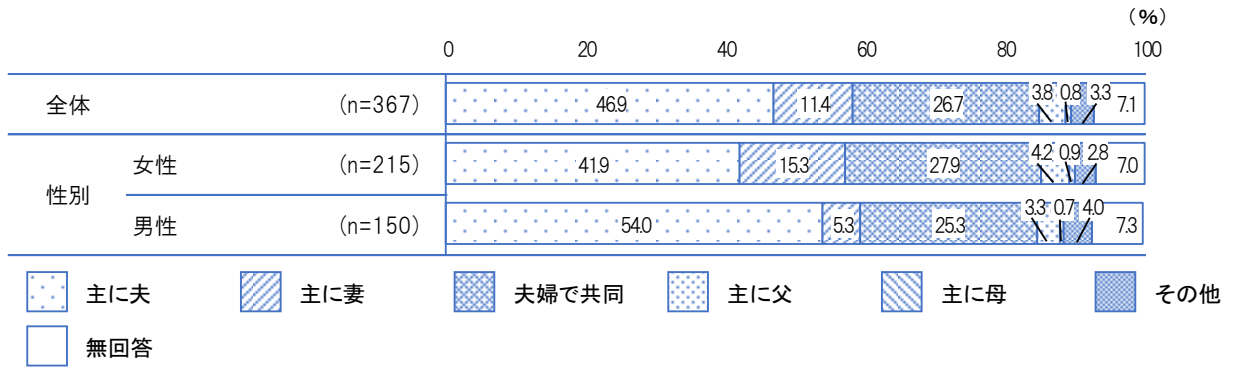
③【現状】と【理想】の比較



全体の【現状】と【理想】を比較すると、【理想】では「夫婦で共同」が55.3%と最も高くなっていますが、【現状】では「主に妻」が45.8%と最も高く、「夫婦で共同」は15.0%と【理想】とは40.3ポイントの差があります。

(9) 地域行事等の参加

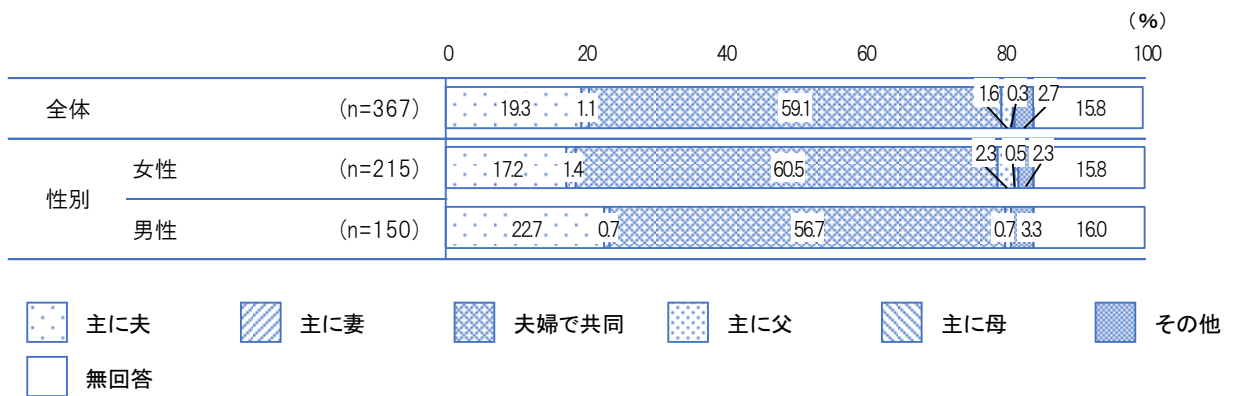
①【現状】



全体で見ると、「主に夫」が46.9%と最も高く、次いで「夫婦で共同」(26.7%)、「主に妻」(11.4%)となっています。

性別で見ると、「主に夫」では女性が41.9%、男性が54.0%と女性に比べ男性が12.1ポイント高く、「主に妻」では女性が15.3%、男性が5.3%と男性に比べ女性が10.0ポイント高くなっています。

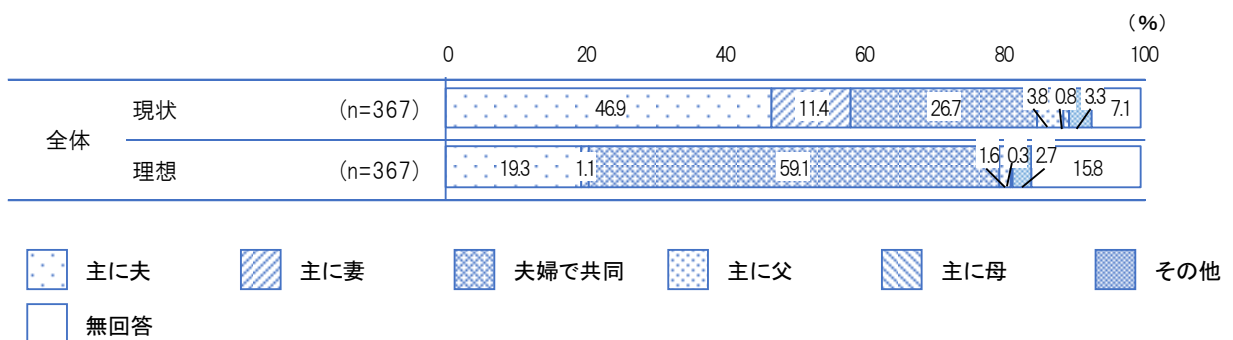
②【理想】



全体で見ると、「夫婦で共同」が59.1%と最も高く、次いで「主に夫」(19.3%)、「その他」(2.7%)となっています。

性別で見ると、「主に夫」では女性が17.2%、男性が22.7%と女性に比べ男性が5.5ポイント高くなっています。

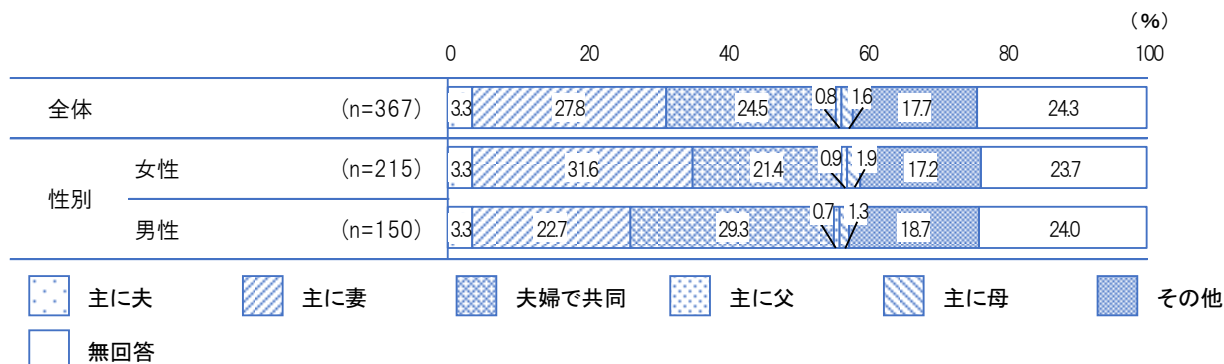
③【現状】と【理想】の比較



全体の【現状】と【理想】を比較すると、【理想】では「夫婦で共同」が59.1%と最も高くなっていますが、【現状】では「主に夫」が46.9%と最も高く、「夫婦で共同」は26.7%と【理想】とは32.4ポイントの差があります。

(10)高齢者の世話介護

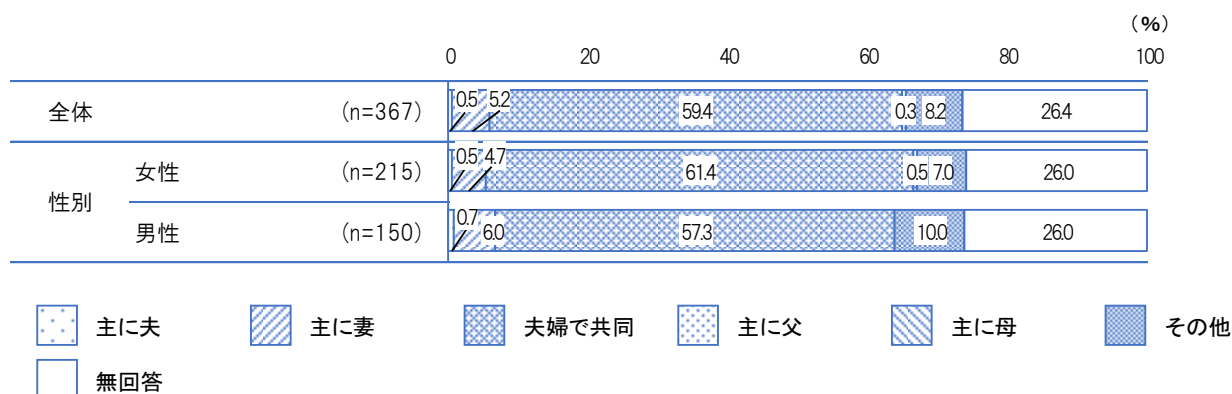
①【現状】



全体で見ると、「主に妻」が 27.8%と最も高く、次いで「夫婦で共同」(24.5%)、「その他」(17.7%)となっています。

性別で見ると、「主に妻」では女性が 31.6%、男性が 22.7%と男性に比べ女性が 8.9 ポイント高く、「夫婦で共同」では女性が 21.4%、男性が 29.3%と女性に比べ男性が 7.9 ポイント高くなっています。

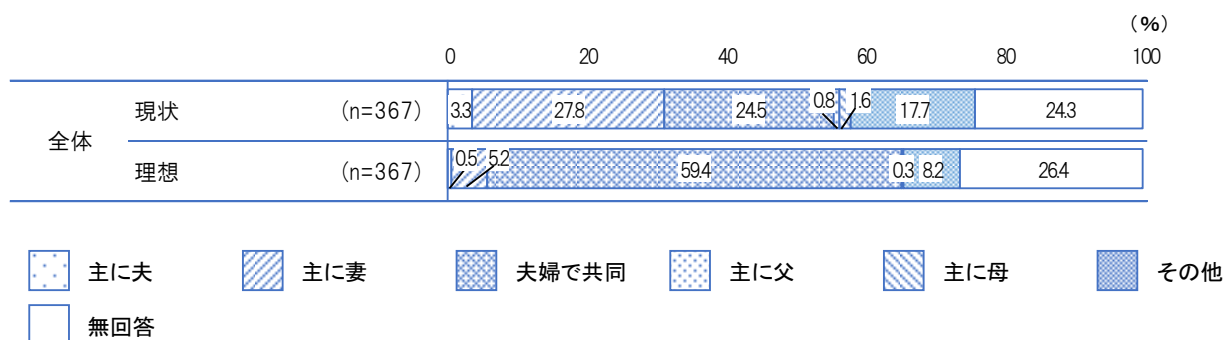
②【理想】



全体で見ると、「夫婦で共同」が 59.4%と最も高く、次いで「その他」(8.2%)、「主に妻」(5.2%)となっています。

性別で見ると、すべての項目で性別による大きな差はみられません。

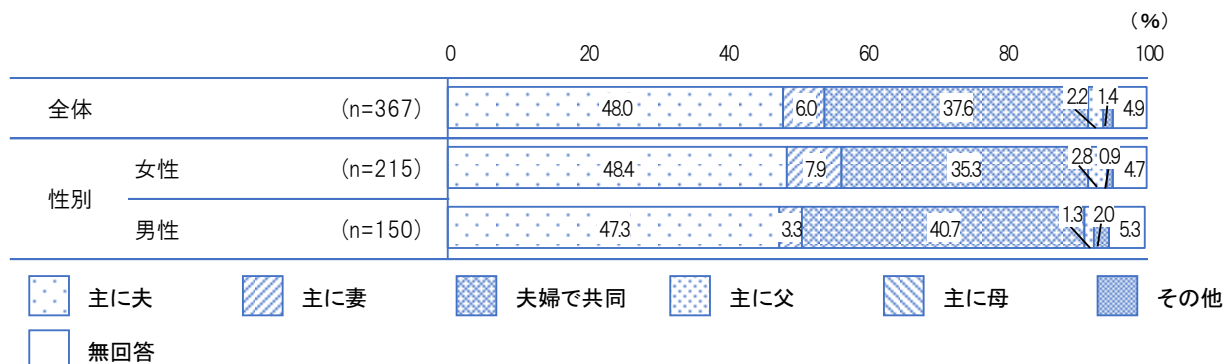
③【現状】と【理想】の比較



全体の【現状】と【理想】を比較すると、【理想】では「夫婦で共同」が 59.4%と最も高くなっていますが、【現状】では「主に妻」が 27.8%と最も高く、「夫婦で共同」は 24.5%と【理想】とは 34.9 ポイントの差があります。

(11) 家庭の問題における最終的な決定

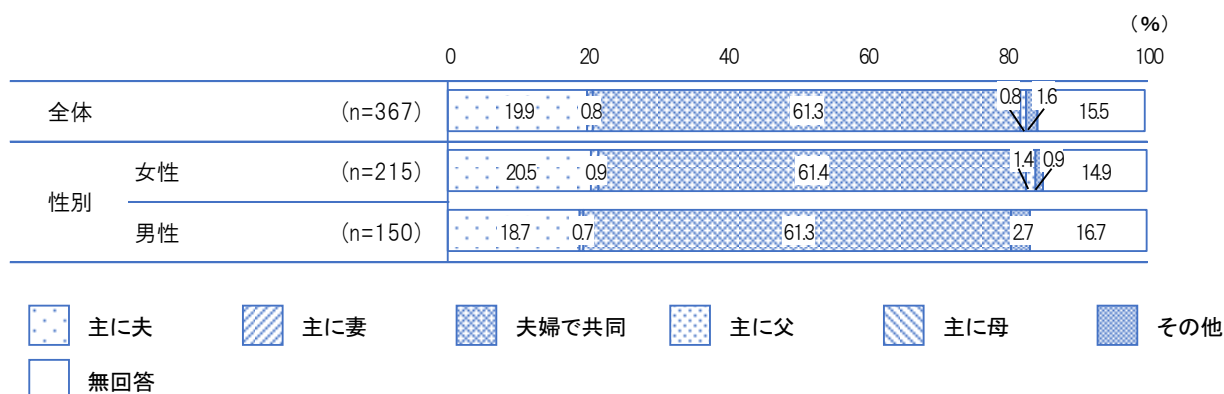
①【現状】



全体で見ると、「主に夫」が48.0%と最も高く、次いで「夫婦で共同」(37.6%)、「主に妻」(6.0%)となっています。

性別で見ると、「夫婦で共同」では女性が35.3%、男性が40.7%と女性に比べ男性が5.4ポイント高くなっています。

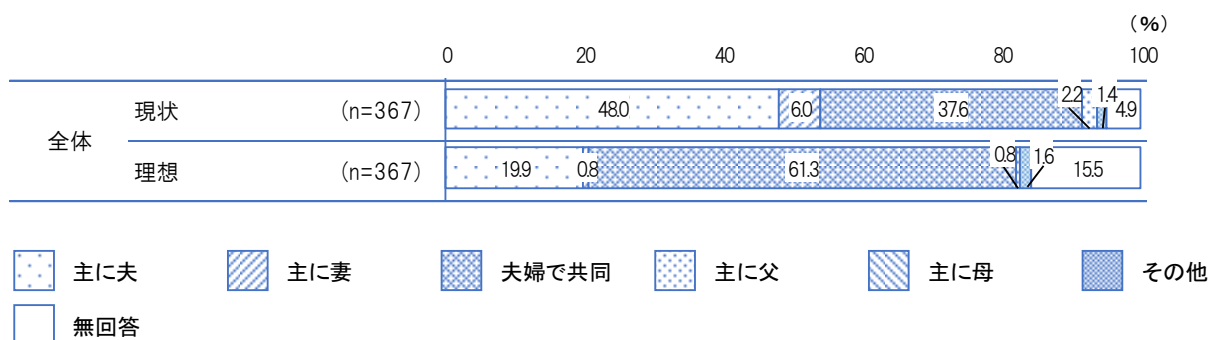
②【理想】



全体で見ると、「夫婦で共同」が61.3%と最も高く、次いで「主に夫」(19.9%)、「その他」(1.6%)となっています。

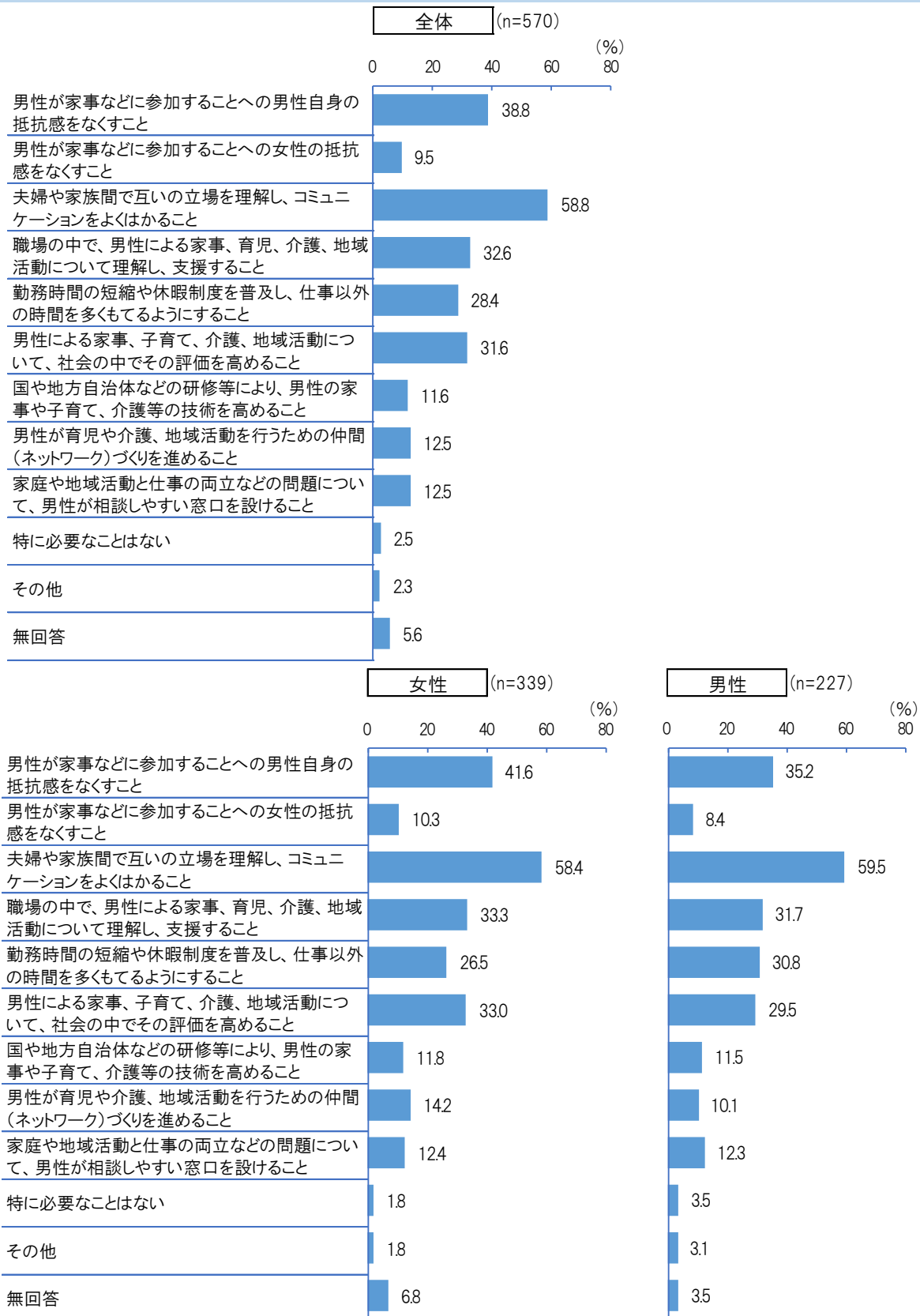
性別で見ると、すべての項目で性別による大きな差はみられません。

③【現状】と【理想】の比較



全体の【現状】と【理想】を比較すると、【理想】では「夫婦で共同」が61.3%と最も高くなっていますが、【現状】では「主に夫」が48.0%と最も高く、「夫婦で共同」は37.6%と【理想】とは23.7ポイントの差があります。

問10 今後、男性が女性とともに家庭生活(家事、育児、介護)や地域活動へ参加をしていくために必要なことは何だと思いませんか。



全体で見ると、「夫婦や家族間で互いの立場を理解し、コミュニケーションをよくはかること」が58.8%と最も高く、次いで「男性が家事などに参加することへの男性自身の抵抗感をなくすこと」(38.8%)、「職場の中で、男性による家事、育児、介護、地域活動について理解し、支援すること」(32.6%)となっています。

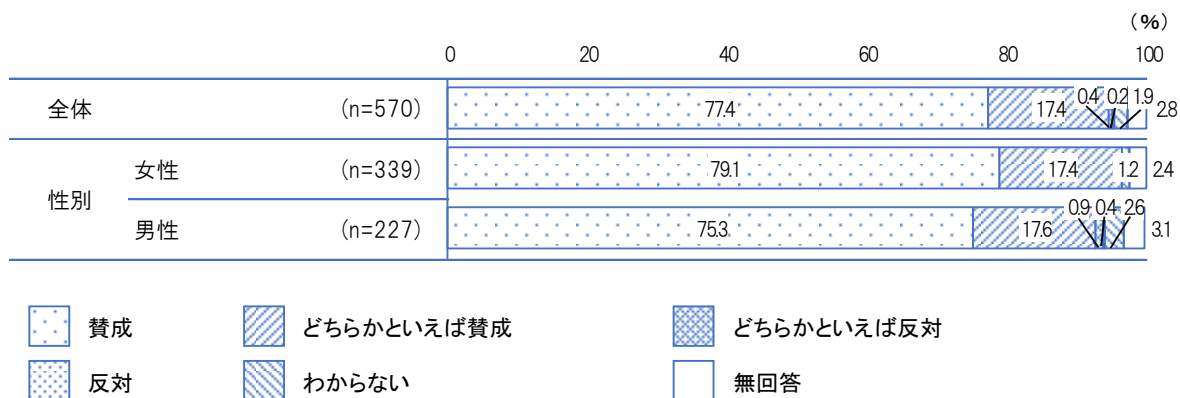
性別で見ると、「男性が家事などに参加することへの男性自身の抵抗感をなくすこと」では女性が41.6%、男性が35.2%と男性に比べ女性が6.4ポイント高くなっています。

■その他意見

地域・職場の考え方の改。
男性が参加する事が当然という社会通念、他人への思いやり。
女性が家事、育児などで自分のやり方を男性におしつけない。また、男性がそうできない事をせめない。
男の子を育てる段階での教育が必要。
専業主夫に補助金を出し専業主婦との比率を同じにすること。
小さい頃から家事育児介護は男女共にするのが当たり前という意識を持たせるような教育をする事。
女性の妊娠、出産に対しての制度や支援の改善。子育て育児へも。
男性が「参加する」という言い方をやめること。
自治体の行事が豊後大野市は多すぎる。昔の考えが現在まで改善されてない。公園の草刈年4回・神社の清掃年2回・班の宴会だ・馬鹿げている若い人はとてもいやだ! 草刈なんて、人の土地の草刈になんで年間12000円も払わなくてはいけないのか、馬鹿げている。葬儀があるときは通夜と葬儀2日仕事に行けなくなる。昔の風習はやめてほしい。豊後大野市は、いかげん昔の風習を見直せ!税金だけでも大変なのにおかしすぎる。自治体の管理をしないとイケないと思います。
「誰がする」ではなく「その時できる人がする」が良いと思います。もちろん片方だけがするのはおかしいと思うので、そこは個々の家庭で話すべきだと思います。
女性全員が諸々に対応したいかが問題と考えます。

問11 子どものしつけや教育について、次の①～④ではどのような考え方をお持ちですか。

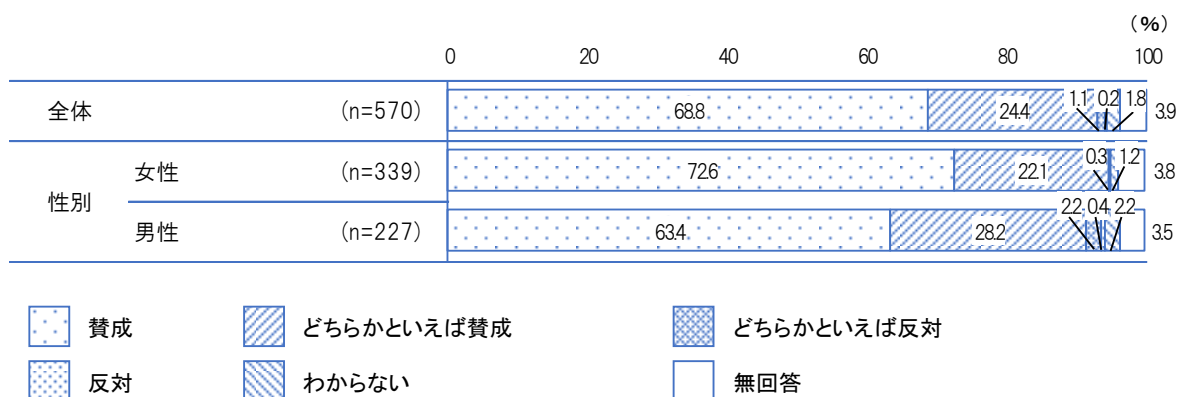
①性別に関係なく経済的に自立できるように育てる方がよい



全体で見ると、『賛成』(「賛成」と「どちらかといえば賛成」を合わせた割合)が94.8%、『反対』(「反対」と「どちらかといえば反対」を合わせた割合)が0.6%となっています。

性別で見ると、すべての項目で性別による大きな差はみられません。

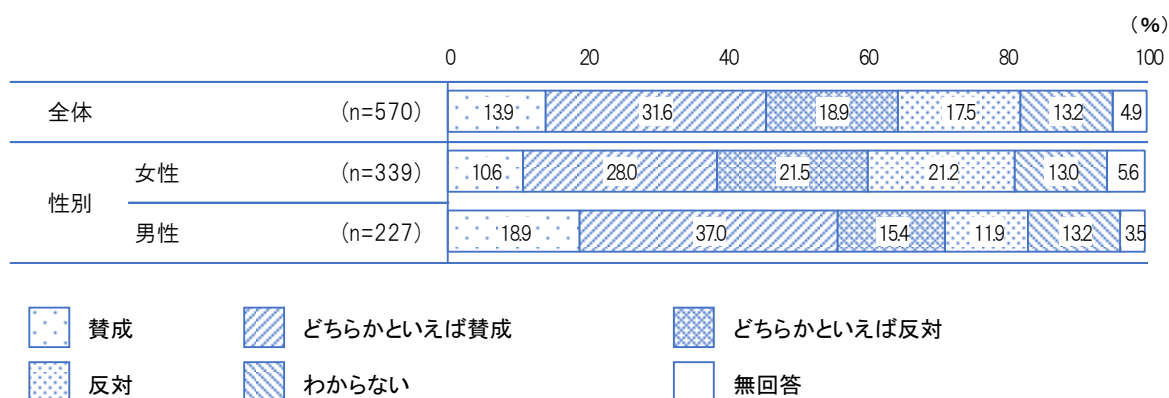
②性別に関係なく炊事・掃除・洗濯など、家庭に必要な技術を身につけさせる方がよい



全体で見ると、『賛成』(「賛成」と「どちらかといえば賛成」を合わせた割合)が93.2%、『反対』(「反対」と「どちらかといえば反対」を合わせた割合)が1.3%となっています。

性別で見ると、すべての項目で性別による大きな差はみられません。

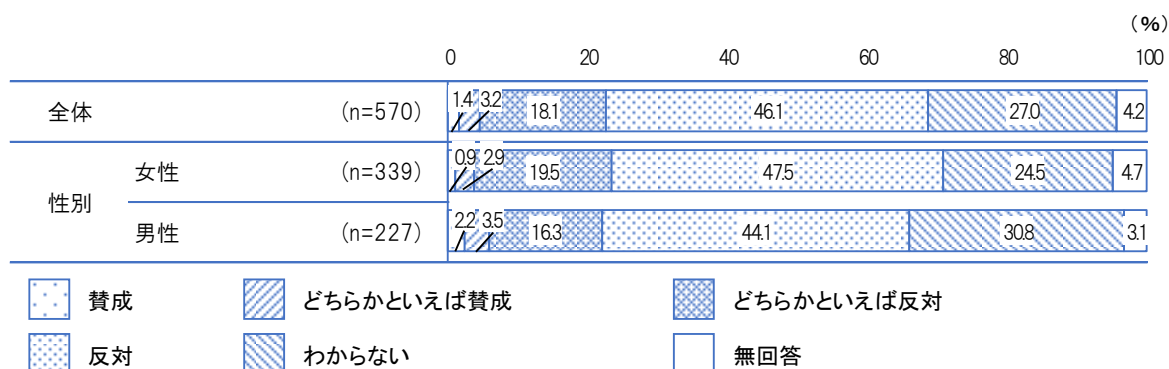
③女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく育てる方がよい



全体で見ると、『賛成』(「賛成」と「どちらかといえば賛成」を合わせた割合)が 45.5%、『反対』(「反対」と「どちらかといえば反対」を合わせた割合)が 36.4%となっています。

性別で見ると、『賛成』では女性が 38.6%、男性が 55.9%と女性に比べ男性が 17.3 ポイント高くなっています。

④男の子は理科系、女の子は文化系に進んだ方がよい

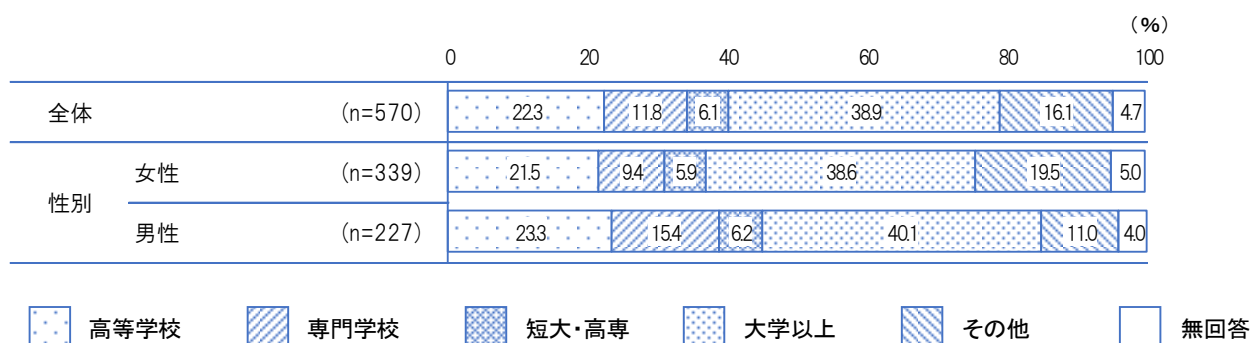


全体で見ると、『賛成』(「賛成」と「どちらかといえば賛成」を合わせた割合)が 4.6%、『反対』(「反対」と「どちらかといえば反対」を合わせた割合)が 64.2%となっています。

性別で見ると、『反対』では、女性が 67.0%、が男性 60.4%と男性に比べ女性が 6.6 ポイント高く、「わからない」では女性が 24.5%、男性が 30.8%と女性に比べ男性が 6.3 ポイント高くなっています。

問12 あなたは子どもの学歴は、次の①と②についてどこまで必要だと思いますか。

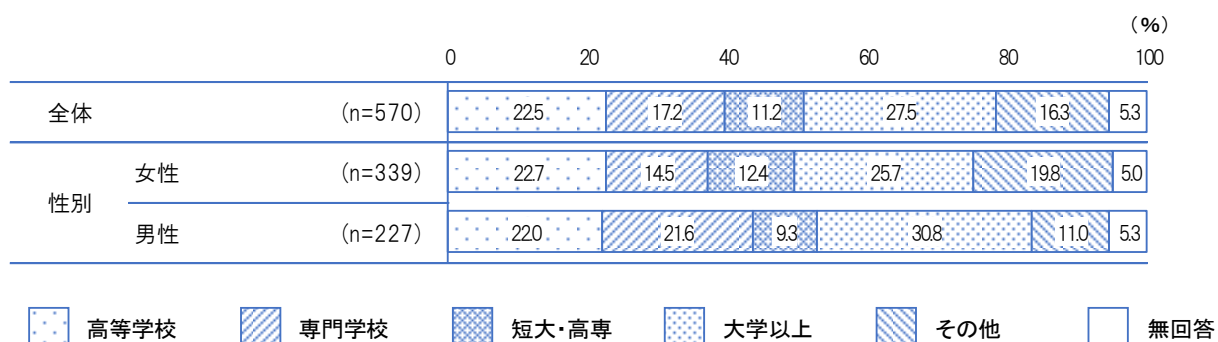
①男の子ども



全体でみると、「大学以上」が38.9%と最も高く、次いで「高等学校」(22.3%)、「その他」(16.1%)となっています。

性別でみると、「専門学校」では女性が9.4%、男性が15.4%と女性に比べ男性が6.0ポイント高く、「その他」では女性が19.5%、男性が11.0%と男性に比べ女性が8.5ポイント高くなっています。

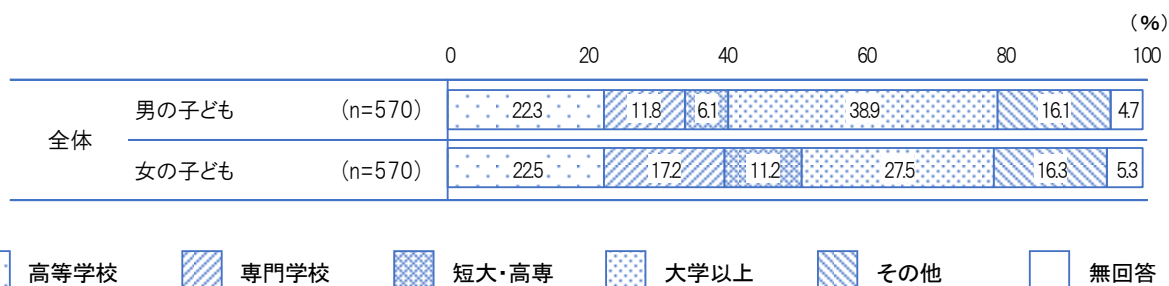
②女の子ども



全体でみると、「大学以上」が27.5%と最も高く、次いで「高等学校」(22.5%)、「専門学校」(17.2%)となっています。

性別でみると、「専門学校」では女性が14.5%、男性が21.6%と女性に比べ男性が7.1ポイント高く、「その他」では女性が19.8%、男性が11.0%と男性に比べ女性が8.8ポイント高くなっています。

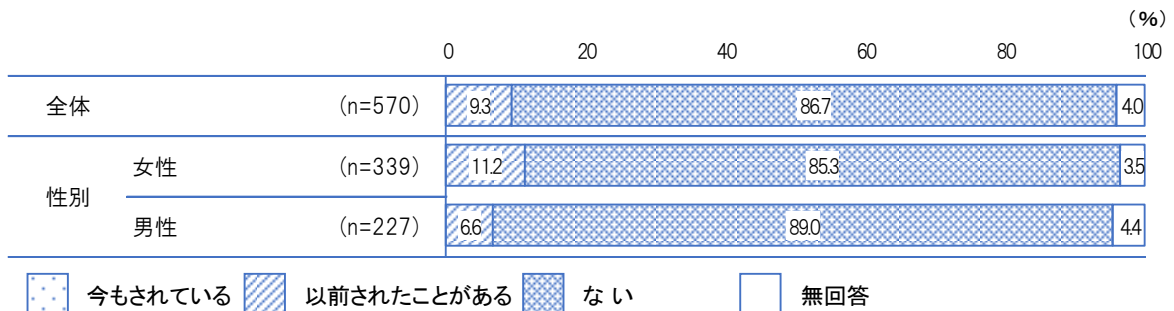
■男児と女児での比較



男女の子ども別でみると、「専門学校」「短大・高専」では男の子どもに比べ女の子どもが5ポイント以上高く、「大学以上」では女の子どもに比べ男の子どもが11.4ポイント高くなっています。

問13 あなたは、これまでに配偶者や恋人など親しい関係にある人との間で、次の①～⑤のようなことを受けたことがありますか。

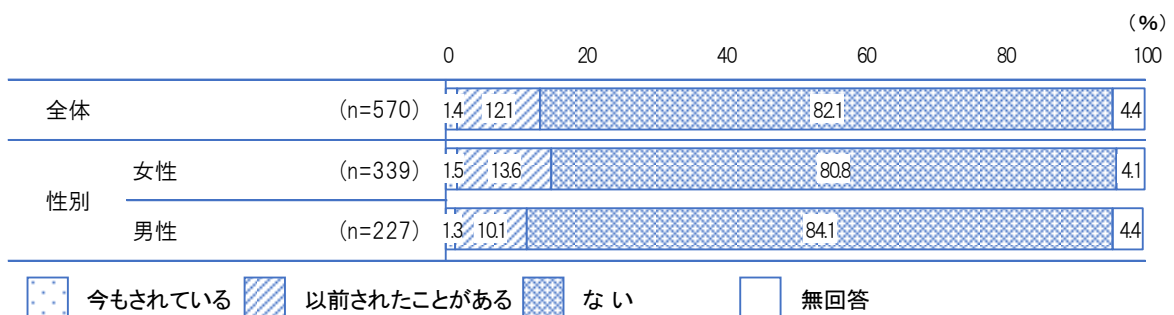
①身体的暴力



全体でみると、「ない」が86.7%と最も高く、次いで『されたことがある』(「今もされている」と「以前されたことがある」を合わせた割合)(9.3%)となっています。

性別でみると、すべての項目で性別による大きな差はみられません。

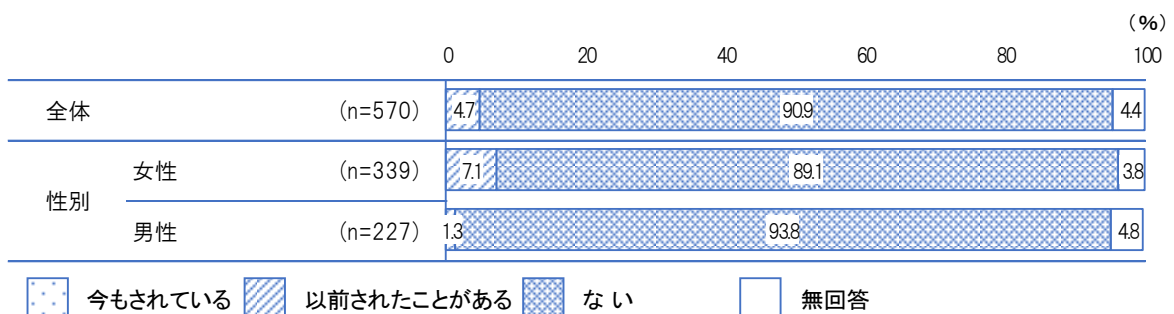
②精神的暴力



全体でみると、「ない」が82.1%と最も高く、次いで『されたことがある』(「今もされている」と「以前されたことがある」を合わせた割合)(13.5%)となっています。

性別でみると、すべての項目で性別による大きな差はみられません。

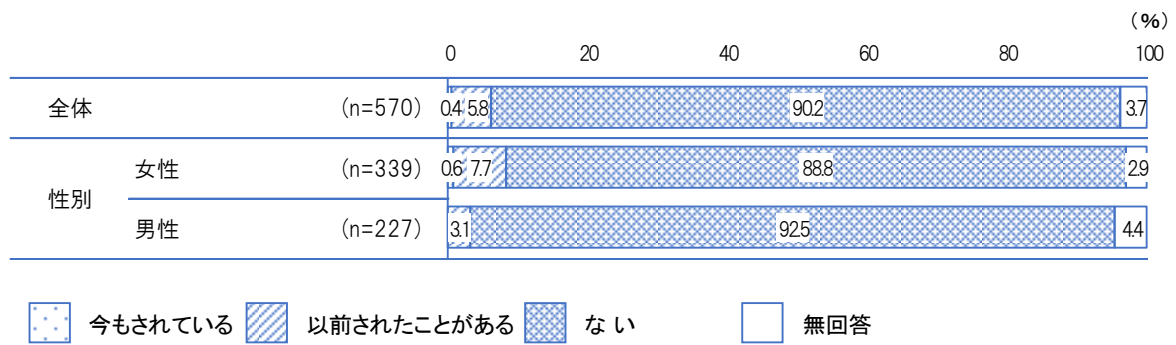
③性的暴力



全体でみると、「ない」が90.9%と最も高く、次いで『されたことがある』(「今もされている」と「以前されたことがある」を合わせた割合)(4.7%)となっています。

性別でみると、『されたことがある』では女性が7.1%、男性が1.3%と男性に比べ女性が5.8ポイント高くなっています。

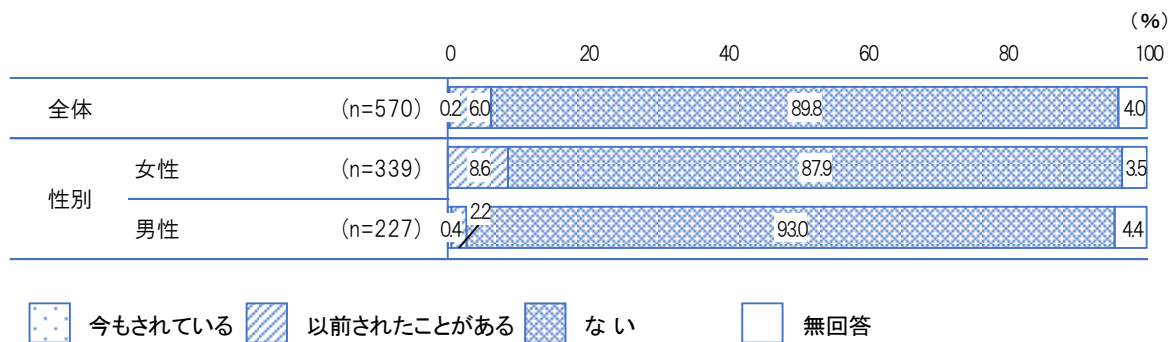
④経済的暴力



全体で見ると、「ない」が90.2%と最も高く、次いで『されたことがある』（「現在もされている」と「以前されたことがある」を合わせた割合）(6.2%)となっています。

性別で見ると、『されたことがある』では女性が8.3%、男性が3.1%と男性に比べ女性が5.2ポイント高くなっています。

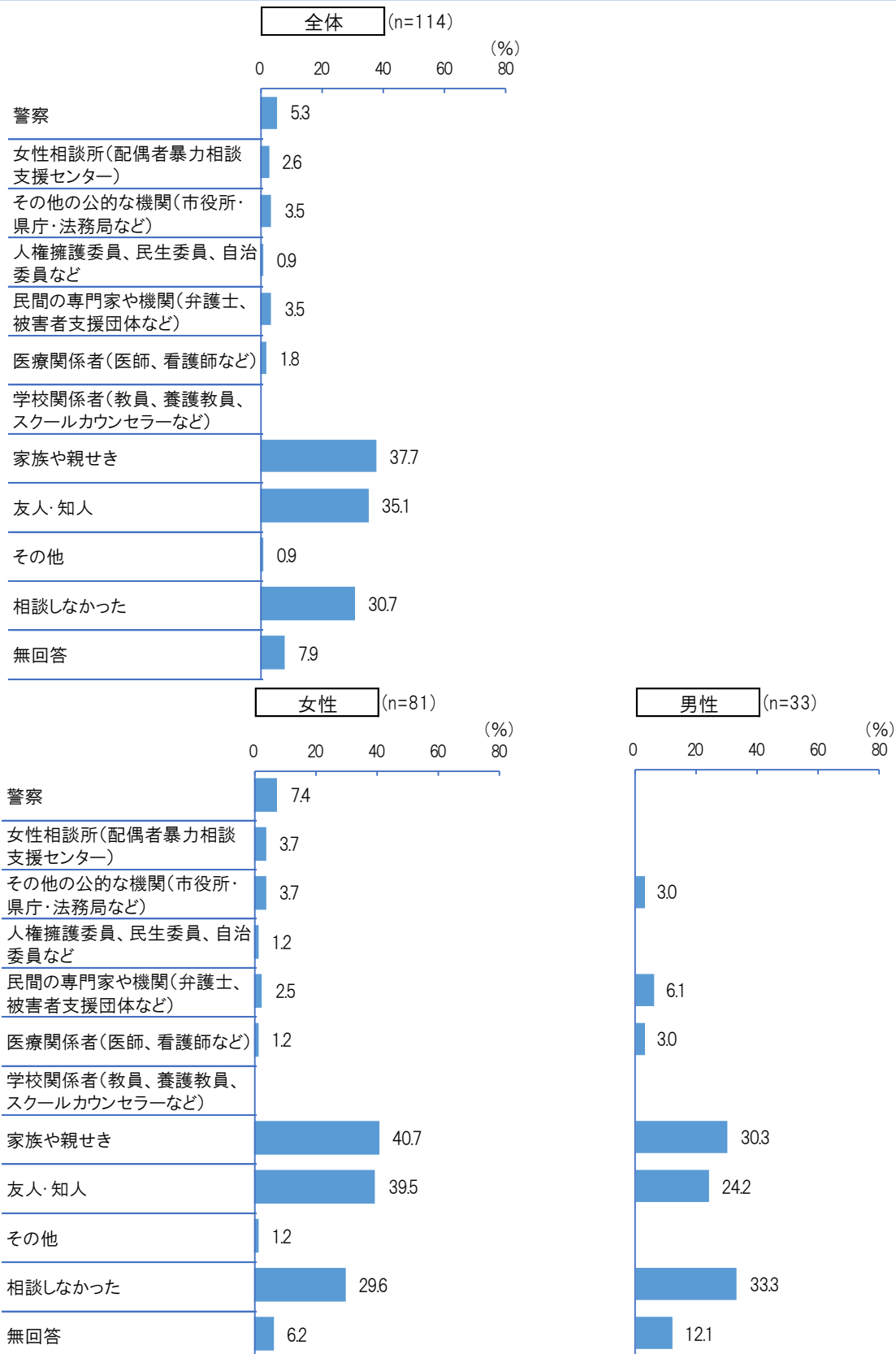
⑤社会的暴力



全体で見ると、「ない」が89.8%と最も高く、次いで『されたことがある』（「現在もされている」と「以前されたことがある」を合わせた割合）(6.2%)となっています。

性別で見ると、『されたことがある』では女性が8.6%、男性が2.6%と男性に比べ女性が6.0ポイント高くなっています。

問14 【問13で1つでも「受けたことがある」と答えた方におうかがいします。(問13で「1」～「2」を選んだ方)】誰かに打ち明けたり相談したりしましたか。



全体でみると、「家族や親せき」が37.7%と最も高く、次いで「友人・知人」(35.1%)、「相談しなかった」(30.7%)となっています。

性別でみると、「警察」では女性が7.4%、男性が0.0%と男性に比べ女性が7.4ポイント高く、「家族や親せき」では女性が40.7%、男性が30.3%と男性に比べ女性が10.4ポイント高く、「友人・知人」では女性が39.5%、男性が24.2%と男性に比べ女性が15.3ポイント高くなっています。

■ その他相談相手

仕事仲間。

■ 「相談しなかった」理由

自分の言葉で言い返す(解決しなくてもそうすれば自分の中で納得するので)。

人に相談すること自体がストレスになるので。

それがDVだと気付いていなかったから。

自分で解決した。

言えない。

誰かに相談するという考えはない。

自分で何とか避けた。別れた。

自分に収入があるので困らなかった。

相手の成長を信じており、見守りたかった。

少々の事は何とも思わぬように、心かけて生きてきました。

子どもの頃から耐えることを覚えた。

相談できる場所が分らなかった。

離婚したので。

自分で何とかできると思ったから。

できない状況にあった。

相談するほどのことではなかった。

それが原因で別れることができた為。

できないこともあった。

大きな問題にならなかった。

そんなにひどくなかったのだから。

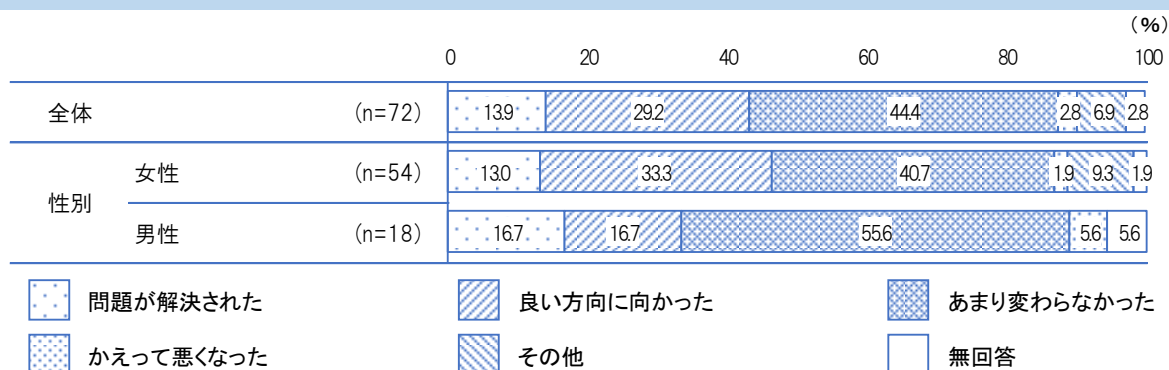
理由に対して理解ができていたから。

夫婦のことだったから。

すぐ解決したから。

話し合いで解決できた。

問15 【問14で「相談した」と答えた方におたずねします。(問14で「1」～「10」のどれかを選んだ方)】相談した結果、状況はどうになりましたか。



全体で見ると、「あまり変わらなかった」が44.4%と最も高く、次いで「良い方向に向かった」(29.2%)、「問題が解決された」(13.9%)となっています。

性別で見ると、「良い方向に向かった」では女性が33.3%、男性が16.7%と男性に比べ女性が16.6ポイント高く、「あまり変わらなかった」では女性が40.7%、男性が55.6%と女性に比べ男性が14.9ポイント高くなっています。

■ その他意見

自分自身の気持ちがすっきりした。

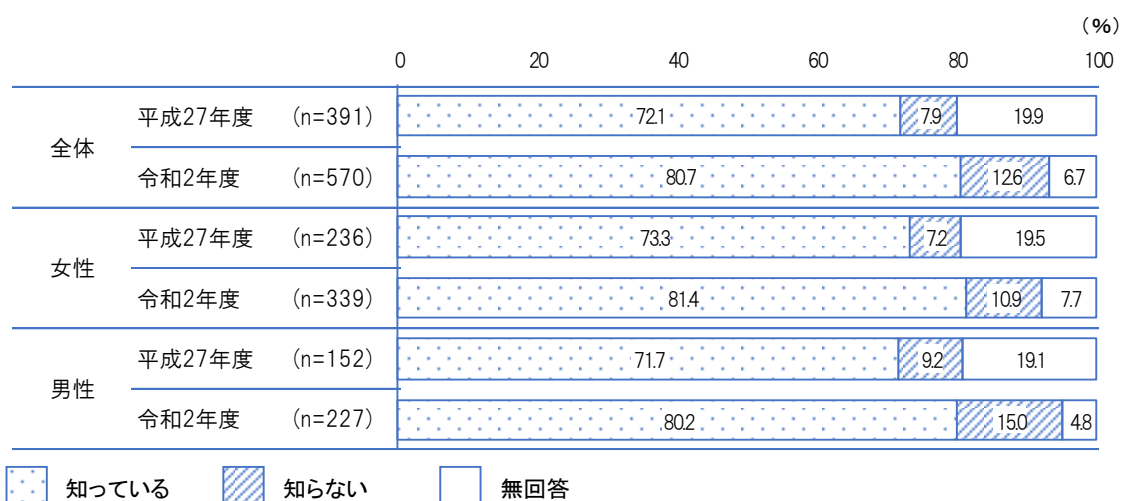
場面で異なった。

解決されたのと大人になって(なくなってから)話したのがある。

友人に話す事で自分がスッキリした。自分を取り合わないスタンスをとった。

問16 あなたは次の①～③にあげることがらについて知っていますか。

①DV防止法(配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律)が施行され、夫婦間の暴力は犯罪であると認識されていること



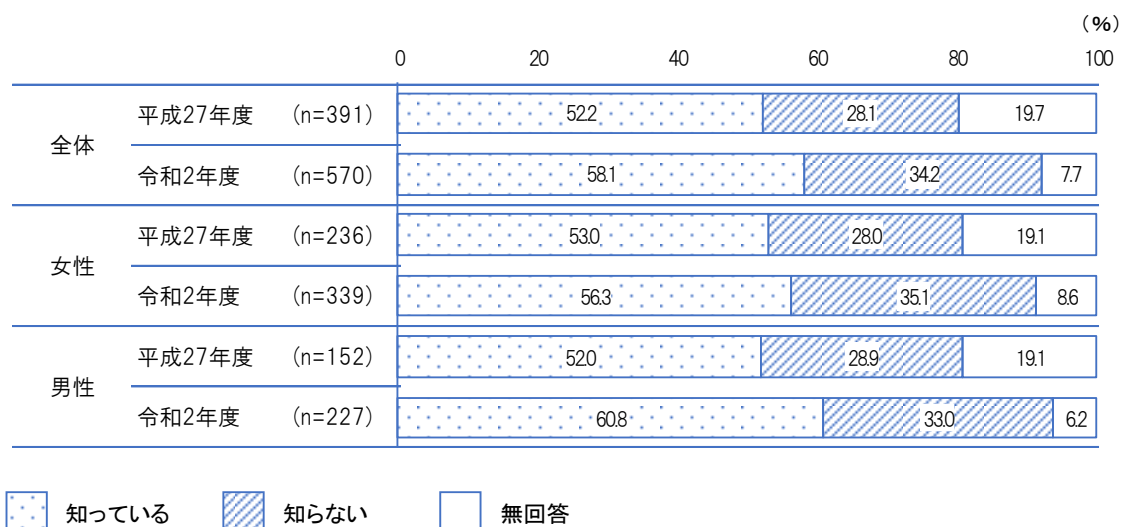
全体で見ると、「知っている」が80.7%、「知らない」が12.6%となっています。

性別で見ると、すべての項目で性別による大きな差はみられません。

前期調査と全体で比較すると、「知っている」が8.6ポイント増加しています。

性別で比較すると、女性では「知っている」が8.1ポイント、男性では「知っている」が8.5ポイント、「知らない」が5.8ポイント増加しています。

②被害者が地方裁判所に申請すれば「接近禁止命令」(加害者が6ヶ月間、被害者の付近を徘徊することを禁止する命令)や、「退去命令」(加害者に対し、2ヶ月間住居から出て行く命令を出す)などの「保護命令」を出すこと



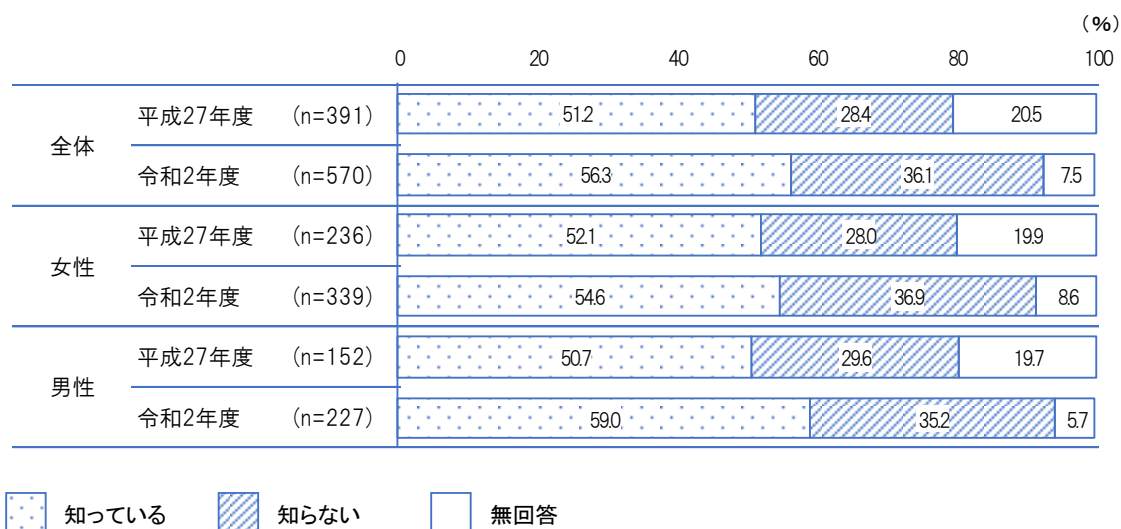
全体で見ると、「知っている」が58.1%、「知らない」が34.2%となっています。

性別で見ると、すべての項目で性別による大きな差はみられません。

前期調査と全体で比較すると、「知っている」が5.9ポイント、「知らない」が6.1ポイント増加しています。

性別で比較すると、女性では「知らない」が7.1ポイント、男性では「知っている」が8.8ポイント増加しています。

③配偶者から暴力を受けている者を発見した人が、配偶者暴力相談支援センターや警察官に通報できること



全体で見ると、「知っている」が56.3%、「知らない」が36.1%となっています。

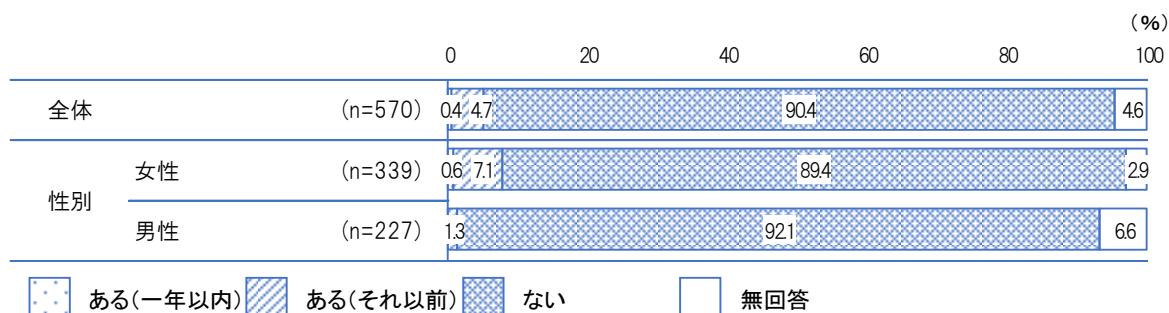
性別で見ると、すべての項目で性別による大きな差はみられません。

前期調査と全体で比較すると、「知っている」が5.1ポイント、「知らない」が7.7ポイント増加しています。

性別で比較すると、女性では「知らない」が8.9ポイント、男性では「知っている」が8.3ポイント、「知らない」が5.6ポイント増加しています。

問17 あなたは、次の①～③のような行為を受けたことがありますか。

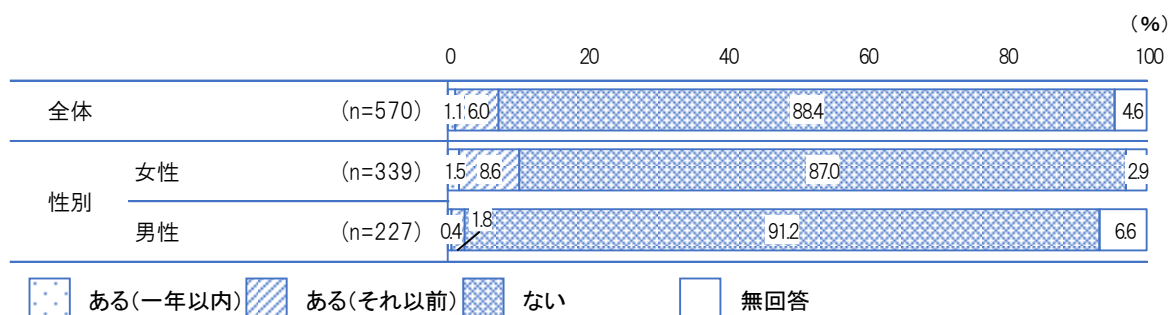
①ストーカー



全体で見ると、『ある』(「ある(一年以内)」と「ある(それ以前)」を合わせた割合)が 5.1%、「ない」が 90.4% となっています。

性別で見ると、『ある』では女性が 7.7%、男性が 1.3%と男性に比べ女性が 6.4 ポイント高くなっています。

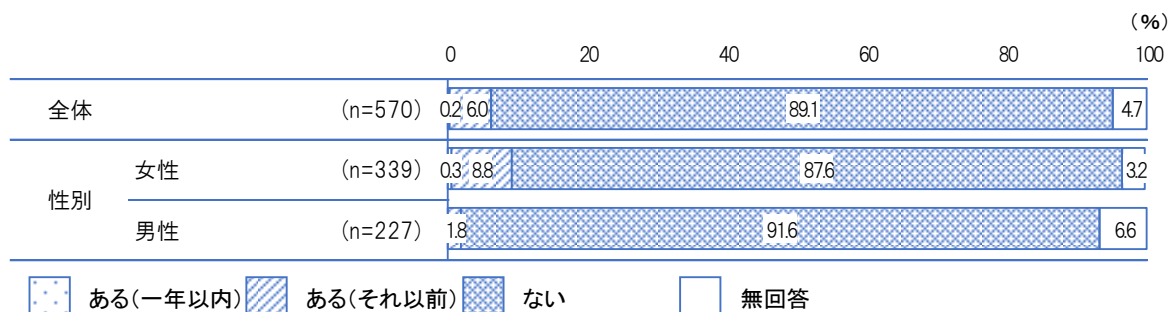
②セクシュアルハラスメント



全体で見ると、『ある』(「ある(一年以内)」と「ある(それ以前)」を合わせた割合)が 7.1%、「ない」が 88.4% となっています。

性別で見ると、『ある』では女性が 10.1%、男性が 2.2%と男性に比べ女性が 7.9 ポイント高くなっています。

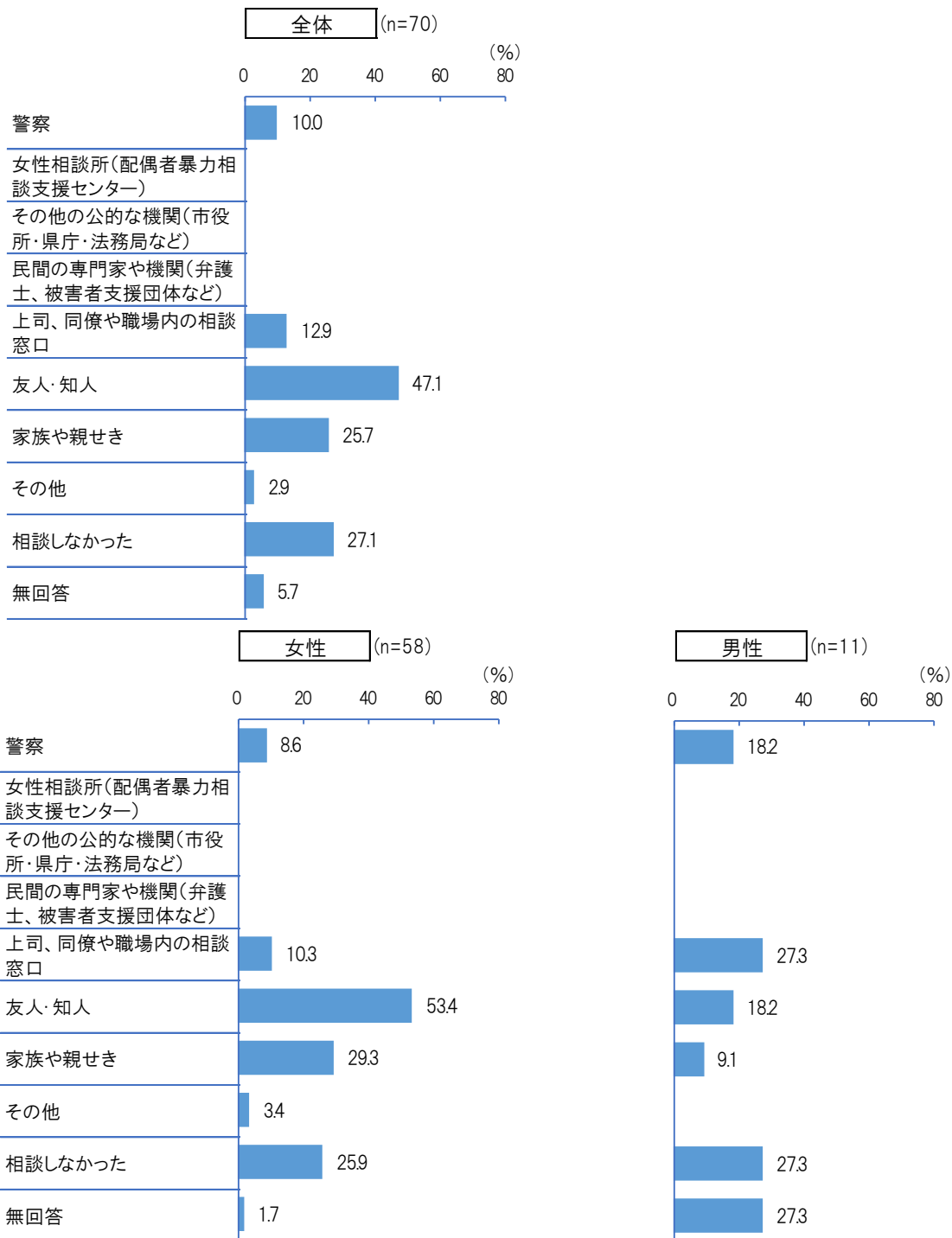
③性的被害



全体で見ると、『ある』(「ある(一年以内)」と「ある(それ以前)」を合わせた割合)が 6.2%、「ない」が 89.1% となっています。

性別で見ると、『ある』では女性が 9.1%、男性が 1.8%と男性に比べ女性が 7.3 ポイント高くなっています。

問18 【問17で1つでも「受けたことがある」と答えた方におうかがいします。(問17で「1」～「2」を選んだ方)】誰かに打ち明けたり相談したりしましたか。



全体で見ると、「友人・知人」が47.1%と最も高く、次いで「相談しなかった」(27.1%)、「家族や親せき」(25.7%)となっています。

性別で見ると、「警察」では女性が8.6%、男性が18.2%と女性に比べ男性が9.6ポイント高く、「友人・知人」では女性が53.4%、男性が18.2%と男性に比べ女性が35.2ポイント高く、「家族や親せき」では女性が29.3%、男性が9.1%と男性に比べ女性が20.2ポイント高くなっています。

■ その他相談相手

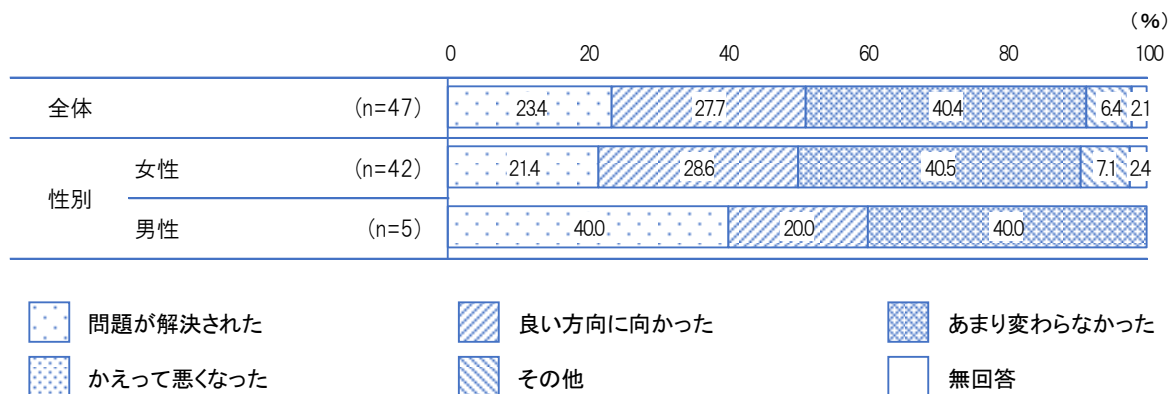
医師
学校の先生

■ 「相談しなかった」理由

かわいそうな人と思ったから。
しても変わらないと思ったから。
満員電車の中だったが、旅行先だったため。普段はないから。
三問とも悩む過ぎるほどのことでなかったの。
その当時の社会ではあたり前であった。
他人が信じてくれると思わなかった。
大した問題と思わなかった。
当時子供でよくわかってなかった。
年代、土地柄によるものだと思うから。
冗談と受け流しし、とりあわなかった。
たいした事ではないと思ったから(言ってもしょうがないと思った)。
軽微なことで相談する程のことでもなかった。

[SA]

問19 【問18で「相談した」と答えた方におたずねします。(問18で「1」～「8」のどれかを選んだ方)】
相談した結果、状況はどうになりましたか。



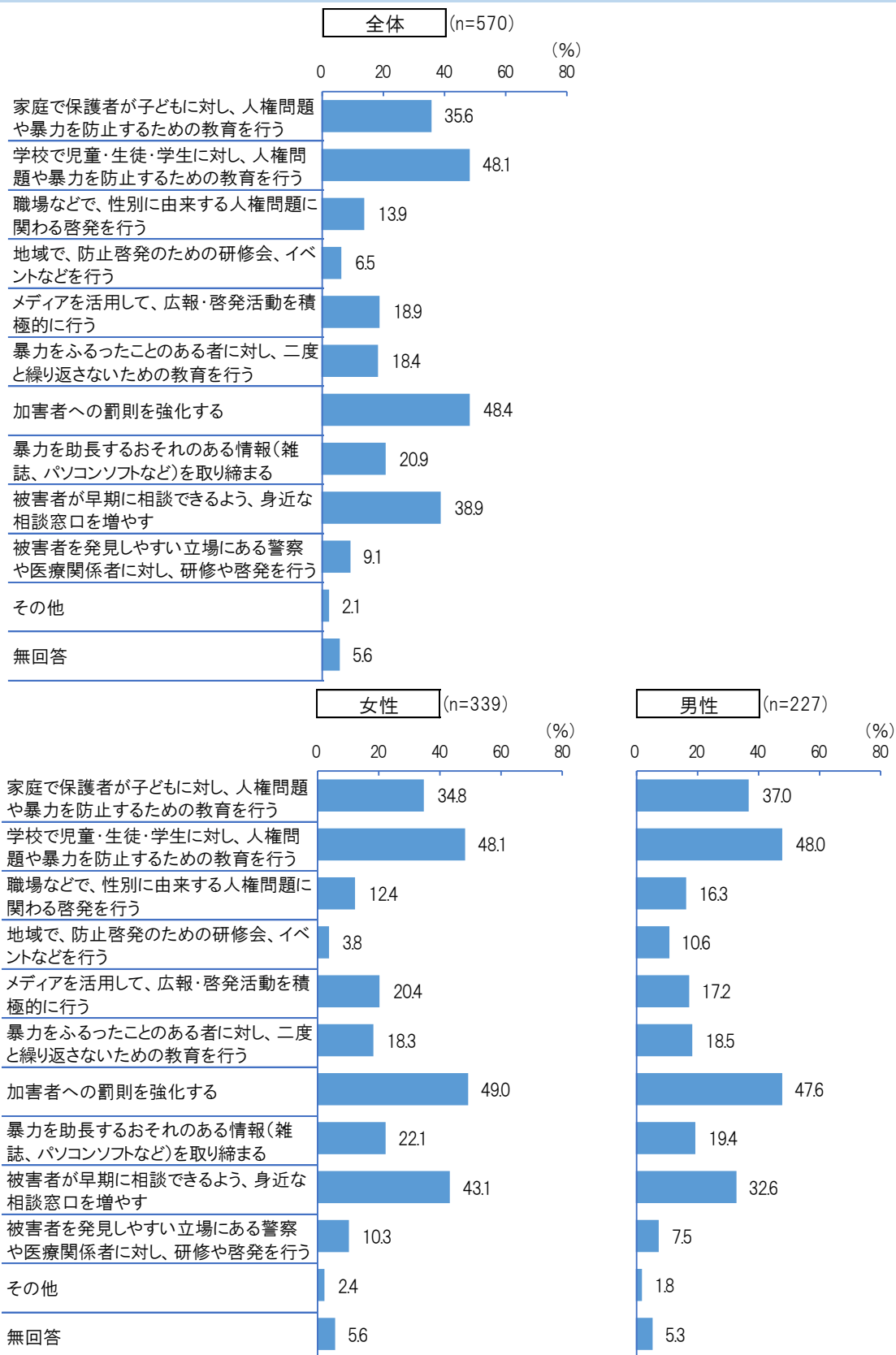
全体で見ると、「あまり変わらなかった」が40.4%と最も高く、次いで「良い方向に向かった」(27.7%)、「問題が解決された」(23.4%)となっています。

男性の母数が10名以下のため性別での比較は行いません。

■ その他意見

いずれも一回限りだった。
結局、時間が解決。
電話機を替えた。

問20 性犯罪、売買春(援助交際を含む)、ドメスティック・バイオレンス、セクシュアルハラスメント、
 ストーカー行為等の暴力をなくすためには、どうしたらよいと思いますか。



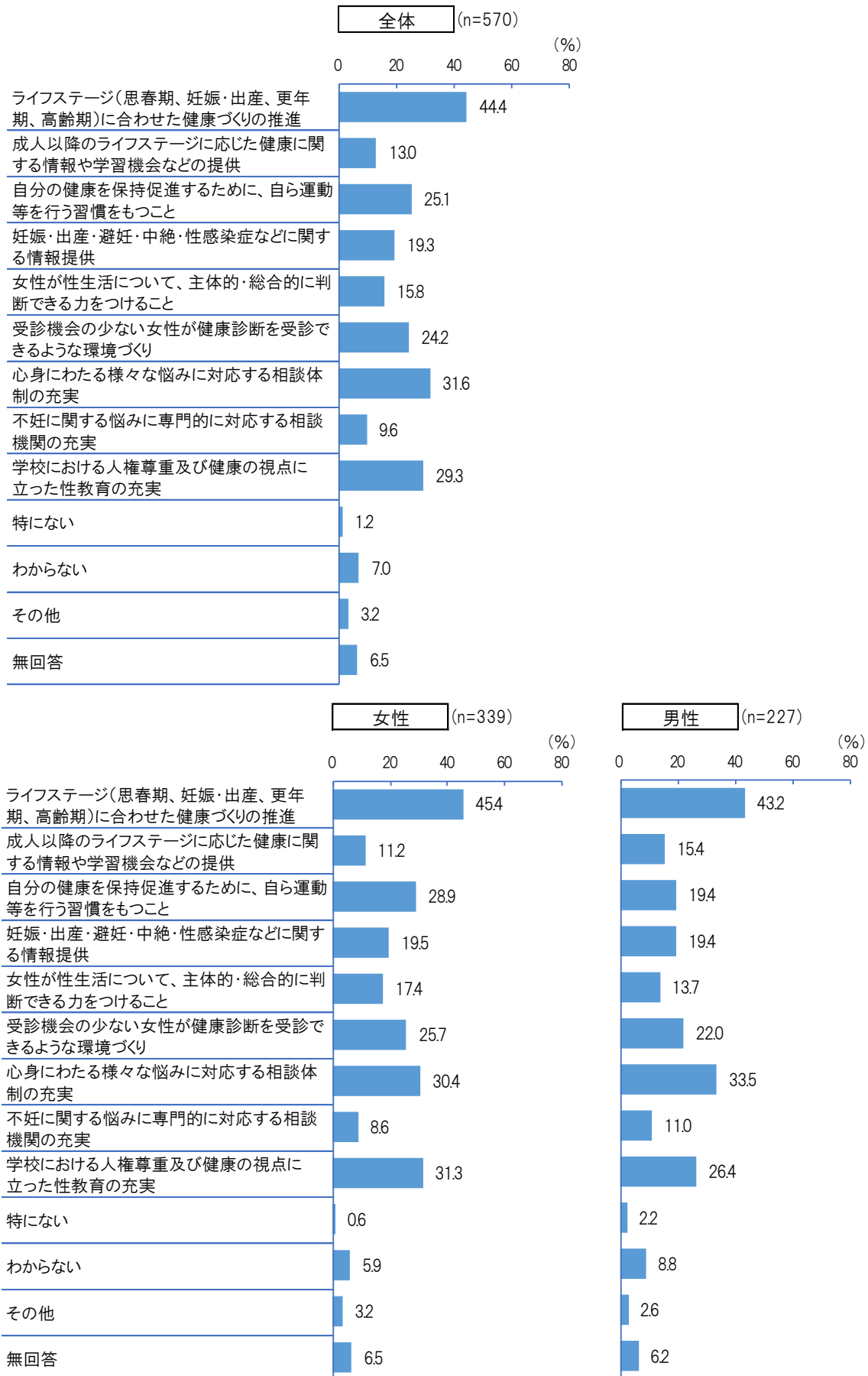
全体で見ると、「加害者への罰則を強化する」が48.4%と最も高く、次いで「学校で児童・生徒・学生に対し、人権問題や暴力を防止するための教育を行う」(48.1%)、「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす」(38.9%)となっています。

性別で見ると、「地域で、防止啓発のための研修会、イベントなどを行う」では女性が3.8%、男性が10.6%と女性に比べ男性が6.8ポイント高く、「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす」では女性が43.1%、男性が32.6%と女性に比べ男性が10.5ポイント高くなっています。

■その他意見

未成年のSNS規制。
子供の頃に暴力されたら親になったらすると聞くので、保護などされた子は追跡し、メンタルケアしていくのが良いと思う。
犯罪者を社会に出す条件を厳しくし、出た後も再犯を防げるようにある程度監視する。
なくならないと思う。どうしようもない。悲しいがまきこまれないよう願うばかり。
加害者が繰り返し行わないよう精神面を安定させられるようなフォローや何故行ってしまうのか原因を探っていくべきだと思う。
家庭で愛情を注いで育てる。
マスコミのイケメンが正義という放送をやめる。タモリの登場から真面目がダサいという風になった。ちよいワルがカッコイイとか放送するから犯罪が増える。
学校で性的な行為(避妊に協力しない等は暴力になること等)教育が必要。
ストレス発散方法や欲望の満たし方などを自分か第三者が用意する。それによって個人の感情のコントロールをうながす。
まず国のリーダーが人権を尊重した言動をすること①憲法に定められた人権を守った行政を行うのが一番先です。②憲法に保障された男女平等、一人一人の人材を守る社会の実現。
ストーカーされた時にげるエリアをつくる。
マスコミでそれらに関する根拠のない発言(容認、助長するようなもの)を取り上げない。

問21 妊娠・出産を担う女性は、男性とは異なった体や心の問題に直面することがありますが、女性が生涯にわたり心身共に健康であるために、どのようなことが大事だと思いますか。



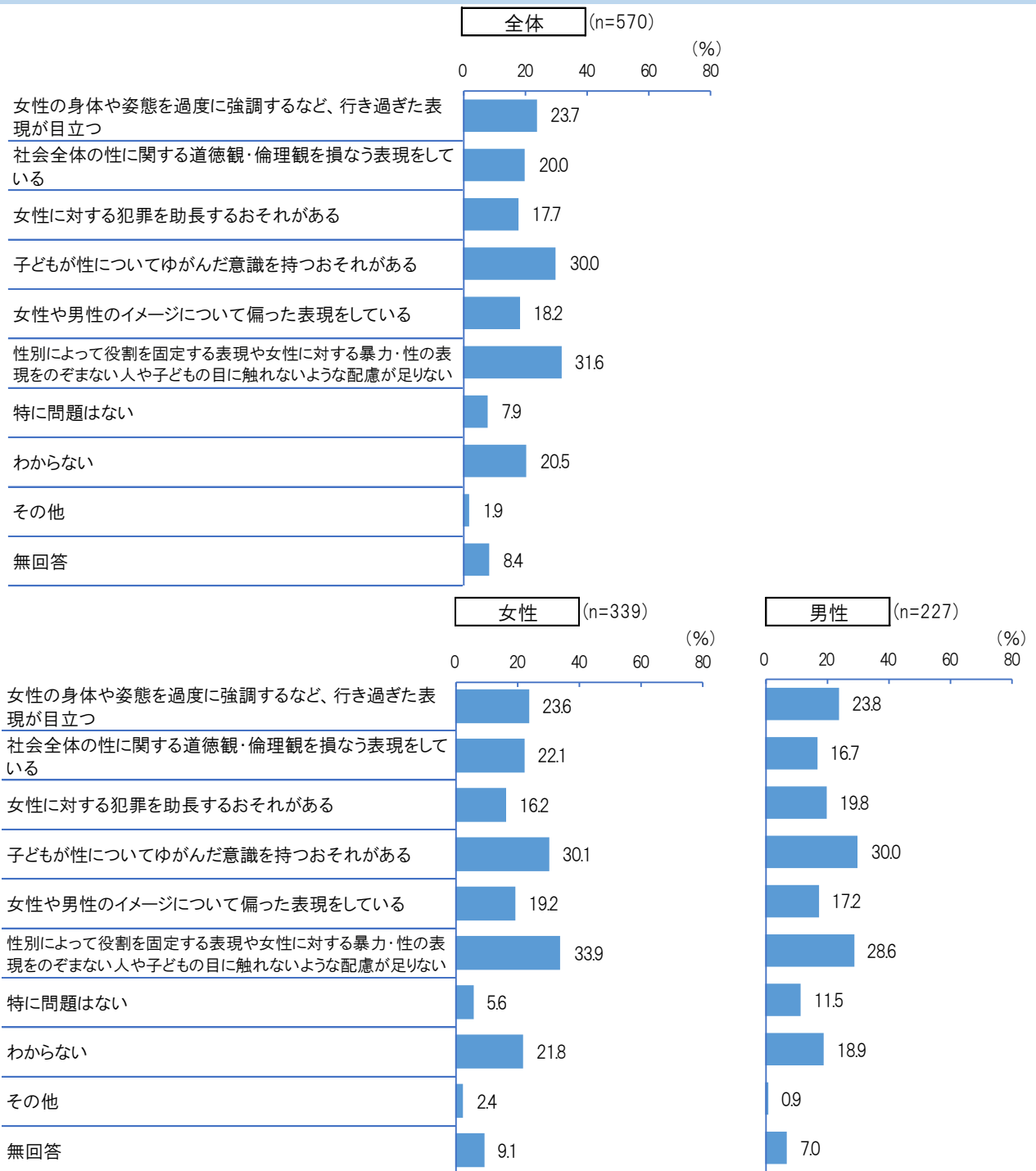
全体で見ると、「ライフステージ(思春期、妊娠・出産、更年期、高齢期)に合わせた健康づくりの推進」が44.4%と最も高く、次いで「心身にわたる様々な悩みに対応する相談体制の充実」(31.6%)、「学校における人権尊重及び健康の視点に立った性教育の充実」(29.3%)となっています。

性別で見ると、「自分の健康を保持促進するために、自ら運動等を行う習慣をもつこと」では女性が28.9%、男性が19.4%と男性に比べ女性が9.5ポイント高くなっています。

■その他意見

小、中、高校における性教育のカリキュラム化。
男性に、「女性を大切にしないといけない」という教育をする。
私は男性なので「異なった体や心の問題に直面」の具体的内容を知らないので回答しづらい。
年配の方の考えによって傷つく事があるので、それを少なくできたら良いと思います。
女性本人はもちろん男性もしっかり理解すること。またその様な場を充実させること。
誤った知識がメディアを通して伝わっている。
男性の理解。
自分を大切にできる子供に育てる。親の責任も感じる。あとは勉強し学ぶこと。
なるべく妊婦さんをゆっくりさせられるよう男が家事など一番にする。
自主的に学習できるネット環境や情報の充実。
自由な時間を持つこと。
女性の挑発的な態度(服装・言葉使い)が目立つ。(電車内)
自分の子供に代々伝えて行くための教養。
健康診断を毎年受診しておりそれが有り難い。
男性にも理解してもらえる様に、情報や勉強をしてみよう。
男女ともに正しい性教育を受けさせる。
自分自身を大切に思えるような体験の積み重ね。

問22 テレビ、新聞、雑誌、インターネットなどメディアでの固定的な性別役割分担の表現(男は仕事、女は家庭など)や暴力、性の表現について、あなたはどのようにお考えですか。



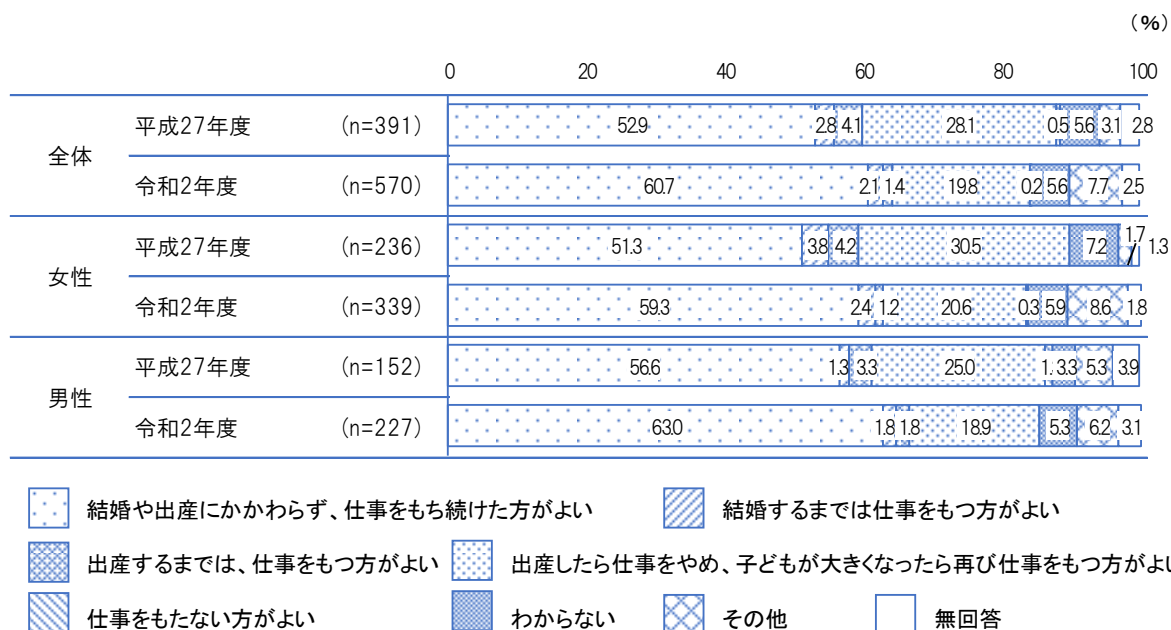
全体で見ると、「性別によって役割を固定する表現や女性に対する暴力・性の表現をのぞまない人や子どもの目に触れないような配慮が足りない」が31.6%と最も高く、次いで「子どもが性についてゆがんだ意識を持つおそれがある」(30.0%)、「女性の身体や姿態を過度に強調するなど、行き過ぎた表現が目立つ」(23.7%)となっています。

性別で見ると、「社会全体の性に関する道徳観・倫理観を損なう表現をしている」では女性が22.1%、男性が16.7%と男性に比べ女性が5.4ポイント高く、「性別によって役割を固定する表現や女性に対する暴力・性の表現をのぞまない人や子どもの目に触れないような配慮が足りない」では女性が33.9%、男性が28.6%と男性に比べ女性が5.3ポイント高く、「特に問題はない」では女性が5.6%、男性が11.5%と女性に比べ男性が5.9ポイント高くなっています。

■ その他意見

インターネットの情報がひどい。
さわぎすぎ。
知らなくていい情報もあるが、知らなきゃならないこともある。成長の段階に応じ考え親は対処していくべき。
中学校までは携帯を持たせないように全国的にする方がよいと思う。
性別役割分担の表現が問題なのではなく、その表現に対して、この考え方はおかしいと思える判断力・思考力を身につけることのほうが重要だと思う。
問題ない物を問題あると指弾し、対立をあおっている。
女性の社会への参加はよいと思うが、逆に夫婦共働きをしないと生活が出来なくなっている経済はいかなものか。
女性蔑視だけでなく、男性蔑視の報道も不快。
学校や家庭でしっかり教育すれば良い。もしくは見せるもののコントロール(閲覧制限等)をすれば良い。
今後、家庭での役割分担とはどういう事なのか。得意な事を得意な方がしたら良いと思っています。技能・技術も等価交換ではないでしょうか。

問23 女性が仕事をもつことについて、あなたはどのように思いますか。



全体で見ると、「結婚や出産にかかわらず、仕事もち続けた方がよい」が60.7%と最も高く、次いで「出産したら仕事をやめ、子どもが大きくなったら再び仕事をもつ方がよい」(19.8%)、「その他」(7.7%)となっています。

性別で見ると、すべての項目で性別による大きな差はみられません。

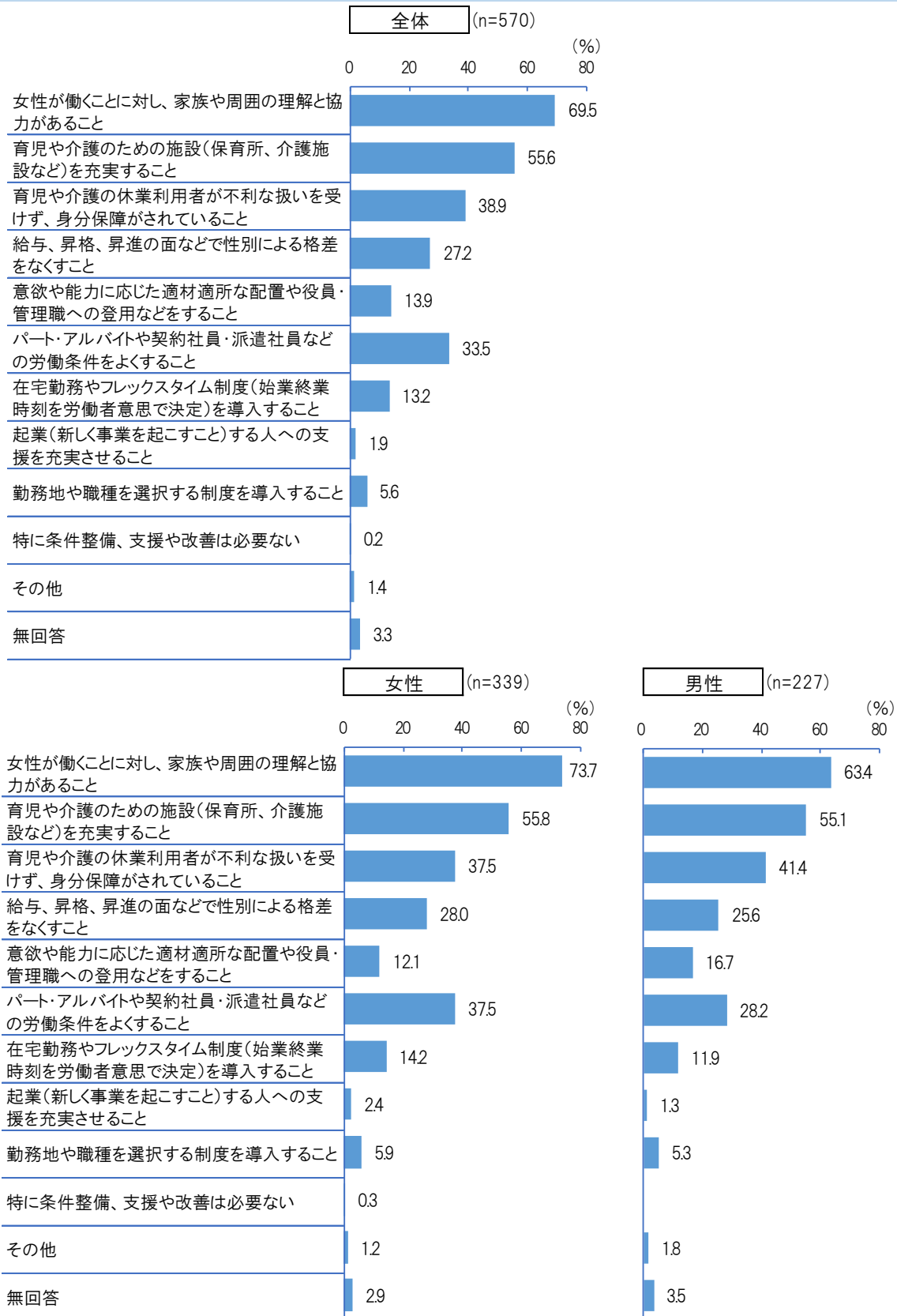
前期調査と全体と比較すると、「結婚や出産にかかわらず、仕事もち続けた方がよい」が7.8ポイント増加し、「出産したら仕事をやめ、子どもが大きくなったら再び仕事をもつ方がよい」が8.3ポイント減少しています。

性別で比較すると、女性では「結婚や出産にかかわらず、仕事もち続けた方がよい」が8.0ポイント、「その他」が6.9ポイント増加し、「出産したら仕事をやめ、子どもが大きくなったら再び仕事をもつ方がよい」が9.9ポイント減少しています。男性では「結婚や出産にかかわらず、仕事もち続けた方がよい」が6.4ポイント増加し、「出産したら仕事をやめ、子どもが大きくなったら再び仕事をもつ方がよい」が6.1ポイント減少しています。

■ その他意見

その人次第だと思う。(※他同様の意見が14件)
その時の状況に応じて自分のしたいようにできるのが良い。(※他同様の意見が9件)
4が理想であるが、経済的に。又、老後を考えると困難。
その人の周りの環境によると思う。
どちらが上ということではなく、その人によって仕事をやめたり続けたり選べるのがよい。
家族の理解が必要だと思うし大変だと思う。
家庭によると思うが、家庭の理解があれば仕事をもち続けた方がよいと思う。
個人の意思を尊重すべき。
個人の考えもあると思う。また、環境が整い、無理なく楽しく働けるようであれば。
仕事をする事は様々な機会に触れることが出来、個人の成長になると思う。しかし、個人の問題(考え方)次第であり、他人が決めつける事ではないと思う。
仕事をする必要があれば。望むならば。経済的にも。
仕事をもち続けた方がよいが現実には難しい。1、2年のブランク後、仕事へ戻れる気がしない。
持ちたい人が持って、家庭に入りたい人は家事に専念すればよい。
自分が働きたい場があったり家庭の状況などを考えた、それぞれの選択があつてよいと思う。
自分にあつた働き方、仕事はどんな事でもした方がいい。
自分の気持ち(思い)が一番。働きたいのであれば結婚や出産を理由に使つてはいけないと思う。自分の考えをしっかりと持ちそれを理解する回りも大事だと思う。
自分の考えがしっかりとしていればよい。
人によるんじゃないか。皆違う人間。考え方も色々あると思う。状況も人それぞれ。個人的には仕事は必要だと思うが。
生きる為、楽しみの為、健康保持の為等、それぞれの実情に応じて働くことが良いと思います。
夫婦間で相談しながら協力の有無でよいと思う。
本人がしたいようにすればよい。その上で2つ大きな問題がある。1つは働きたいのに働けない事。もう1つは、子育てに専念したいのに辞められない事。
本人が自由に選ばれるように。子育てに専念したいが、経済的に不安定なら仕事をしなくてはならないので。

問24 あなたは女性が仕事をもち続けていくためには、どのような支援や改善が必要だと思いますか。



全体で見ると、「女性が働くことに対し、家族や周囲の理解と協力があること」が69.5%と最も高く、次いで「育児や介護のための施設(保育所、介護施設など)を充実すること」(55.6%)、「育児や介護の休業利用者が不利な扱いを受けず、身分保障がされていること」(38.9%)となっています。

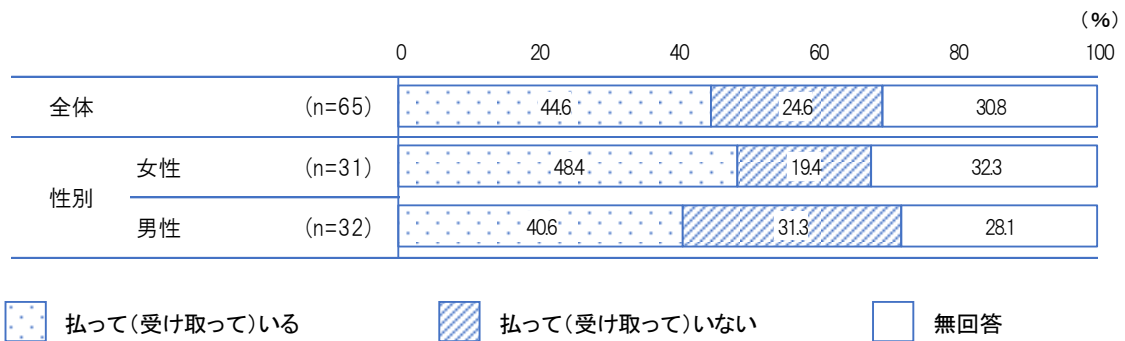
性別で見ると、「女性が働くことに対し、家族や周囲の理解と協力があること」では女性が73.7%、男性が63.4%と女性に比べ女性が10.3ポイント高く、「パート・アルバイトや契約社員・派遣社員などの労働条件をよくすること」では女性が37.5%、男性が28.2%と女性に比べ女性が9.3ポイント高くなっています。

■その他意見

妊娠したら休業できる制度があればよい(産休とは別で)。
男性の専業主夫を増やし、男性の家庭進出を増やす。
出産の事をもっと考えて欲しい。
男女ともに仕事、育児など様々な場面で理解をもつ。

[SA]

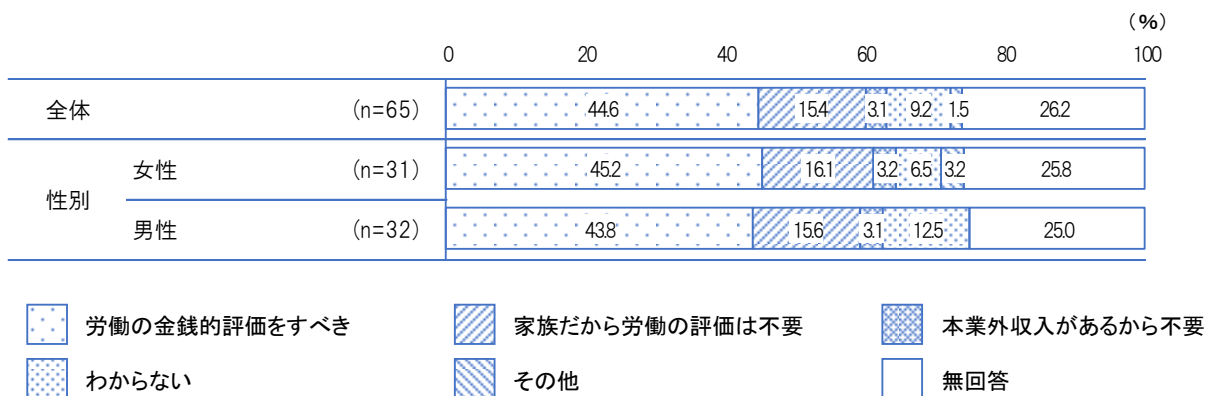
問25 【農林漁業、商工サービス業等自営業に従事(家族従事者も含む)している方におうかがいします。(問3で「1. 自営業または、その家族従業員」を選んだ方)】
 いわゆる給料は、家族に対して払って(受け取って)いますか。



全体で見ると、「払って(受け取って)いる」が44.6%、「払って(受け取って)いない」が24.6%となっています。性別で見ると、「払って(受け取って)いる」では女性が48.4%、男性が40.6%と男性に比べ女性が7.8ポイント高く、「払って(受け取って)いない」では女性が19.4%、男性が31.3%と女性に比べ男性が11.9ポイント高くなっています。

[SA]

問26 農林漁業、商工サービス業等自営業に従事したことに対し、労働報酬(いわゆる給料)を支払うなど金銭的な評価をすべきだと思いますか。

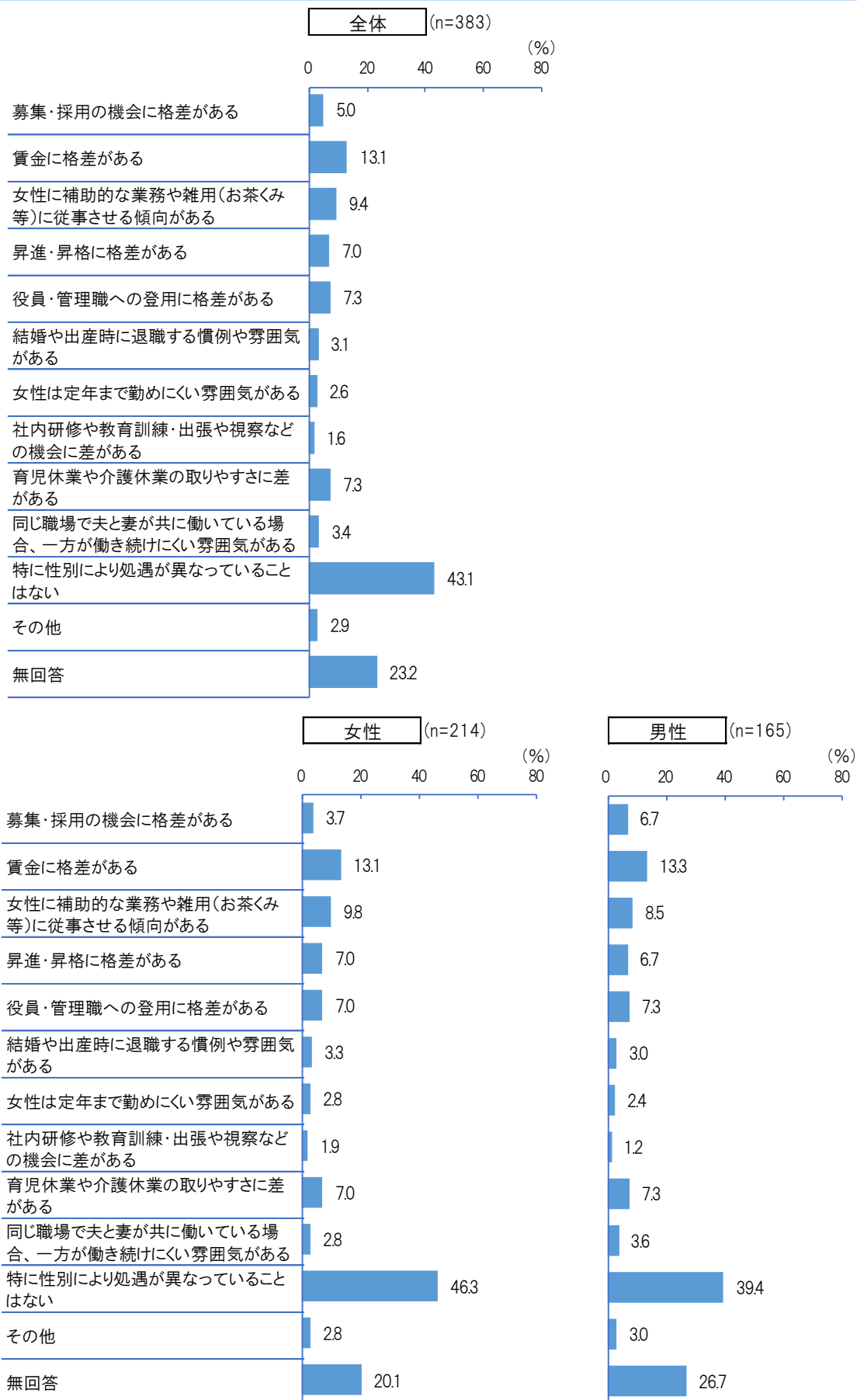


全体で見ると、「労働の金銭的評価をすべき」が44.6%と最も高く、次いで「家族だから労働の評価は不要」(15.4%)、「わからない」(9.2%)となっています。性別で見ると、「わからない」では女性が6.5%、男性が12.5%と女性に比べ男性が6.0ポイント高くなっています。

■その他意見

農林業をしているが報酬を支払う、受け取るほどの収入は無く、生活費で消えてしまう。
--

問27 【現在、就業(パート、アルバイト含む)されている方におたずねします(問3で「1」～「4」のいずれかを選んだ方)】あなたの職場では、性別によって処遇が異なりますか。



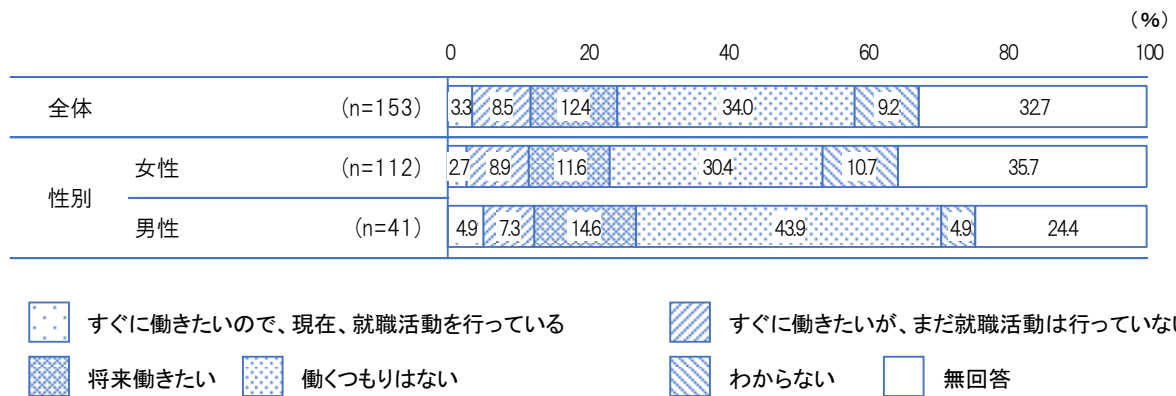
全体で見ると、「特に性別により処遇が異なっていることはない」が43.1%と最も高く、次いで「賃金に格差がある」(13.1%)、「女性に補助的な業務や雑用(お茶くみ等)に従事させる傾向がある」(9.4%)となっています。性別で見ると、「特に性別により処遇が異なっていることはない」では女性が46.3%、男性が39.4%と男性に比べ女性が6.9ポイント高くなっています。

■その他意見

女性がない。(※他同様の意見が2件)
男性がない。(※他同様の意見が1件)
8時半出勤か8時前に出勤している。サービス残業が多すぎる。
夫婦での仕事 協力するだけ。
他の人がどのような待遇を受けているのとか(賃金など)話したことがないのでわからない。

[SA]

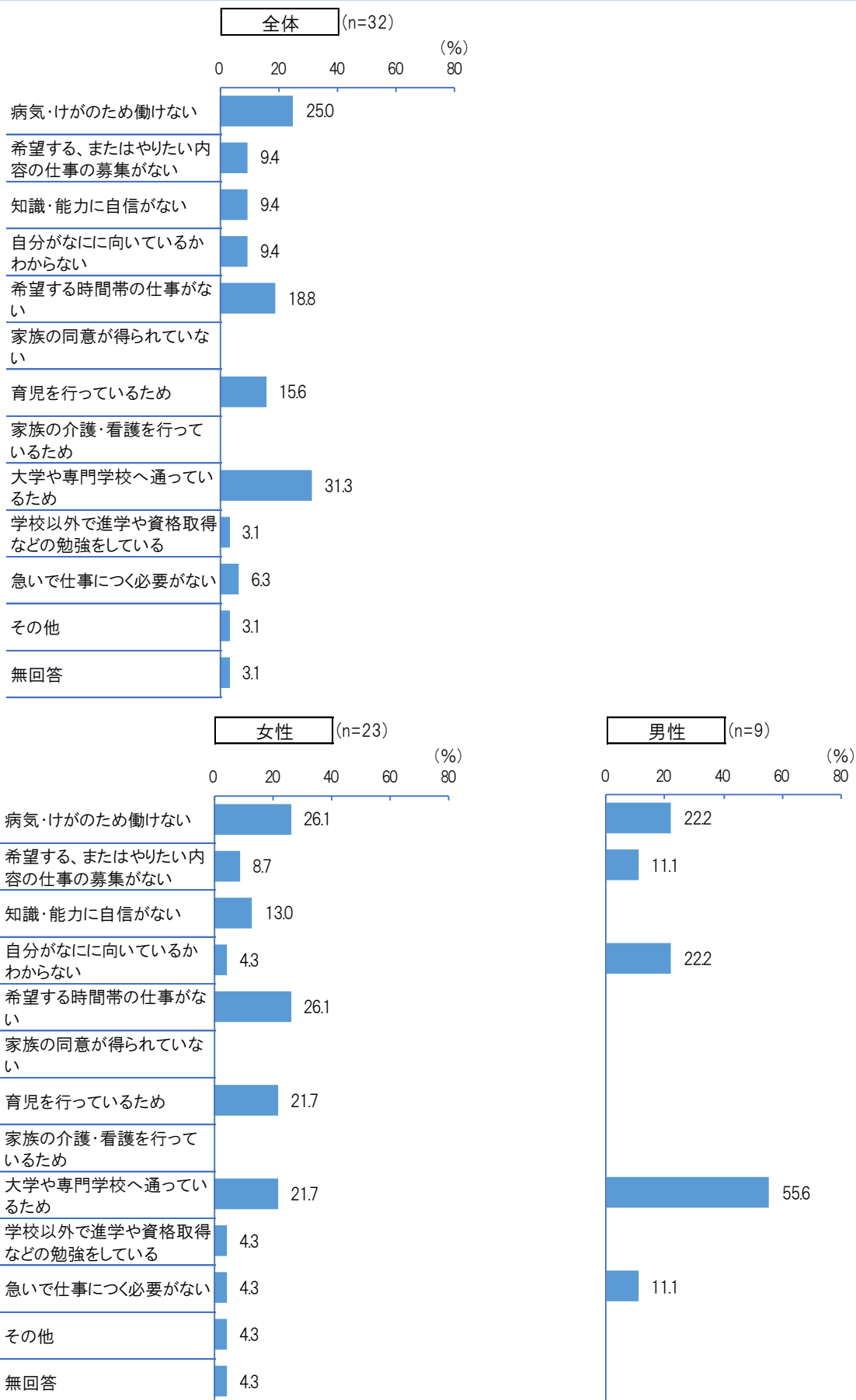
問28 【現在、就業されていない方におたずねします。(問3で「5」～「7」のいずれかを選んだ方)】
あなたは、今後のご自身の仕事についてどうお考えですか。



全体で見ると、「働くつもりはない」が34.0%と最も高く、次いで「将来働きたい」(12.4%)、「わからない」(9.2%)となっています。

性別で見ると、「働くつもりはない」では女性が30.4%、男性が43.9%と女性に比べ男性が13.5ポイント高く、「わからない」では女性が10.7%、男性が4.9%と男性に比べ女性が5.8ポイント高くなっています。

問29 【問28で「2. すぐに働きたいが、まだ就職活動は行っていない」、または「3. 将来働きたい」と答えた方におたずねします】現在、就職活動をされていない理由は何ですか。



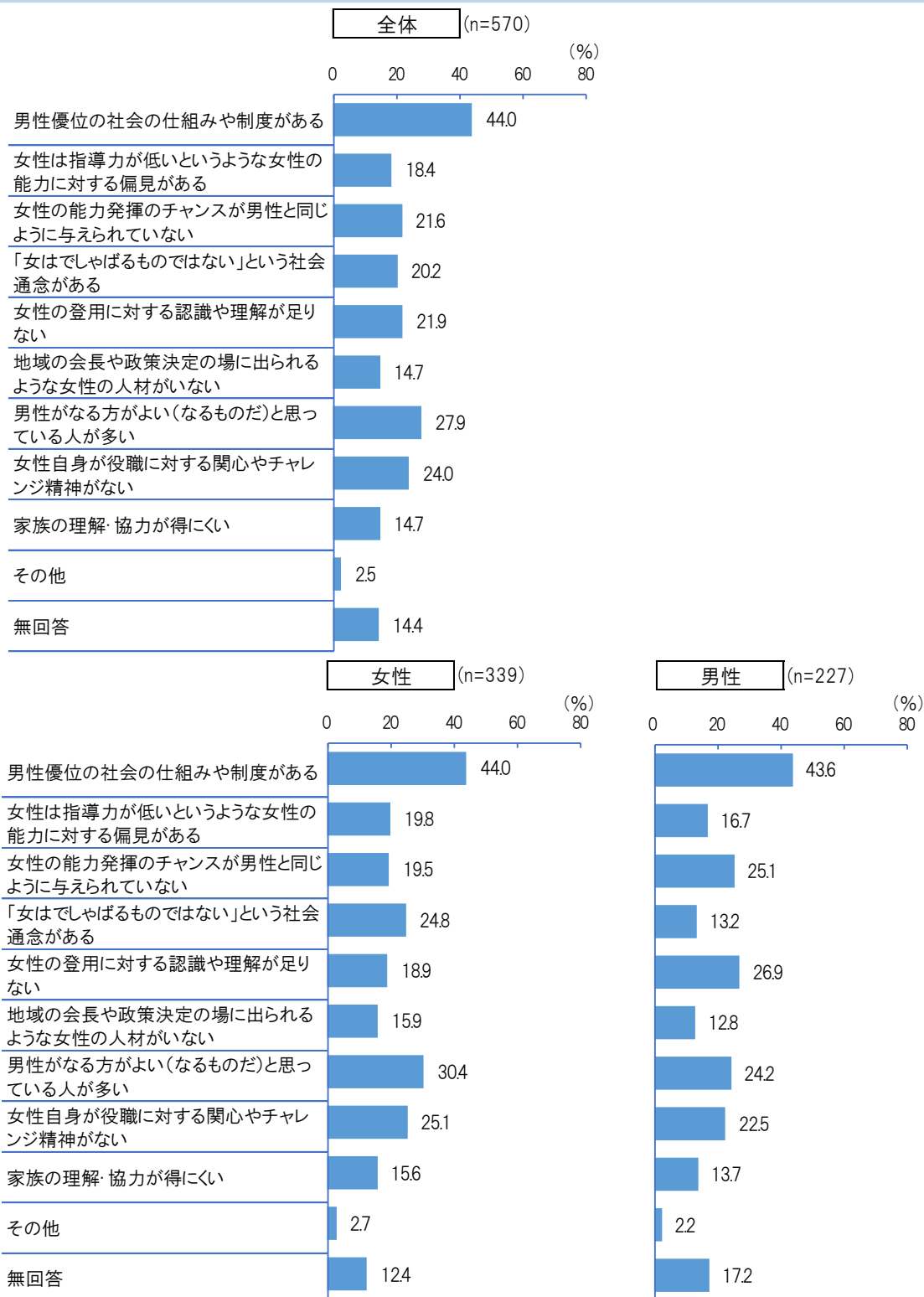
全体でみると、「大学や専門学校へ通っているため」が31.3%と最も高く、次いで「病気・けがのため働けない」(25.0%)、「希望する時間帯の仕事がない」(18.8%)となっています。

性別でみると、「自分がなにに向いているかわからない」では女性が4.3%、男性が22.2%と女性に比べ男性が17.9ポイント、「希望する時間帯の仕事がない」では女性が26.1%、男性が0.0%と男性に比べ女性が26.1ポイント、「育児を行っているため」では女性が21.7%、男性が0.0%と男性に比べ女性が21.7ポイント、「大学や専門学校へ通っているため」では女性が21.7%、男性が55.6%と女性に比べ男性が33.9ポイント、「急いで仕事につく必要がない」では女性が4.3%、男性が11.1%と女性に比べ男性が6.8ポイント高くなっています。

■その他意見

子供が進学し迎えなど、日によって時間が違うため、ちょうど良いパートが見つからないから。

問30 女性の社会進出は進んでいますが、議員や審議会委員、自治会長などにはまだ女性が少ないのが現状です。このように女性の参画が少ない理由は何だと思いますか。



全体で見ると、「男性優位の社会の仕組みや制度がある」が44.0%と最も高く、次いで「男性がなる方がよい(なるものだ)と思っている人が多い」(27.9%)、「女性自身が役職に対する関心やチャレンジ精神がない」(24.0%)となっています。

性別で見ると、「女性の能力発揮のチャンスが男性と同じように与えられていない」では女性が19.5%、男性が25.1%と女性に比べ男性が5.6ポイント高く、「女はでしゃばるものではない」という社会通念がある」では女性が24.8%、男性が13.2%と女性に比べ男性が11.6ポイント高く、「女性の登用に対する認識や理解が足りない」では女性が18.9%、男性が26.9%と女性に比べ男性が8.0ポイント高く、「男性がなる方がよい(なるものだ)と思っている人が多い」では女性が30.4%、男性が24.2%と女性に比べ男性が6.2ポイント高くなっています。

■その他意見

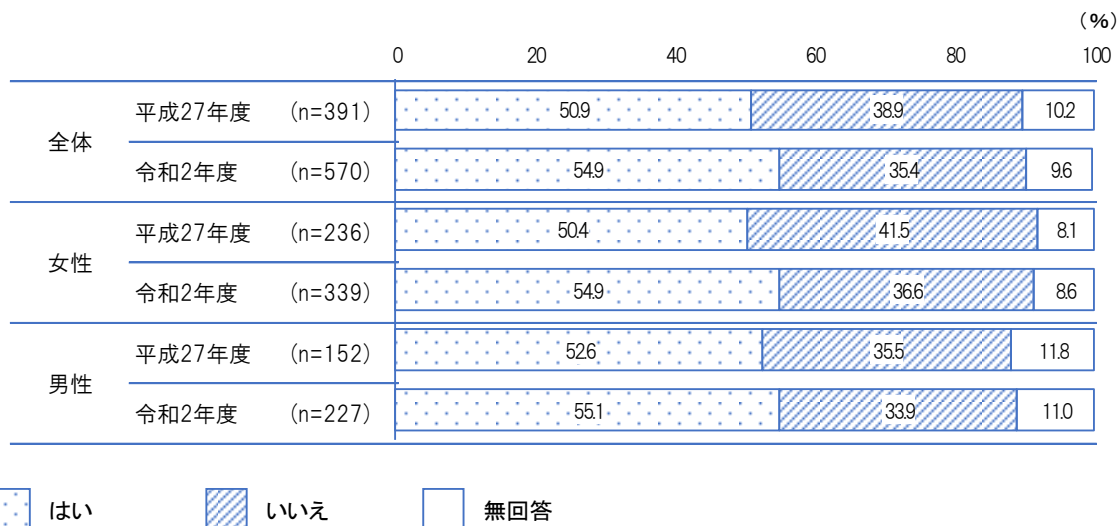
家庭内の仕事は大部分を女性が担っているため生活との両立は難しいのだと思う。
女性の社会進出の制度、政策が不十分。
男女関係なく、ハードルを高くも上げすぎなのではないかと思う。
昔からの風習というか女より男という考えが自分にもある。職場以外の事に関しては、家庭や自治会では。
田舎の人(男の人)の意識の問題。
日本が特に積み上げを重視するから、一度休むと(そのとき能力で評価されずに)差をつけられる。
したくないんじゃないの？
法学部出身者の男女比率が男性にかたよっているため、法律や政治に興味を持っている女性が元々少ない。
家事・育児・介護の負担が女性に偏っているため女性には時間的余有が無い。
男はリーダーの力、女は従事するというような性質があると思う。
年だから。
議員や自治会長などの役職(職務)に価値を見い出せていない。多少なり、家庭を犠牲にする程の価値があるのか疑問に感じる。8番の解答自体が軽視だと思いますが。チャレンジする程の価値がないというのが現実的感想。
諦めている。
本人次第ではないかと考えます。

仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)

[SA]

問31 今、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進がもためられています、現状をお聞かせください。あなたは、仕事と生活の調和がうまくとれていますか。

(自分の時間について、仕事・家庭・趣味など自分のやりたいこともできるようにバランスがとれているかどうか)

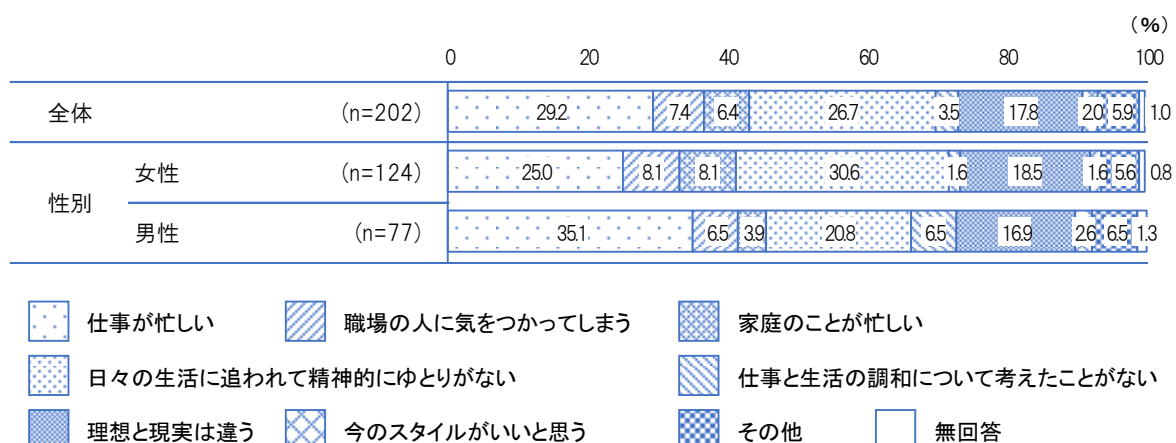


全体で見ると、「はい」が 54.9%、「いいえ」が 35.4%となっています。

性別で見ると、すべての項目で性別による大きな差はみられません。

前期調査と比較すると、すべての項目で大きな差はみられません。

問32 【問31で「2. いいえ」と答えた方におうかがいします。】 仕事と生活の調和がうまくとれない理由は何だと思えますか？



全体でみると、「仕事が忙しい」が29.2%と最も高く、次いで「日々の生活に追われて精神的にゆとりがない」(26.7%)、「理想と現実が違う」(17.8%)となっています。

性別でみると、「仕事が忙しい」では女性が25.0%、男性が35.1%と女性に比べ男性が10.1ポイント高く、「日々の生活に追われて精神的にゆとりがない」では女性が30.6%、男性が20.8%と男性に比べ女性が9.8ポイント高くなっています。

■その他意見

日本人は働きすぎていて私生活でも仕事の疲れがとれていない。常にダメージがあるので生産性も低い。

同世代の男性の家事能力が低すぎる。

体調が悪い。

退職後や休日に職場の人との行事がある。行きたくないが部下は行かないといけない雰囲気。

家庭の問題を解決できないことを負担に感じている。

家庭での役割分担がうまくいっていない。

主人は昔の人間か何もしない。朝早くから朝食準備、仕事、夕食の準備と疲れる事が多い。

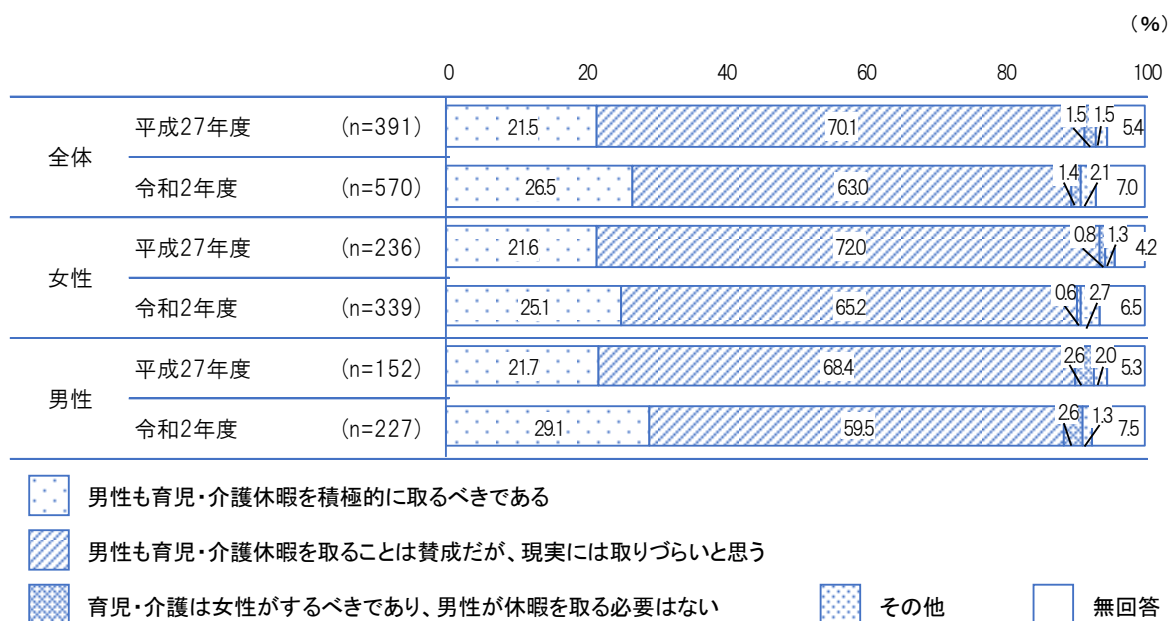
現在仕事はしていません。

病気で仕事につけない。

既に仕事中心生活。

病気の為。

問33 男性も育児・介護休暇を取ることができるようになっていますが、このことについてあなたはどのように思いますか。



全体で見ると、「男性も育児・介護休暇を取ることは賛成だが、現実には取りづらいと思う」が63.0%と最も高く、次いで「男性も育児・介護休暇を積極的に取るべきである」(26.5%)、「その他」(2.1%)となっています。

性別で見ると、「男性も育児・介護休暇を取ることは賛成だが、現実には取りづらいと思う」では女性が65.2%、男性が59.5%と女性に比べ女性が5.7ポイント高くなっています。

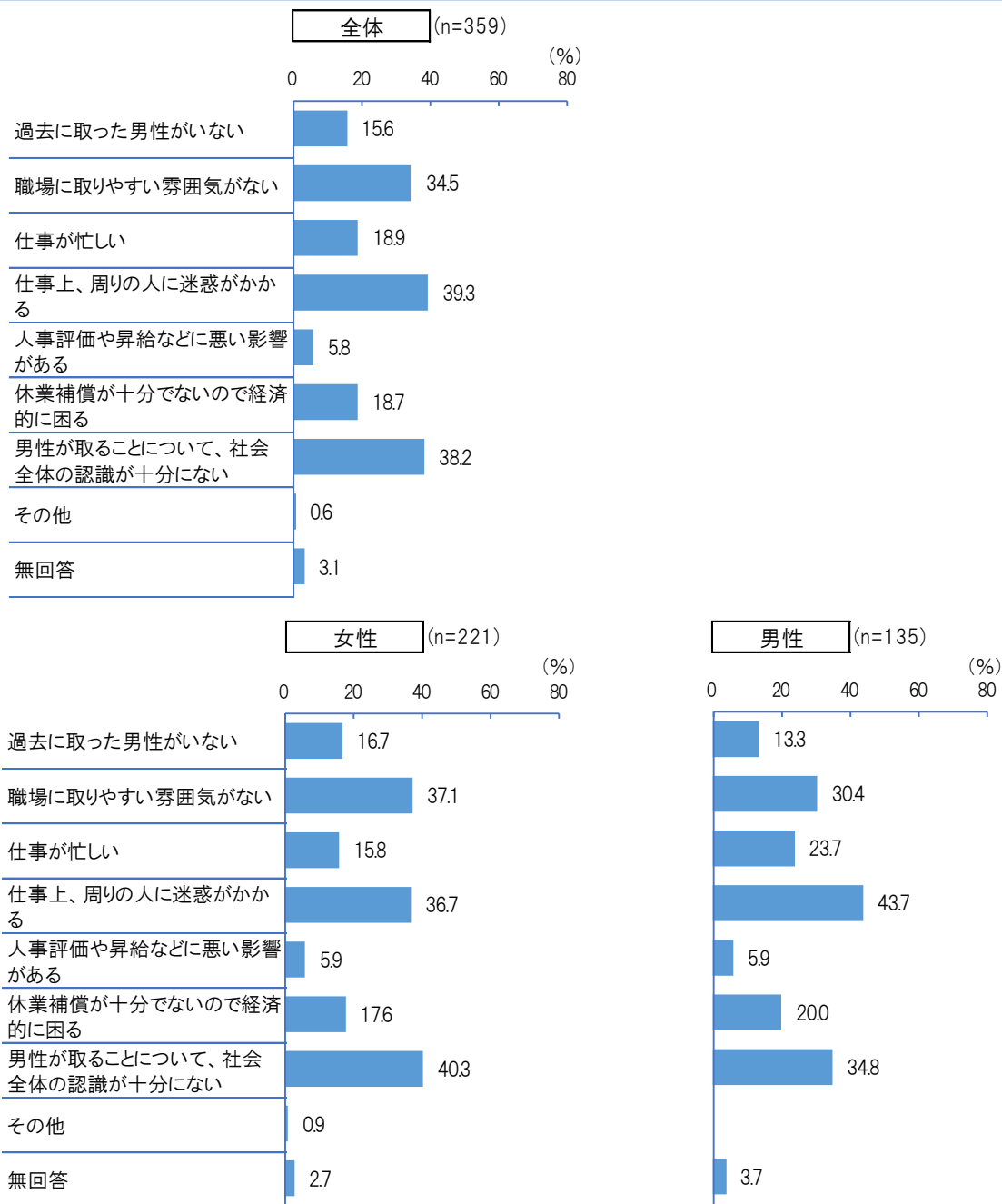
前期調査と全体で比較すると、「男性も育児・介護休暇を積極的に取るべきである」が5.0ポイント増加し、「男性も育児・介護休暇を取ることは賛成だが、現実には取りづらいと思う」が7.1ポイント減少しています。

性別で比較すると、女性では「男性も育児・介護休暇を取ることは賛成だが、現実には取りづらいと思う」が6.8ポイント減少しています。男性では「男性も育児・介護休暇を積極的に取るべきである」が7.4ポイント増加し、「男性も育児・介護休暇を取ることは賛成だが、現実には取りづらいと思う」が8.9ポイント減少しています。

■ その他意見

どうしても女性のほうが気づくことが多い（気が利く）ので女性がするのがよいと思うが時と場合によると思う。
どちらでもいい。
具体的な仕事をきちんと覚えてから休まないで、ただの休日になってしまう。
制度を利用する必要がある人は、確実に利用できるようにすべき。
男性が協力的であれば賛成だが、パチンコ等に（遊びに）の方に行くのではと思う事がある。
家事・介護を主体的に行うのであれば積極的に取るべきであるが、単に休むだけならば配偶者の負担が増えるので取るべきでない。
その時の状況に応じて対応する。
家庭により事情が変わるので、家庭内で解決できればいい問題だと思う。
休みを取っても、ただ家でダラダラしているという話も聞いたことがあるので、育児休暇を取る前に、研修みたいなことをした方がいいと思う。意識を変えることが大事。
社会的な制度という点では、積極的に男性も取ることに賛成だが、介護や育児の内容や、介護される側の心理からすると女性の方が受け入れやすいような気がする。誰がどのような形で育児や介護休暇をとるのがベストかを家族で話した時に誰が取るになっても性別に関わらず取れる環境が整っていることが大切だと思います。

問34 【問33で「2. 男性も育児・介護休暇を取ることは賛成だが、現実には取りづらいと思う」を選んだ方におうかがいします。】現実的に取りづらい理由は何だと思えますか。



全体で見ると、「仕事上、周りの人に迷惑がかかる」が39.3%と最も高く、次いで「男性が取ることについて、社会全体の認識が十分でない」(38.2%)、「職場に取りやすい雰囲気がない」(34.5%)となっています。

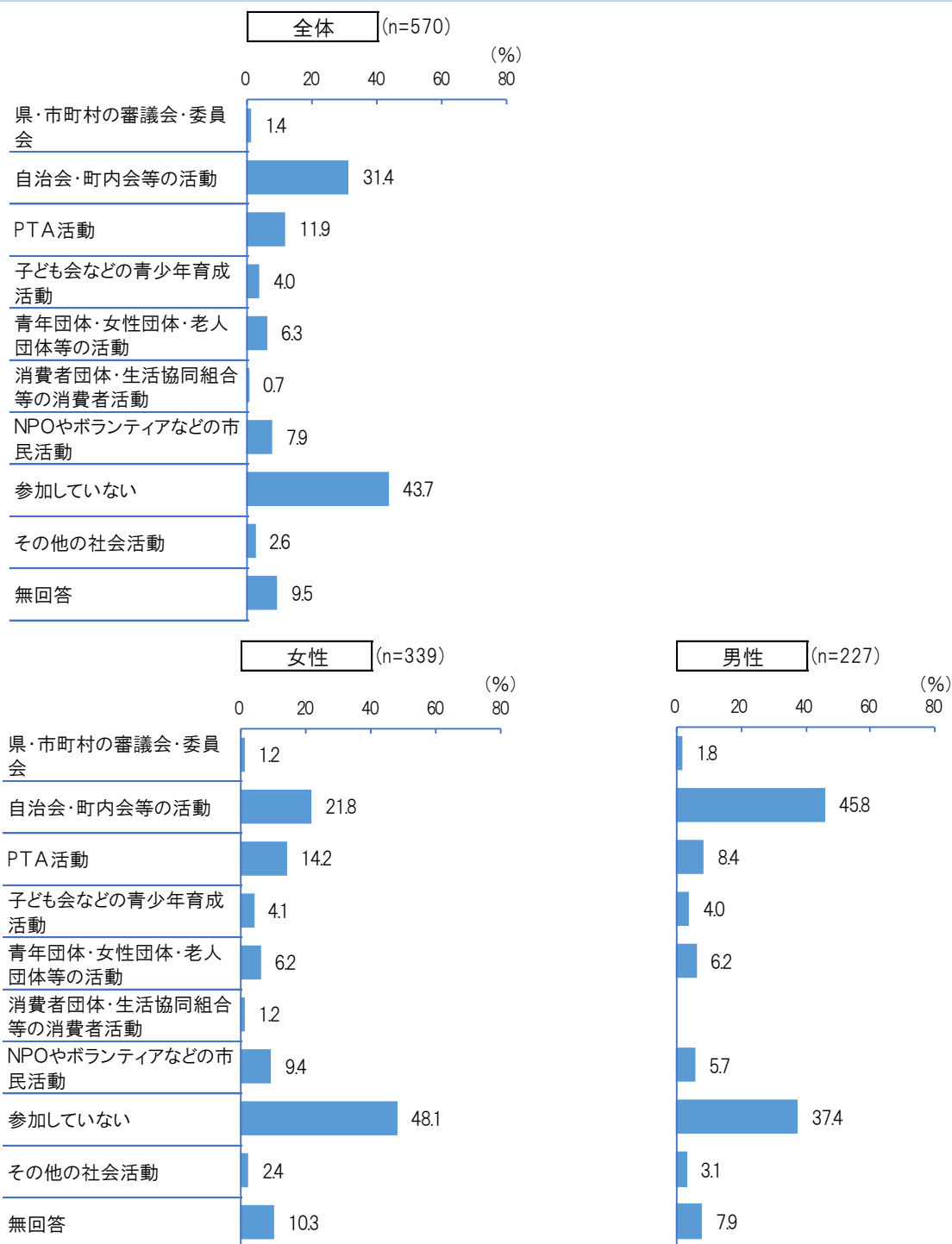
性別で見ると、「職場に取りやすい雰囲気がない」では女性が37.1%、男性が30.4%と女性に比べ女性が6.7ポイント高く、「仕事上、周りの人に迷惑がかかる」では女性が36.7%、男性が43.7%と女性に比べ男性が7.0ポイント高く、「男性が取ることについて、社会全体の認識が十分でない」では女性が40.3%、男性が34.8%と女性に比べ女性が5.5ポイント高くなっています。

■ その他意見

女性の方が望んで育児に関わっているから。家庭によるのでは。

取ったところで役に立たない。知識がない人が多すぎる。

問35 あなたは、次のような地域活動を行っていますか。



全体で見ると、「参加していない」が43.7%と最も高く、次いで「自治会・町内会等の活動」(31.4%)、「PTA活動」(11.9%)となっています。

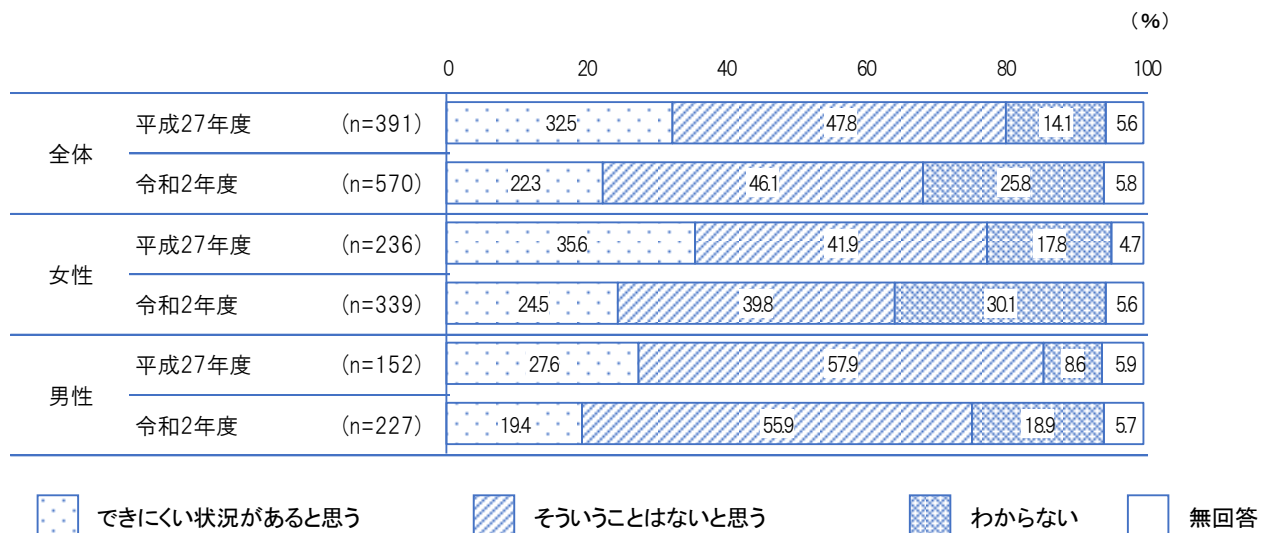
性別で見ると、「自治会・町内会等の活動」では女性が21.8%、男性が45.8%と女性に比べ男性が24.0ポイント高く、「PTA活動」では女性が14.2%、男性が8.4%と男性に比べ女性が5.8ポイント高く、「参加していない」では女性が48.1%、男性が37.4%と男性に比べ女性が10.7ポイント高くなっています。

■その他の社会活動

消防団。（※他同様の意見が2件）
サロン等。
個人で趣味の会を運営している。
小学生の陸上(スポーツ)指導。
芸能。
自分の住んでいるところで体（足など）余り動かすことが出来ない方の少々の手助け程度。月2回見回っています。
食推協。
矯正施設での教養講座、面接（精神的煩悶）担当。

[SA]

問36 自治会などの地域の集まりや作業の中で、女性も男性と共に参加したり、男性と同じように発言することができにくい状況があると思いますか。



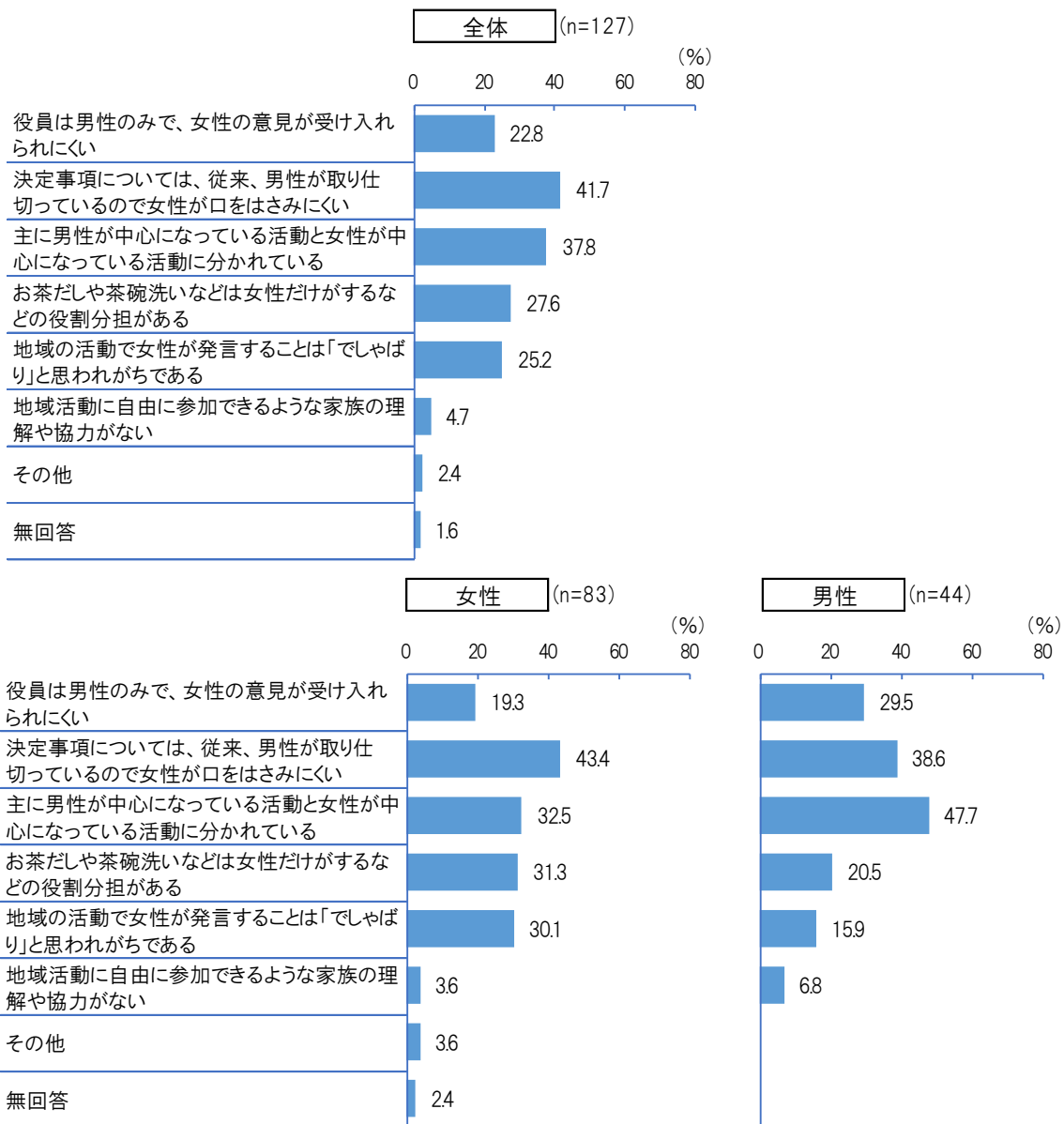
全体で見ると、「そういうことはないと思う」が46.1%と最も高く、次いで「わからない」(25.8%)、「できにくい状況があると思う」(22.3%)となっています。

性別で見ると、「できにくい状況があると思う」では女性が24.5%、男性が19.4%と女性に比べ女性が5.1ポイント高く、「そういうことはないと思う」では女性が39.8%、男性が55.9%と女性に比べ男性が16.1ポイント高く、「わからない」では女性が30.1%、男性が18.9%と女性に比べ女性が11.2ポイント高くなっています。

前期調査と全体で比較すると、「できにくい状況があると思う」が10.2ポイント減少し、「わからない」が11.7ポイント増加しています。

性別で比較すると、女性では「できにくい状況があると思う」が11.1ポイント減少し、「わからない」が12.3ポイント増加しています。男性では「できにくい状況があると思う」が8.2ポイント減少し、「わからない」が10.3ポイント増加しています。

問37 【問36で「1. できにくい状況があると思う」を選んだ方におうかがいします。】それはどんな雰囲気や状況だと思いますか。



全体で見ると、「決定事項については、従来、男性が取り仕切っているので女性が口をはさみにくい」が41.7%と最も高く、次いで「主に男性が中心になっている活動と女性が中心になっている活動に分かれている」(37.8%)、「お茶だしや茶碗洗いなどは女性だけがするなどの役割分担がある」(27.6%)となっています。

性別で見ると、「役員は男性のみで、女性の意見が受け入れられにくい」では女性が19.3%、男性が29.5%と女性に比べ男性が10.2ポイント高く、「主に男性が中心になっている活動と女性が中心になっている活動に分かれている」では女性が32.5%、男性が47.7%と女性に比べ男性が15.2ポイント高く、「お茶だしや茶碗洗いなどは女性だけがするなどの役割分担がある」では女性が31.3%、男性が20.5%と男性に比べ女性が10.8ポイント高く、「地域の活動で女性が発言することは「でしゃばり」と思われがちである」では女性が30.1%、男性が15.9%と男性に比べ女性が14.2ポイント高くなっています。

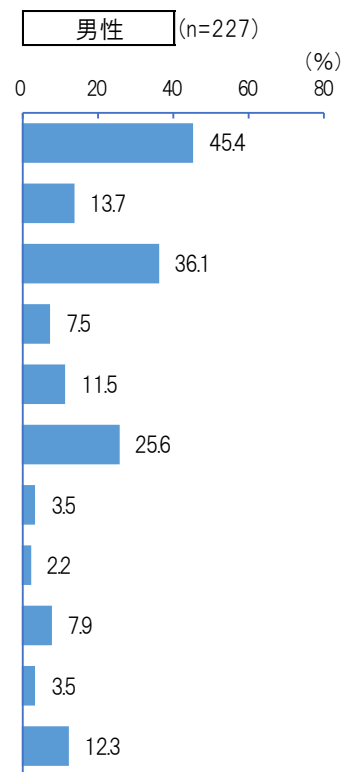
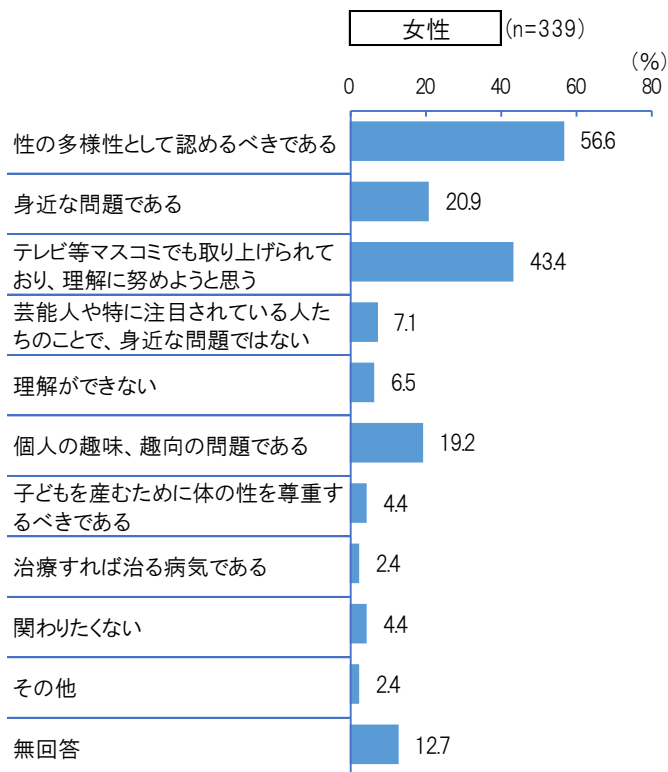
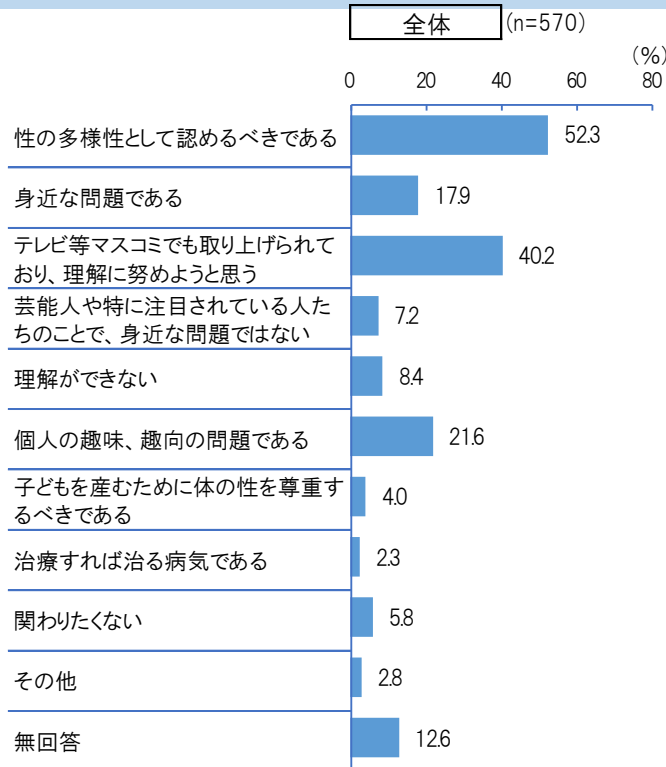
■ その他意見

地域作業は力作業のときがある。

移住の人たちの意見が強い。

年齢が高く若いもの（自分達位）が口をはさみにくい。

問38 LGBTなど(性的マイノリティ)にどのような考えやイメージをおもちですか。



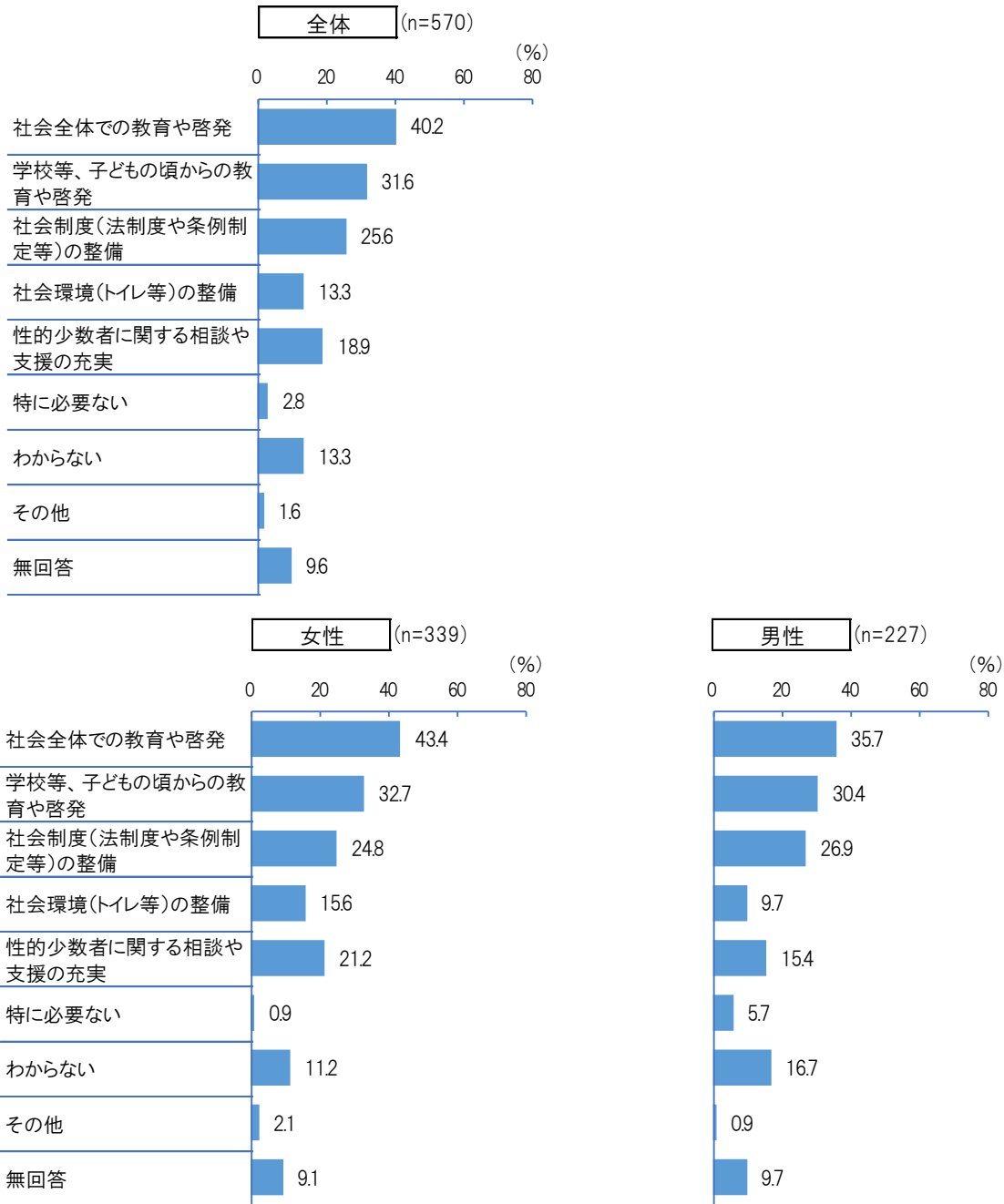
全体でみると、「性の多様性として認めるべきである」が 52.3%と最も高く、次いで「テレビ等マスコミでも取り上げられており、理解に努めようと思う」(40.2%)、「個人の趣味、趣向の問題である」(21.6%)となっています。

性別でみると、「性の多様性として認めるべきである」では女性が 56.6%、男性が 45.4%と男性に比べ女性が 11.2 ポイント、「身近な問題である」では女性が 20.9%、男性が 13.7%と男性に比べ女性が 7.2 ポイント、「テレビ等マスコミでも取り上げられており、理解に努めようと思う」では女性が 43.4%、男性が 36.1%と男性に比べ女性が 7.3 ポイント、「理解ができない」では女性が 6.5%、男性が 11.5%と女性に比べ男性が 5.0 ポイント、「個人の趣味、趣向の問題である」では女性が 19.2%、男性が 25.6%と女性に比べ男性が 6.4 ポイント高くなっています。

■その他意見

多様性として認めるべきではあるが、子どもを産んで育てている人たちより税などの面で区別すべきだと思う。
テレビやマスコミで過剰な取り上げが悪い。
どちらともいえない。
本人達の好きにすればよい。特に差別はしない。
普通のこと。皆違うのは普通。
少数意見を気にしていたらきりが無い。背の低い人や太った人が不当に差別されているし、お笑い芸人も変な人を差別することで笑いをさそっている。
生まれつきのものであるので仕方ないと思う。
具体的に知らない、解らない。
LGBT そのものがよく解っていない。
誰でもその人生をありのままに生きていたいと思う。
差別に反対。
意味が分かりません。
尊重しないとイケない時代だと思います。

問39 LGBTなど(性的マイリティ)の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。

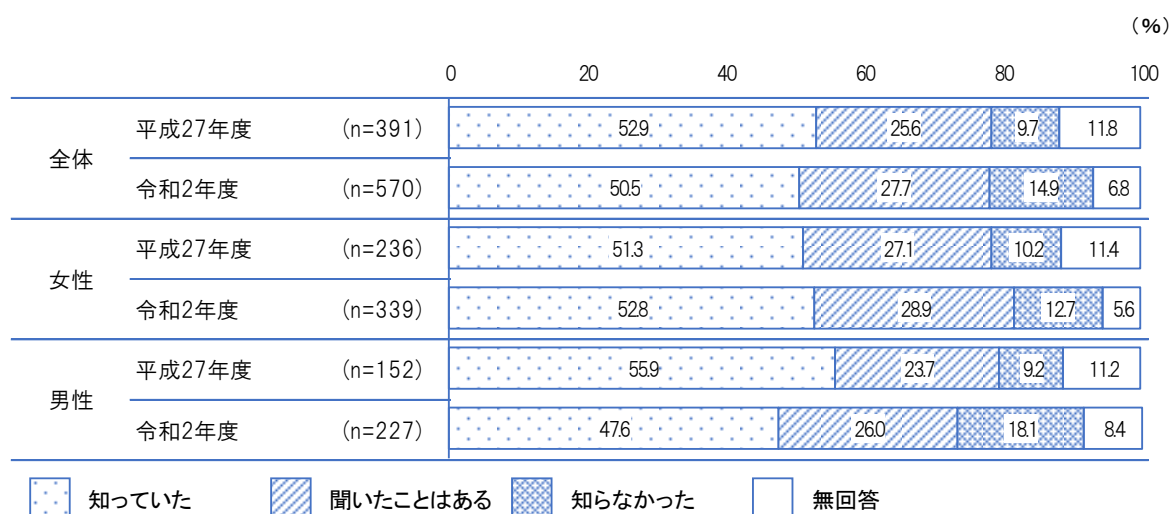


全体で見ると、「社会全体での教育や啓発」が40.2%と最も高く、次いで「学校等、子どもの頃からの教育や啓発」(31.6%)、「社会制度(法制度や条例制定等)の整備」(25.6%)となっています。

性別で見ると、「社会全体での教育や啓発」では女性が43.4%、男性が35.7%と男性に比べ女性が7.7ポイント高く、「社会環境(トイレ等)の整備」では女性が15.6%、男性が9.7%と男性に比べ女性が5.9ポイント高く、「性的少数者に関する相談や支援の充実」では女性が21.2%、男性が15.4%と男性に比べ女性が5.8ポイント高く、「わからない」では女性が11.2%、男性が16.7%と女性に比べ男性が5.5ポイント高くなっています。

問40 あなたは、次の①～⑫にあげることがらについて知っていますか。

①男女共同参画



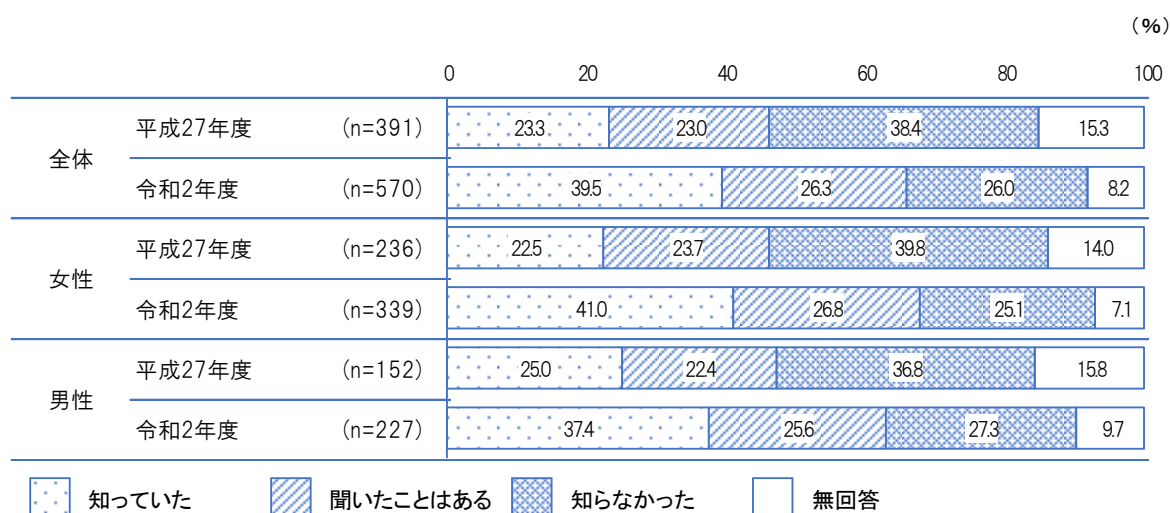
全体で見ると、「知っていた」が50.5%と最も高く、次いで「聞いたことはある」(27.7%)、「知らなかった」(14.9%)となっています。

性別で見ると、「知っていた」では女性が52.8%、男性が47.6%と男性に比べ女性が5.2ポイント高く、「知らなかった」では女性が12.7%、男性が18.1%と女性に比べ男性が5.4ポイント高くなっています。

前期調査と全体で比較すると、「知らなかった」が5.2ポイント増加しています。

性別で比較すると、女性では大きな差はみられません。男性では「知っていた」が8.3ポイント減少し、「知らなかった」が8.9ポイント増加しています。

②ジェンダー(社会的につくられた性差)



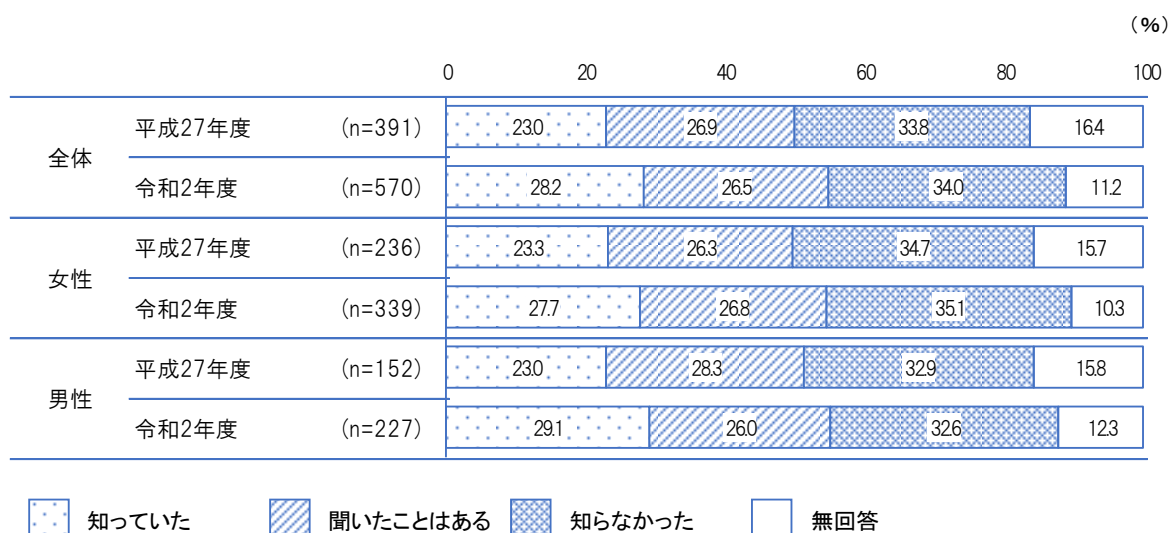
全体で見ると、「知っていた」が39.5%と最も高く、次いで「聞いたことはある」(26.3%)、「知らなかった」(26.0%)となっています。

性別で見ると、すべての項目で性別による大きな差はみられません。

前期調査と全体で比較すると、「知っていた」が16.2ポイント増加し、「知らなかった」が12.4ポイント減少しています。

性別で比較すると、女性では「知っていた」が18.5ポイント増加し、「知らなかった」が14.7ポイント減少しています。男性では「知っていた」が12.4ポイント増加し、「知らなかった」が9.5ポイント減少しています。

③固定的な性別役割分担意識



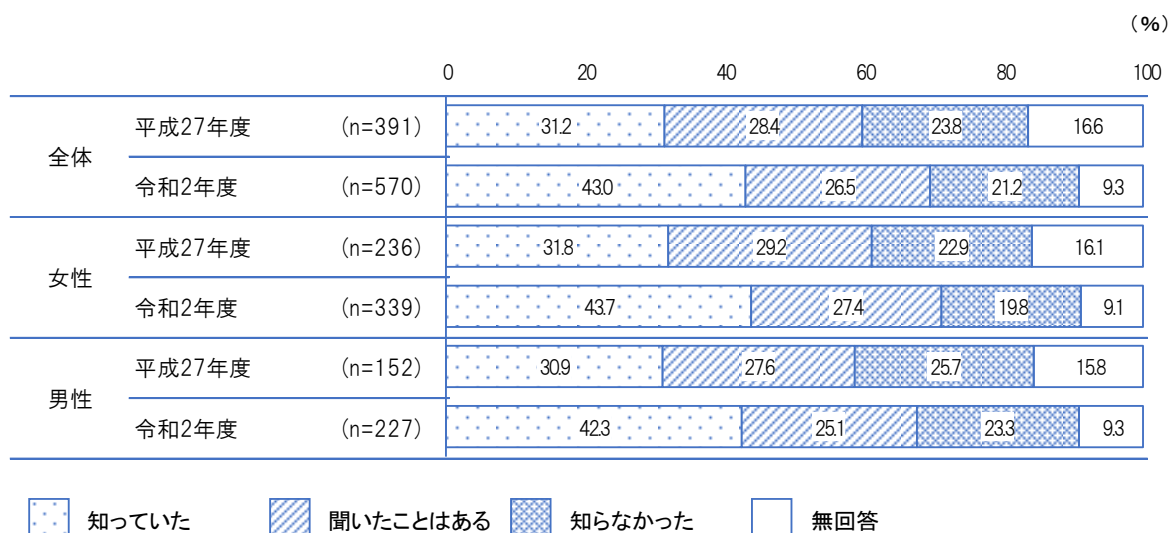
全体で見ると、「知らなかった」が34.0%と最も高く、次いで「知っていた」(28.2%)、「聞いたことはある」(26.5%)となっています。

性別で見ると、すべての項目で性別による大きな差はみられません。

前期調査と全体と比較すると、「知っていた」が5.2ポイント増加しています。

性別で比較すると、女性では大きな差はみられません。男性では「知っていた」が6.1ポイント増加しています。

④ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)



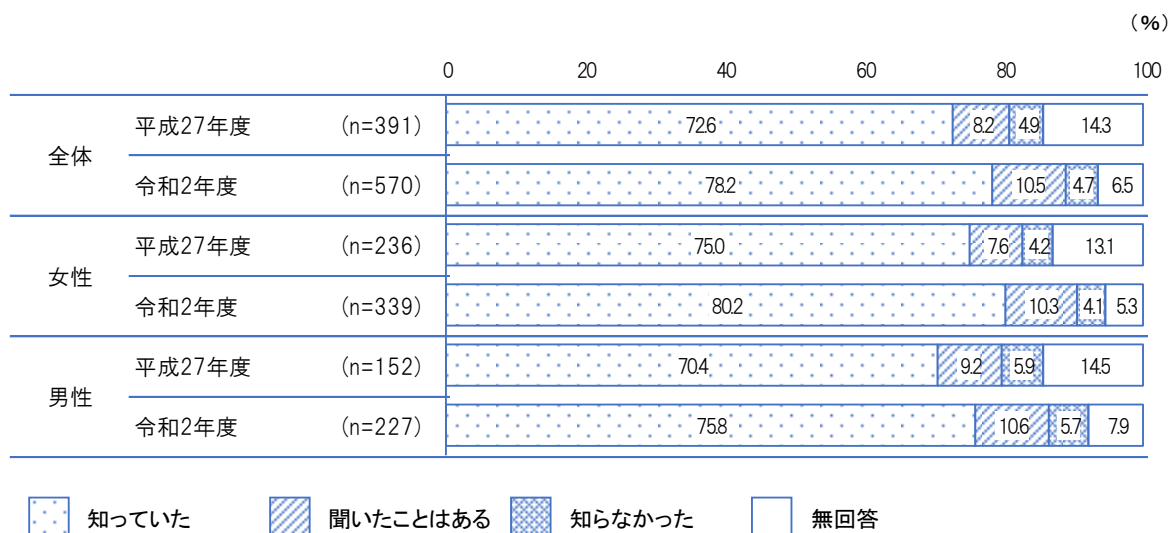
全体で見ると、「知っていた」が43.0%と最も高く、次いで「聞いたことはある」(26.5%)、「知らなかった」(21.2%)となっています。

性別で見ると、すべての項目で性別による大きな差はみられません。

前期調査と全体と比較すると、「知っていた」が11.8ポイント増加しています。

性別で比較すると、女性では「知っていた」が11.9ポイント増加しています。男性では「知っていた」が11.4ポイント増加しています。

⑤ドメスティック・バイオレンス(DV:夫婦、恋人間の暴力)



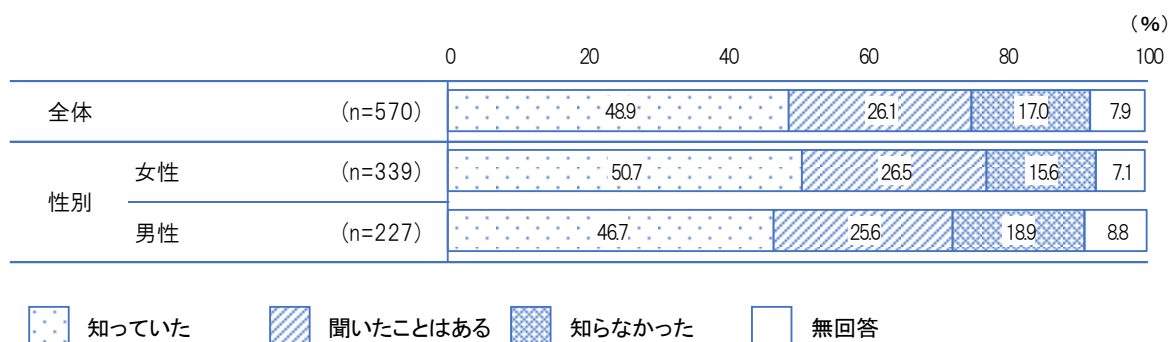
全体で見ると、「知っていた」が78.2%と最も高く、次いで「聞いたことはある」(10.5%)、「知らなかった」(4.7%)となっています。

性別で見ると、すべての項目で性別による大きな差はみられません。

前期調査と全体と比較すると、「知っていた」が5.6ポイント増加しています。

性別で比較すると、女性では「知っていた」が5.2ポイント増加しています。男性では「知っていた」が5.4ポイント増加しています。

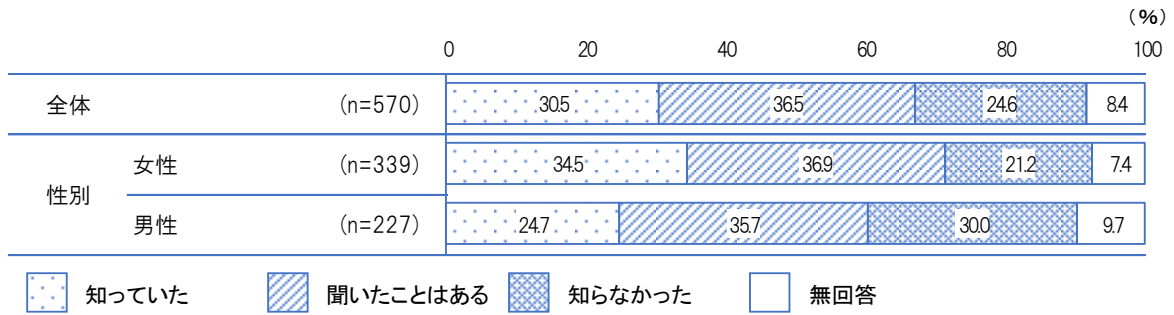
⑥性的マイノリティ



全体で見ると、「知っていた」が48.9%と最も高く、次いで「聞いたことはある」(26.1%)、「知らなかった」(17.0%)となっています。

性別で見ると、すべての項目で性別による大きな差はみられません。

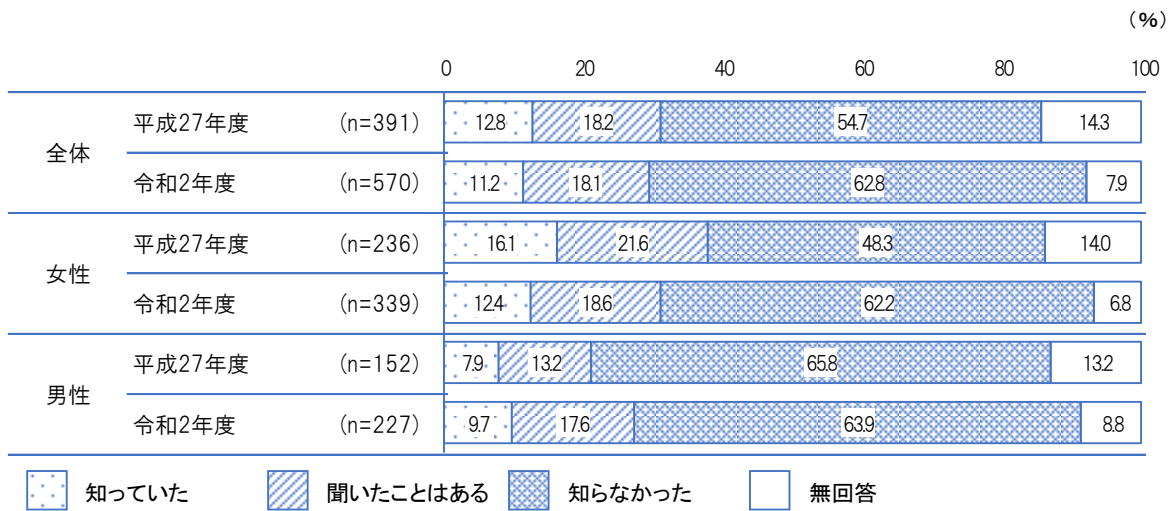
⑦パートナーシップ制度



全体で見ると、「聞いたことはある」が36.5%と最も高く、次いで「知っていた」(30.5%)、「知らなかった」(24.6%)となっています。

性別で見ると、「知っていた」では女性が34.5%、男性が24.7%と男性に比べ女性が9.8ポイント高く、「知らなかった」では女性が21.2%、男性が30.0%と女性に比べ男性が8.8ポイント高くなっています。

⑧豊後大野市女性人材リスト



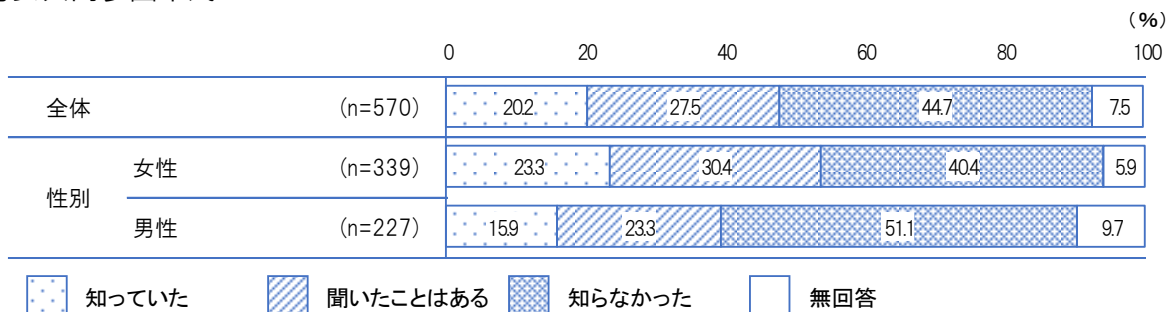
全体で見ると、「知らなかった」が62.8%と最も高く、次いで「聞いたことはある」(18.1%)、「知っていた」(11.2%)となっています。

性別で見ると、すべての項目で性別による大きな差はみられません。

前期調査と全体で比較すると、「知らなかった」が8.1ポイント増加しています。

性別で比較すると、女性では「知らなかった」が13.9ポイント増加しています。

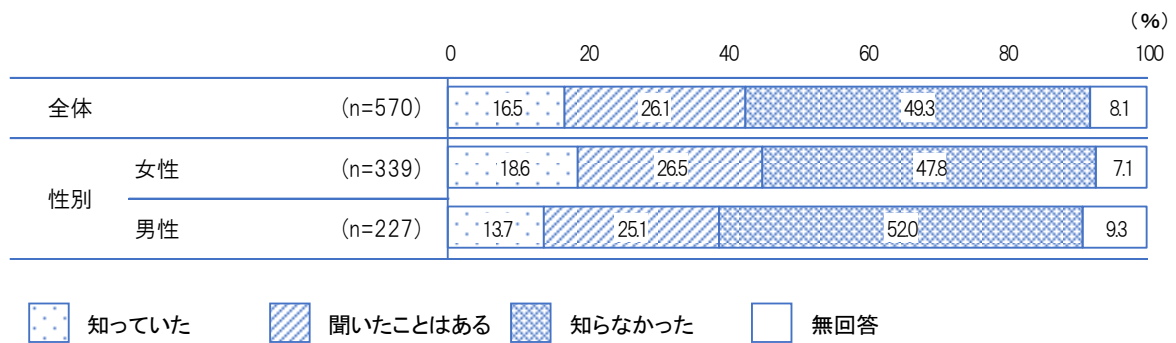
⑨男女共同参画市民のつどい



全体で見ると、「知らなかった」が44.7%と最も高く、次いで「聞いたことはある」(27.5%)、「知っていた」(20.2%)となっています。

性別で見ると、「知っていた」では女性が23.3%、男性が15.9%と男性に比べ女性が7.4ポイント高く、「聞いたことはある」では女性が30.4%、男性が23.3%と男性に比べ女性が7.1ポイント高く、「知らなかった」では女性が40.4%、男性が51.1%と女性に比べ男性が10.7ポイント高くなっています。

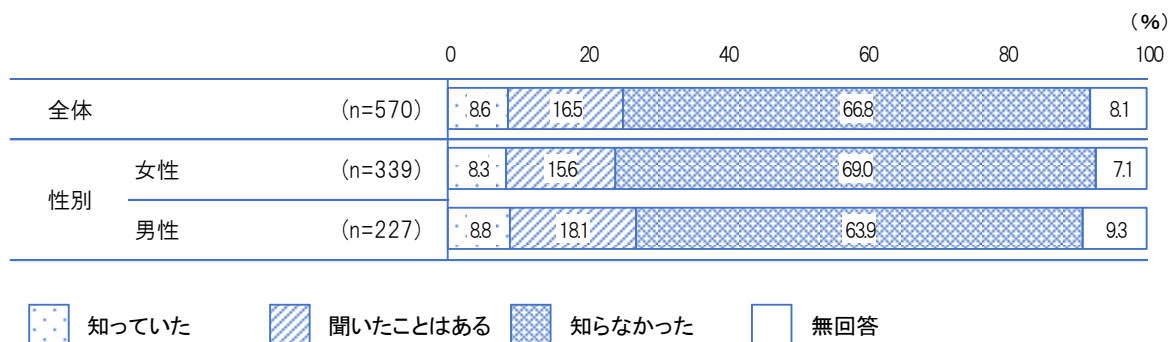
⑩男女共同参画市民講座



全体で見ると、「知らなかった」が49.3%と最も高く、次いで「聞いたことはある」(26.1%)、「知っていた」(16.5%)となっています。

性別で見ると、すべての項目で性別による大きな差はみられません。

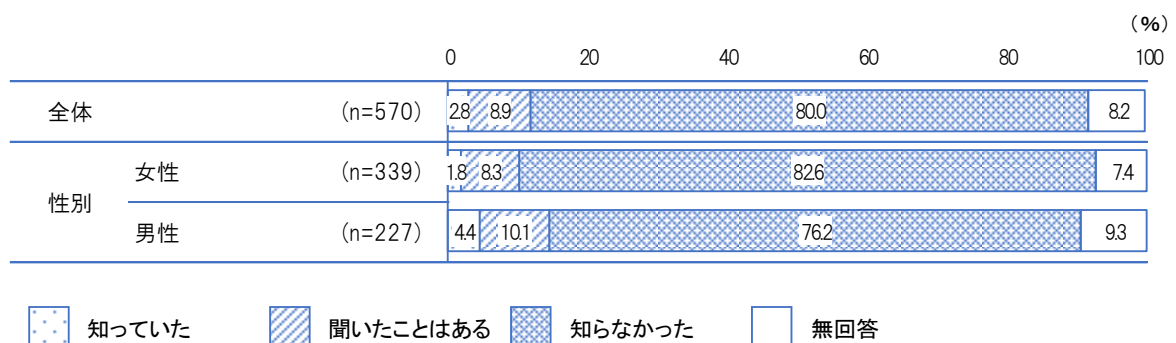
⑪申請書等における性別記載欄見直し



全体で見ると、「知らなかった」が66.8%と最も高く、次いで「聞いたことはある」(16.5%)、「知っていた」(8.6%)となっています。

性別で見ると、「知らなかった」では女性が69.0%、男性が63.9%と男性に比べ女性が5.1ポイント高くなっています。

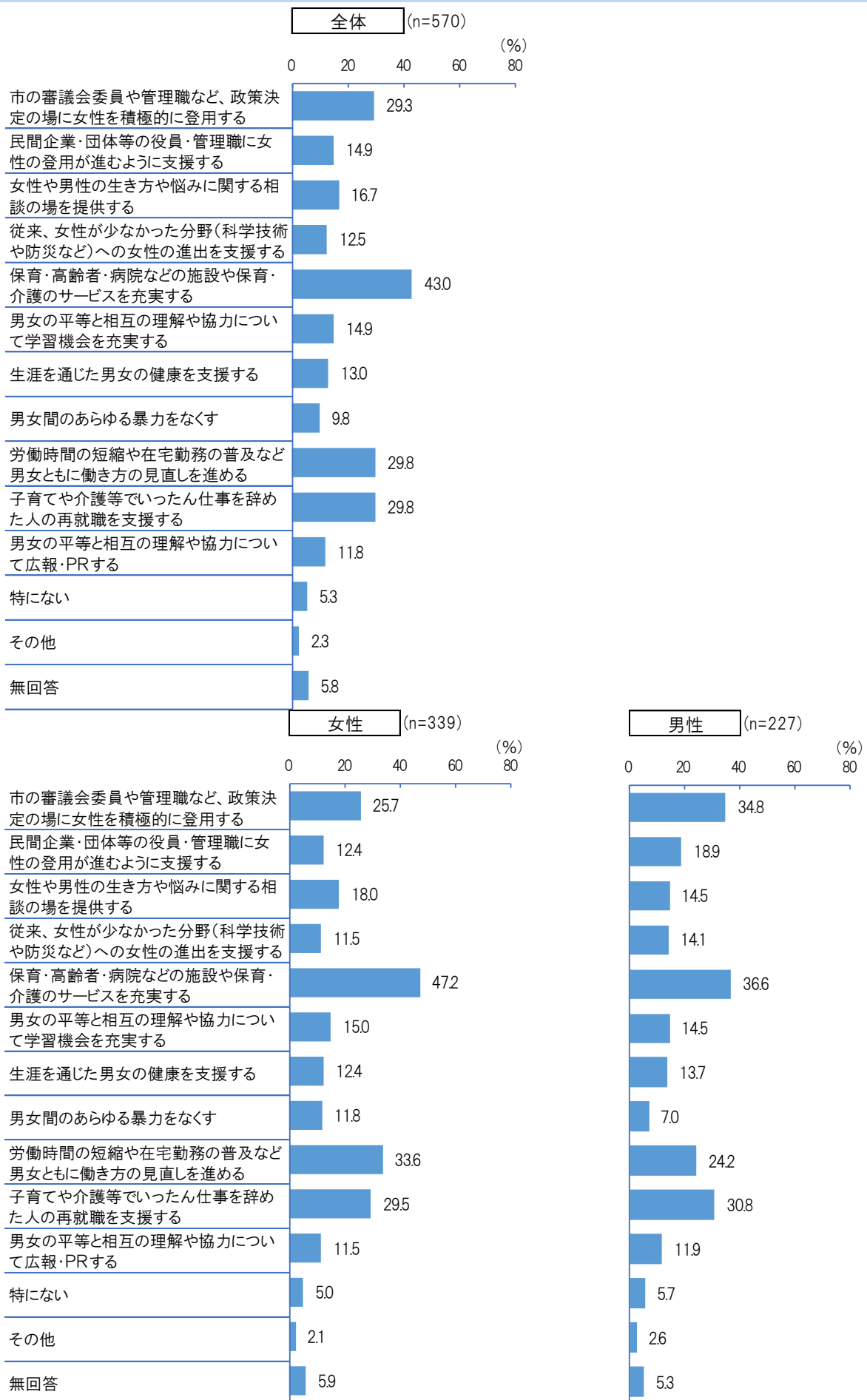
⑫多様な性のあり方に関する職員ハンドブック



全体で見ると、「知らなかった」が80.0%と最も高く、次いで「聞いたことはある」(8.9%)、「知っていた」(2.8%)となっています。

性別で見ると、「知らなかった」では女性が82.6%、男性が76.2%と男性に比べ女性が6.4ポイント高くなっています。

問41 あなたは男女共同参画社会の実現に向けて、市はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。



全体でみると、「保育・高齢者・病院などの施設や保育・介護のサービスを充実する」が43.0%と最も高く、次いで「労働時間の短縮や在宅勤務の普及など男女ともに働き方の見直しを進める」(29.8%)、「子育てや介護等でいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する」(29.8%)となっています。

性別でみると、「市の審議会委員や管理職など、政策決定の場に女性を積極的に登用する」では女性が25.7%、男性が34.8%と女性に比べ男性が9.1ポイント高く、「民間企業・団体等の役員・管理職に女性の登用が進むように支援する」では女性が12.4%、男性が18.9%と女性に比べ男性が6.5ポイント高く、「保育・高齢者・病院などの施設や保育・介護のサービスを充実する」では女性が47.2%、男性が36.6%と男性に比べ女性が10.6ポイント高く、「労働時間の短縮や在宅勤務の普及など男女ともに働き方の見直しを進める」では女性が33.6%、男性が24.2%と女性に比べ女性が9.4ポイント高くなっています。

■その他意見

相談の場だけでなく改善できる実行力をもつ。
名前（男女共同企画）が分かりづらい。
個人を尊重し男女という性別での分類をやめること。自分のしたい事が出来る社会にすること。
性別ではなく個人の能力、適正に適合する。女性（男性）を偏見なしに登用する。
学校での教育が最も有効。
できることからでいいんじゃない。
男が働かなくてはいけないという差別的偏見をなくす。女性が仕事で男が家庭というモデルをたくさん作る。
女性に学習と体験の場を。
男性が少なかった分野への男性の進出も支援し、男女の役割的意識の改善をはかる。
教育の見直し。
市議会議員の半数を女性にする。
本人の能力次第。
女性に意識があれば問題ないと考えます。

問42 男性と女性が、家庭、職場、地域社会、政治の場などあらゆる分野に共同で参画する社会を実現するために、市に対してのご意見・ご希望などありましたら、ご自由にご記入ください。

■男女共同参画への意見

(1) 男女共同参画への取組について

市議会議員の数を男性、女性同比率にする。市役所の管理職もおなじ。昔も今も女性の足をひっぱるのは女性だと思う。
あらゆる機会をとらえて女性の登用の場を設けるべきであると考えてます。
市自体も男女間の格差、性に関しても積極的かつ盛り上がり欠けるため市民にも伝わりにくいと思う。
各地域ごとに座談会の場を設けて市民・町民の多くの意見を出し合う。
公的機関の職員すら男女平等の意識が低いので、まず、公務員の教育からやるしかないと思う。制度だけを作っても意識の変化には相当の時間がかかる。
地域における教育環境の充実が性差の縮減に必要。しっかりした教育機関（民間も含む）とサポートするボランティア、NPO、福祉機関の連携で若者が社会参加する機会を作り、その中で共同の参画の学習ができるようにしてはどうか。
女性議員の増加。女性管理職積極的登用。
市民の大半は女性です。女性が進出しやすい環境（行政）整備。 ※自分自身の反省（先日、市役所前の道路で大型クレーン車を女性が運転している姿をみて大きな感動を覚えました。→あたりまえのこれ自体が、自分の気付かない役割分担意識かなと反省しました。）
主婦なので夫が休んで家庭のことをすると収入が減り生活ができなくなる。休暇をとり平等な家事などをする人に対し何かしらあると良い。子どもがいるが仕事に出た場合、病気等で休まざるを得ない事があると思うが、その時保障があると働きやすいと思う。
先入観の少ない子どもへの教育を充実（小学校などで）させ、若い世代の意識を変えまた子どもから家庭へ（両親や祖父母など）そのことがフィードバックされると良いのではないかと思います。
男女の性的な要因の差は確実にあります。各自がやはりそれぞれ人格を認め合い支えあえる町、環境、制度をその時代その時代にあったものを作ってほしいと思います。
自分たちの時代は男性は家長であり、家の中の事は女性がするものだという考えが強い。夫のいる時に掃除をしようものなら「追い出すのか」と立腹。でも今の時代は男女ともに職を持っており、男性も家に帰れば家事と一緒に、と考える人が多くなってきている。とはいえ、まだまだ男性の意識は低いように思うので、ぜひこれからの若い人たちがストレスなく社会生活・家庭生活が送れるよう、行政の力で豊後大野市を創っていただきたいと思う。
永年の社会のしくみ（家長は男性）だったり、人々の性役割に対する意識だったり、まだまだ男女共同参画社会への道は厳しい。市が先頭をきって関係する制度や取り組み（例えば市議や市職員管理職の手数を女性とする）を進めてほしい。諸外国の善例を市民にも紹介してほしい。
昨今の幼児への虐待や育児放棄等、自分たちの世代では考えられないような悲惨な事件が発生しており、これらの当事者の生い立ちや境遇は平凡ではなかったのだと思う。自分は、家庭には常に母親が居て「いってらっしゃい、おかえりなさい」の声かけが子供の情操教育には欠かせないと思っている。女性が外にでて収入を得るためにはどうしても家庭が犠牲になるため、母親が家庭外にでなくても収入が得られるような社会の仕組みが必要ではないだろうか。今はやりのテレワーク等はうってつけではないかと思う。それら普及のための施策（専門学校等）が必要だと思う。
やはり、親、学校による子供への教育による人格、性格形成がもっとも男女の差の意識に大きな影響を与えるものだと考えますので、学校における教育を充実すべきだと考えます。地域の活動では、すでに人格形成の済んだ大人たちなら参加しますが、子供たちがわざわざ行く姿はあまり見ません。大人たちの考えは、一度のイベントではなかなか変わるものではないので。何度か繰り返し、講演等を行なうべきだと思います。

<p>市役所の皆様方一人ひとりがそれぞれ部署で男性、女性関係なく親切に優しく丁寧に対応してくれてありがたく思っています。理想は特定の職種、仕事以外は「性」とは関係ないこだわりの必要のない適材適所の仕事分担かと思えます。要は、一人ひとりが自分の特性（性差を含む）、能力を生かし、伸ばし、思いやりの心を持って、職場、地域、家庭で対等な活動をしていけば目指す社会の実現は可能です。現実はその方向に向っていると思えます。行政、議会の皆様方がこれからも範を示して下さい。</p>
<p>社会に女性が進出するのはいいことだと思うが、家で子どもをみたい母親もいて、その親に対して[そろそろ保育園に入れて働くんでは?]って言うのも社会の流れも関係しているのかな、と思ったりもします。</p> <p>いろんな立場、状況、考えがあつての生活スタイルだと思うので、当事者達がこういう生活スタイルにしていきたいという希望があるならば、そこを相談できる場があつて、問題があれば寄り添って支援していただくと、生活しやすくなっていくのではないかと思います。</p>
<p>流れを準備しました。では対策・推進にはなりません。実行しましょう。</p>
<p>偏見や社会通念のような、今ある事や考え方を一個人として変えていくことはなかなか難しいと感じ、例えば地域行事の慣例に意見を言うことはやはり控えてしまいます。ただ、今現在いろんな分野で性別関係なく活躍している方々の体験や想いを見たり聞いたりすることは、性、仕事、家庭に対する固定概念を覆し、視野を広げ、多様性を理解することにつながる気がします。そういう方たちと交流して互いに知り合う機会が増えれば、身近なところから考え方が変わっていくと思えます。</p>

(2) 男性または女性の意識改革について

<p>まず男が仕事、女が家庭というのがそもそも自分は間違っていると思う。夫婦間ならなおさらだと思う。別に共働きでも良いのでは。子どもが出来た時その男が仕事、女が家庭というのが通じるのか。子どもが元気で産まれるためにはまず女性が健康でいれることが前提ではないか、ということ、男は家庭のこともしていけないといけないのでは。かといって急にできるわけもない。だから、毎日時間がある時、家事を平日頃からする習慣をつければいいのでは。結論からいうと男が仕事、女が家庭という概念をなくす活動をすればいいと思う。</p>
<p>女性は家事（食事の支度等）をするのが当たり前と思っている男性が多い。家事がいちばん重労働だと思う。男性に対しての料理教室などを各自治体で開催してほしい。</p>

(3) その他

<p>男女共同企画施策には共感し、大切な事だと考えています。しかし、私は定年退職し家庭にいるためか、内容についてあまり伝わってきません。集会や学習会などに参加したいと思いますが、いつ、どこで行うのか分かりませんでした。（今まで）お知らせが行き届くようお願いしたいと思います。</p>
<p>女性の活躍の場を積極的に開拓、確保することには賛成できるが、「何が何でも女性を」をいう考えは反対。いらんおせっかいに感じる。社会が女性の枠を確保し、女性自身が能力を生かすべく進出し、社会（会社）が公正にそれを認めて登用することが大切。</p>
<p>担当の方へ上手く伝えられるか不安ですが、役員・管理職に女性を登用するというのではなく、指導力やその他の能力が十分ある方を男女の差を付けず登用してほしい。男女共同参画だから女性を増す（名前だけでも）と聞いたことがあります、何かおかしいのではないかと思います。本来、男性と女性は違う（異なる）ものではないでしょうか。人として希望する場所・立場でちからが生かせる共同参画であってほしいと思えます。</p>
<p>一般に男女共同参画施策が周知されていないので実現は難しいと思う。難しい言葉など使わずもっと簡単に説明した方がいいと思う。</p>

■男女平等について

<p>未だにこのような事に対しての問題がある事に不信に思います。男女平等でもあるし性的に関してはもっと勉強会を持つ事かな。これは小さい頃から家庭で教えるべきだと思います。</p>
<p>小さな市町村においては古くからの習慣で男性はこうあるべき、や女性はこうするべきといった考え方が根付いていると思います。男性女性に関わらずそのような固定された考えがあり、それを破るためには考え方が新しい若い世代の参加が必要だと思ひます。地域に若い人を集めて新しい風を吹かせてもらいそれを受け入れる雰囲気づくりを期待します。</p>
<p>市民講座等に参加しようとしている人は意識改革をしようとしていますますが農家の多い本町では旧態依然として女は家（場合によっては外でも働きかつ家事）、男は外、という考え方が根強く残っている。啓発の機会が少ない。この人たちにどう意識改革を図るか難しい。自分自身の反省も含めて家庭内のいざこざをさけるためあえてこの話題はスルーしているところもあって、こつこつ話題にしていくしかないのでしょうか。</p>
<p>豊後大野市は田舎であり若い年齢層が少ない為、地域社会や政治においても男性優位の雰囲気が強く（女は3歩下がっての意識）、女性自身も消極的な意識になっているように感じる。</p>
<p>私が学生の頃から男女平等の教育をされてきましたが、30年経っても正しいと思つた発言をすれば（女性のくせに）気が強いと言われます。同じ発言を男性がすれば何も言われぬ状況は今も続いています。地区の行事に出ればお酌をしたり洗い物をするのは女性です。また、ある年齢以上の女性にも男性に家事をさせる事はダメだと考えている方が多いのも事実です。男女関係なく自分のことくらいは自分でするという考えが定着すればいいなと思ひます。</p>
<p>性差があるので全てを平等にするのは無理だと思う。平等な型に入れるのではなく、それぞれの長所をのばすべきと思う。男性でも可愛いものが好きな人もいるだろうし、女性でも土木作業が得意な人もいると思う。大切なのは、個々の意見を自由に発言できる場と、分析して適材適所に配置できるしくみ、あるいは組織ではないでしょうか？</p>
<p>確かに男性ばかりが重役に登用されるような社会はどうかと思うが、だからと言って今度は無理に女性の枠を増やしていくことばかりに焦点を当てることも問題であると思ふ。適材適所という言葉があるように男性の方が向いている仕事、女性の方が向いている仕事はもちろんある。大切なのは枠を用意し、進出を強制することではなく、本人達の意味を尊重しながら平等に生活できる社会にすることではないだろうか。「最近、女性の社会進出だとか言われているから優遇されたんだろう」というような思いを抱く人間がいては、本当の平等とは言えない。男女平等とは決して女性優遇の社会ではないのだ。近年マスコミなどの情報発信機関から「〇割の女性職員を雇用」や「女性に優しい社会づくり」というような言葉がよく聞かれた。確かにこれまでの社会は男性ばかりが社会進出に有利であるかのようなものだったが、そのような状況を作り上げたのは間違いなく私達自身である。その私達がまた、男性蔑視とも取られかねない、まるで「女性持ち上げキャンペーン」のような状況を作り上げ、それに反発する人々とそれを推進する人々の対立を悪化させているという現状はあつていいことなのだろうか。男女とも優しい社会づくりのために、これからは尽力していただきたい。</p>
<p>市の職員、市議員など男性のほうが多い。平等なら、役員数、議数を半分半分にすべきなのでは。今の世の中、男の方が弱い事も多く、私的だが女性のほうが有利な事も多い。子育て、家族に関しては、女性のほうが強い。</p>
<p>差別はいけないと言ひながら、女性だけのコスメやランチのサービス等もある。仕事での差別に対していろいろ言うのもいいけど、おいしい場面があることを忘れてはいけないと思ひます。しかし、まだ女性は下に見られていると思ひます。よろしくお願ひします。</p>
<p>全てが平等というのは理想的です。しかし、平等を追い求めすぎた結果「夫婦共働き+妻が家事育児」「平等であっても妻は仕事で忙しいから掃除などできない」など、逆に女性がしんどくなつてきている気がします。</p> <p>女性の家事育児は男性に置き換えると仕事。男性の仕事を女性に置き換えると家事育児。やっている内容は違つても、家事も立派な仕事です。このように考え方を少し変えることも男女平等を目指すには必要だと私は考えています。「男性も家事・育児にも積極的に参加すべき」「女性を積極的に管理職登用」など考える事はいいように聞こえますが、平等を実現するにあたって適材適所があると私は考えています。できる事柄をできる人が行えばいいだけだと思ひます。</p> <p>DVやハラスメント、LGBTは難しく別問題ですが、環境を変えるのではなく、そもそもの考え方を置き換えたり見直したりすると、男女共に平等だと思ひます。</p>

■市への要望等（男女共同参画についてを除く）

困った人などに、相談できる体制を多く作ってほしい。
一人暮らしの方達の支援・交流を保つ事。
障害者雇用をしている事業所が少ないので肩身が狭い思いをしている。B型作業所だけでなくA型作業所（農業以外で）充実させてほしい。
パートナーシップ制度という文字があるのを見て、豊後大野市でも実現する可能性が0ではないのだと初めて知りました。様々な自治体が行うようになれば社会全体の意識も変わっていくと思います。どんな取り組みでもやっていると知らせることが必要かと思います。
豊後大野市は3歳以上の子の保育料無料など子育て応援する姿勢はすばらしく誇りです。こういう取り組みを大事にして行ってほしいです。
商店街がえらくさびれているので何とか昔のような商店街にならないものか。国や県より活性化の補助金を大きく補助してもらおうとか、市長の腕の見せ所だと市民は思っている。
若い世代に、もう少し豊後大野市の取り組みを知ってもらおうことが必要だと思う。（そういう機会を与えるべき）
少子化問題に対して、子育てしやすい環境づくりに力を入れているのは実感できるが、現実の教育現場に大きな変化がないのは疑問です。子供の数は少なくなっているのに、教育”内容”は昔ながらの状態。各高校は定員割れで生徒の奪い合い。 高校の特徴も特殊性もなく、”何を学ばせたいのか”が提案できず、親や子供も”何を学びたいのか”が表現できない。勉強がそれなりにできれば普通。それ以下だと特別クラス。発達障害（個性）があれば一緒に教室にいられない子供達。伸びる可能性のある子どもは”できるから大丈夫”と何故か安全圏に入れられそのまま。そうでない子供達は”何かあったら大変”と過剰に反応する現状。宝である子供達に学校の勉強ではなく、学ぶための材料をどれだけの大人が提供できるか。それを教育として、どういう形で豊後大野市が提供できるかを本気で考えないといけな心から思っています。
公務員と普通に働く人の格差が激しい。そのところを市は考えてほしい。
介護、福祉の現場にいます。もちろん人材不足は深刻です。基本的に男女の格差はありませんが、やはり家族、家庭のことは女性が担っている世帯が多く、何かあれば、益々現場は火の車です。そもそもの話で、若い世帯が少なく、生産年齢の人口が少な過ぎる事が、市の大きな問題です。我々の仕事に限りませんが、若い方に居住してもらえような対策が喫緊なのではないかと思えます。行政のリードが不可欠です。
すばやい対応を願う。

■その他

性的マイノリティの方に対する理解を社会全体で深めていくべきだと思う。このことに苦しんでいる人はたくさんいると思うのでみんなが変わらないといけなと思う。
なんでも型にはめてしまうのはどうかと思いますが、、、。
生活にはお金。
まず、豊後大野市と言っているわりに、三重町が中心だから…といったことが大変多いと思う。こんなことなら合併しなかった方がいいし、三重町を除く他の地域にもスポットをあててほしい。三重町だけで成り立っているわけではないので、特に昔の考えの方（高齢者）の意見でしか動いていない。市長とか上の者は絶対に三重町から出すということをやめない限り何も上手くいかないはず。男性と女性のこともそうだが、「昔はこうだったから」という流れはおかしい。本当に呆れる。そもそもこの話の前にやり直す必要がある。
今時の横文字に高齢者はついていけません。
男女とかではなく、市役所職員で「仕事が忙しいから」の理由で地域の役を引き受けない者がいる。今では「あの人には任せられない、地区の秘密（個人情報）を守れないから」の理由で退職後も地域の役を任せられないとまで言われるようになっていく。また、その方はある職員に対して「暇だから地域の役員をしている」とか「手当て（地区の役員手当て）をもらっているのだからそれに見合った仕事をしろ」と言っている。過去に人事の講師の仕事をしていたようだが、このような職員が野放しにされていることが、組織的に問題だと思う。これ以上記述すると個人の特定につながるのでは、ここで控えますが、このようなことはあってはならないことだと思います。
このようなアンケートを受けている事が内容と矛盾しているのではないかと思います。
意識調査後の見直し期間が長すぎでは？

<p>小さい頃の育ち方で、自分の行動範囲、想像力が変わってくると思います。今は子供が守られすぎて、危険を察知できないようで怖いです。でも、厳しくすると逆にご近所さんに親が白い目でみられたり。昔のたくましい育て方を時々聞く機会があったら良いと思います。起業された方の話など小さい頃から聞くと、男女関係なく仕事に意欲が湧くかもしれません。</p>
<p>教員のレベルアップ及び人員増。教育現場に教員以外の人材も補助として活用してもらいたい。</p>
<p>男性と女性はそれぞれの役割があつて仕方がないこと（体が違うので）全く平等にというわけにはいかないが、協力してやれるはずと思う。今回のアンケートで知らなかったことが多かったので、勉強になりました。</p>
<p>今回のアンケート結果は正しい評価ができないと思われます。性別や年齢、職業等を最初に持つてくるのはアンケート調査でやってはいけないからです。アンケート調査法を勉強した方がよいです。私は社会学で学びました。</p>
<p>問 12 について 高校とそれ以上の進学を選択肢を分けるのはまだ理解できますが、それ以外の進学を「どこまで必要」という問いで解答させるのはおかしくないですか？ 金銭的な理由で進学が難しい人への配慮してますか？ 上記のような意図はなくても誤解を招く気がします。それぞれの家庭の環境を考えるとこの問いはなくすべきかと。</p>
<p>世帯主は夫など、男女平等からみておかしい所を改善して行ってほしい。</p>
<p>民間でも同一労働に対して男女で賃金格差がなくなるよう行政指導をお願いしたい。</p>
<p>幼い子に対する虐待のニュースに心が痛む。幼い命をなんとか守ってあげられる社会が必要だと思う。</p>
<p>今はパートで仕事しているけど、辞めた時の経済が一番心配。持病があり月 1 回病院があり病院代がかかるので、病院もいけなくなるのでは？ 経済的な事が一番心配。</p>
<p>政治は誰がなっても常に同じで何も変わらない。まわりに利用されて「マスク」がいい例でしょう。結局は裏でつながっているのでは。口では何とでも言えるでしょう。</p>
<p>互いに支えながら生きていける環境が望ましいように感じます。</p>
<p>個人としての人格を尊重する事が大事。そうすれば、この様なアンケートも必要がない。いずれ、この様なアンケートや役所におけるこの様なセクション（課）が不必要になることを、のぞむ。</p>
<p>結婚、出産の時期が女性にはキャリアアップの時期と重なってしまう。（仕事を優先させてしまうと結婚が遅くなる）女性が仕事を続けられるような社会をぜひ作ってほしい。</p>
<p>問 12 について どこまでという定義は持ち合わせておりません。どこまでと決めるのがおかしいと思います。社会生活していくうえで必要な知識があればと思います。私は中学卒業です。</p>
<p>このアンケートを基にどういった方向性を持ち、具体的に進めていくのか今後に期待します。</p>
<p>今回でアンケートは 2 回目になります。何か意味がありますか？ 特定の人ばかりにアンケートが届くのでは？ 5 年に 1 度の 1200 名から選ぶにしては 2 度もあたるのはおかしい。</p>
<p>男女の比率の問題ではない。本人の能力があれば女性（性別）に関係なく引き立てる上司が必要では。旧態依然たる老人は除くべきか？ 年功序列の制度をなすべし。</p>
<p>自治体の管理と班制度を廃止。区長はいらない。</p>

2020 年度「男女共同参画社会づくり」に向けての
市民意識調査 報告書

発行日 令和 2 年 10 月

発行者 豊後大野市 人権・部落差別解消推進課 男女共同参画係

住 所 〒879-7198 大分県豊後大野市三重町市場1200番地

TEL: 0974-22-1001 FAX:0974-22-3361